

K O M A Z A W A

2000 (平成12) 年度

講義内容

仏教学部

 駒澤大學

講 義 內 容

目 次

1. 專 門 教 育 科 目	7
2. 他 学 部 履 修 科 目	69
3. 短 大 仏 教 科 開 設 科 目	153
4. 隨 意 科 目	159
5. 「日本語」・「日本事情」科目	167
6. 教職課程・資格講座科目	189

専門教育科目
他学部履修科目
短大仏教科開設科目
随意科目
日本語 日本事情 科目
教職・資格講座

1. 專門教育科目

仏 教 学 部

1. 専門教育科目

禅学序	説	〈峰岸孝哉〉	7
仏教序	説	〈池田魯參〉	7
仏教序	説	〈池田練太郎〉	8
坐禅	I	〈小坂機融・岩永正晴・河村孝道・飯塚大展〉	9
宗典	〈小坂機融〉		10
宗典	〈河村孝道〉		10
宗典	〈青龍宗二〉		11
禅学研究	I	〈青龍宗二〉	11
禅学研究	II	〈大谷哲夫〉	12
禅学研究	III	〈岩永正晴〉	12
禅学研究	IV	〈永井政之〉	13
仏教研究	I	〈田上太秀〉	13
仏教研究	II	〈岡部和雄〉	14
仏教研究	III	〈吉津宜英〉	14
仏教研究	IV	〈池田魯參〉	15
インド仏教史	〈田上太秀〉		15
パーリ仏教史	〈奥平龍二〉		16
チベット仏教史	〈四津谷孝道〉		16
中国仏教史	〈岡部和雄〉		17
朝鮮仏教史	〈石井公成〉		17
日本仏教史	〈高橋秀榮〉		18
中国禅宗史	〈田中良昭〉		19
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉		20
禅籍講読	I	〈田中良昭〉	21
禅籍講読	II	〈石井修道〉	21
禅籍講読	III	〈佐藤秀孝〉	22
禅籍講読	IV	〈岩永正晴〉	22
仏典講読	I	〈池田練太郎〉	23
仏典講読	II	〈長谷部八朗〉	23
仏典講読	III	〈平井俊榮〉	24
仏典講読	IV	〈飯塚大展〉	24
宗教史	〈長谷部八朗〉		25
インド仏教文化史	〈休講〉		
中国仏教文化史	〈永井政之〉		26
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉		26
日用経典	〈皆川広義〉		27
禅学概論	〈佐藤秀孝〉		28
仏教概論	〈平井俊榮〉		28
中国古典語初級	〈石井公成〉		29
インド哲学史	〈金沢篤〉		29
中国哲学史	〈前川亨〉		30
西洋哲学史	〈中村友太郎〉		30
インド仏教思想史	〈松本史朗〉		31
中国仏教思想史	〈伊藤隆壽〉		31
原始仏教	〈片山一良〉		32

真宗学概論〈休講〉					
真浄土学概論〈廣川堯敏〉					32
真言学概論〈廣澤隆之〉					33
蓮教概論〈休講〉					
新宗教概説〈休講〉					
神道概説〈武田秀章〉					34
外国語仏書講読〈吉津宜英〉					35
外国語禪書講読〈大西龍峯〉					35
禅学特講 I 〈休講〉					
禅学特講 II 〈休講〉					
禅学特講 III 〈大谷哲夫〉					36
禅学特講 IV 〈青龍宗二〉					36
仏教特講 I 〈高橋秀栄〉					37
仏教特講 II 〈飯塚大展〉					37
仏教特講 III 〈四津谷孝道〉					38
仏教特講 IV 〈奥野光賢〉					39
仏教伝道概説〈皆川広義〉					40
仏教伝道研究〈皆川広義〉					41
青少年問題研究〈讚岐真佐子〉					42
青少年指導演習〈平野学〉					43
宗教法概説〈洗建〉					44
詩偈〈休講〉					
書道〈野村宙弘〉					45
現代と仏教〈峰岸孝哉〉					45
宗教学概論〈長谷部八朗〉					46
キリスト教概論〈挽地茂男〉					47
イスラム教概論〈菊地達也〉					48
哲学概説〈野矢茂樹〉					49
宗教哲学〈田丸徳善〉					49
現代哲学概説〈久保陽一〉					50
仏教民俗学〈須藤寛人〉					51
宗教教育〈小山一乘〉					52
心理学概論〈間島英俊〉					53
パーリ語初級〈片山一良〉					54
パーリ語上級〈福田孝雄〉					54
サンスクリット語初級〈金沢篤〉					55
サンスクリット語上級〈金沢篤〉					55
チベット語初級〈松本史朗〉					56
チベット語上級〈休講〉					
中国古典語上級〈小川隆〉					57
ラテン語〈佐藤玖美子〉					57
仏教文献学〈椎名宏雄〉					58
中国文学講読〈末木恭彦〉					59
禅美術〈海老根聰郎〉					59
仏教美術〈松田誠一郎〉					60
坐禅 II 〈永井政之・熊本英人〉					60
演習 I ・ II 〈熊本英人〉					61

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学序説	峰岸孝哉	禅 1 必	4

講義のねらい

禅仏教の成立とその展開、またその歴史的・思想的性格について、基本的な問題を中心に解説する。このような作業を通じて禅学とは何かを考えてみたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教学序説	池田魯参	仏教 1 必	4

講義のねらい

これから仏教を学ぼうとする新人生諸君に、自分自身の問題として「仏教とは何か」を考えてもらい、仏教に関する基礎的な知識を身につけてもらうことです。

講義の内容・授業スケジュール

次のような枠内で講義を進めます。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 仏とは何か | 2. 仏が説いた教え |
| 3. 仏教を伝えた教団 | 4. 空の實踐 |
| 5. 大乘仏教の展開 | 6. 中国仏教の形成 |
| 7. 日本仏教の成立 | |

成績評価の方法

講義中の質疑応答や意見発表などを合わせ、期末テストの成績で評価。

教科書

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

参考書等

平川彰『インド・中国・日本・仏教通史』（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 学 序 説	いけだ れんたろう 池 田 練 太 郎	仏 教 1 必	4

講義のねらい

この授業は、これから仏教を学ぼうとする新入生に、学問的な研究の方法やテーマなどを知ってもらい、同時に仏教に関わる基礎的な知識を習得してもらうことを目的としている。仏教の研究テーマはきわめて多種多様である。開祖であるゴータマ・ブッダの思想を考察することによって仏教とは何かを明らかにしようとする思想的研究もあるし、思想の流れをとらえていこうとする思想史的研究もある。また、教団について研究するにも、律の問題からみていく視点もあれば、社会との関わりにおいてとらえようとする視点もある。さらに、美術や文学など文化的な面から仏教をみていく立場もあり、文化史的に仏教の全体像を研究する方法もある。また、現代における仏教の役割を考察する研究もある。そうしたさまざまなテーマや方法について検討していくつもりである。しかし、学問的に「仏教」について考えるためには、十分な知識の習得が不可欠である。この授業では、これから仏教を学ぶ際に知っておくべき、思想・歴史・文献などについての基礎的理解と知識についても示していきたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の基礎教養の習得や、仏教の本質についての問題、また学問的方法などを、総合的に検討しながら進めていく。

履修上の留意点

欠席はしないように。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験によって評価する予定。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

水野弘元、他編『仏典解題事典』（春秋社）4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅 I	小坂機融・岩永正晴 河村孝道・飯塚大展	禅・仏教2必	4

講義のねらい

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正徧知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのでなければ、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禪師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容・授業スケジュール

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期は『正法眼蔵坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勧坐禅儀』について講じ、道元禪師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- ① 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- ② 時間厳守：始鈴10分前に全員入堂し、坐禅に入ること。遅刻・早退は全て欠席とする。
- ③ 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- ④ 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け（暑季は白のYシャツ可）、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳肅に勤めること。
- ⑤ 直堂の当番：直堂を、毎時間2名（前策と後策）ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

- ① 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。
- ② 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

参考書等

『坐禅用心記』『普勧坐禅儀不能語』

その他

授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	こ 坂 機 融 こ さか き ゆう	禅 2 必	4

講義のねらい

道元・瑩山両祖の名著について概説し、その主要な巻ないし章を講読する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では両祖の名著である『正法眼蔵』と『伝光録』の成立・伝播・研究等について概説し、次いで『伝光録』の首章を第五十一章とを講読し、後期では『正法眼蔵』『弁道話』他等を講読する。

履修上の留意点

本講座は、仏教学部に学ぶ者が当然熟知していなければならない最も基本的な事柄であるので、十分身を入れて真摯に取り組んで頂きたい。

成績評価の方法

理解度を知るための小テストと夏季休暇中の宿題レポートおよび定期試験、これに出席状況を加味して評価する。

教 科 書

『正法眼蔵』および『伝光録』の該当箇所をコピーして配布する。

参 考 書 等

『道元禅師全集』第1・2巻（春秋社）、『瑩山禅』第1～4巻（山喜房仏書林）。その他は授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	か 河 村 孝 道 か むら こう どう	仏 教 2 必	4

講義の内容・
授業スケジュール

道元禅師の名著『正法眼蔵』（75巻、12巻他）を講読し、『正法眼蔵』の説示を通して日本曹洞禅の宗旨の要諦を学ぶ。

教 科 書

『道元禅師全集』第1巻・第2巻（『正法眼蔵』校注）

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 典	せい りゅう むね つぐ 青 龍 宗 二	仏教2必	4

講義のねらい	この講座は道元禅師と瑩山禅師の著『正法眼蔵』と『伝光録』とを講読して、両祖の思想を学んでゆく。
講義の内容・授業スケジュール	前期は『正法眼蔵』の基本的な巻を順次講読し、後期は『伝光録』の1則を講読して、両者の有する思想的特異性を考えてゆきたいと思う。
成績評価の方法	期末テストの外に出席をも加味して評価する。
教科書	『正法眼蔵』については各自が大久保道舟編『道元禅師全集』より指定の巻をコピーすること。『伝光録』は光地英学編『校註伝光録』を使用するので、学内駒沢書店で購入のこと。なお参考書は教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究 I	せい りゅう むね つぐ 青 龍 宗 二	禅2・3選必 仏教2・3選	4

講義のねらい	<p>禅学研究Iは「禅の教義」を取り扱う科目に指定されているので、禅の中心思想である修証観を主軸にして、次のような内容のもとで順次講義を進める。</p> <p>(イ) 禅の歴史上に現われた修証観を始覚的修証観、自然主義的修証観、本覚的修証観の三つに類型化して、それぞれの修証成立の意義を批判的に考察する。</p> <p>(ロ) 道元禅師の修証観について、その思想的基調となっている本覚思想（本来成仏＝仏性）をめぐる問題を検討しながら、行仏（行ずることが仏、行証不二）の基本的性格を明らかにして、禅師独自の本証妙修の修証（証上の修・修証不二・修証無窮）の意義を把握してゆく。</p> <p>(ハ) 更に実践的問題として妙修展開の原動力としての発心・信について、その具体的問題を考えると共に、妙修の主要課題である禅戒や清規について言及し、行仏の意義を明らかにしてゆく。</p>
履修上の留意点	講義はノートで進める。参考書は教場で随時指示する。なお成績評価は定期試験の外、出席をも加味して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究Ⅱ	おお かに てつ お 大 谷 哲 夫	禅2・3選必	4
		仏教2・3選	

講義のねらい

本講座は、禅の実践的教義を通して禅における修証の真意義を参究する。

講義の内容・授業スケジュール

禅における清規の成立とその歴史的課題を背景にして、禅における修証観を、特に道元禅師の修証観に焦点を合わせ、『永平広録』、『正法眼蔵』などの実践的な面を取り上げて考察する。

履修上の留意点

関連する資料を配布し、その文献を随時講読するので、配布された資料はよく読んでおいてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席などの平常点ならびにレポート、および期末試験にて行う。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究Ⅲ	いわ なが しょう せい 岩 永 正 晴	禅2・3選必	4
		仏教2・3選	

講義のねらい

この講義に課せられた「教団」というテーマのもと、江戸時代の曹洞宗教団に限定し講義をすすめます。江戸幕府の成立以後、曹洞宗教団もさまざまな面において徐々に変貌を遂げました。そこでいわゆる「宗統復古」に政治的結着がつけられた元禄年間頃を境とし、その前後における教団の変化について、制度・嗣法・学問などの観点から考察して行きたい、と考えています。

教科書

講義の進行に随って資料を配布する。

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 学 研 究 IV	なが い まさ し 永 井 政 之	禅 2・3 選必	4
		仏教 2・3 選	

講義のねらい

中国禅宗の歴史をいささかでも学んだ人なら、唐・五代のそれが、いわゆる「純禪の時代」として、後世から常に憧憬の眼差しを持って見つめられていることを知っていよう。このように重要な時代でありながら、その実像となると曖昧な知識の上に構築されている部分が少なくない。そこでこの授業では、六祖慧能の弟子、あるいは孫弟子にあたり、江西・湖南を中心に禪風をふるった「洪州宗」と呼ばれた人々を中心に、五家の宗祖とされる人々までの、何人かを選んで原資料の記述を見つつ、その伝記や思想、教えの流れを見ていきたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席などの平常点、および期末試験にて行う。

教 科 書

原資料については、『祖堂集』や『景德伝灯録』の全体を入手するのが、もっとも望ましい。卒論作成に際しても役立つであろう。当面は、必要な部分をコピーにて配布する。

参 考 書 等

授業中に適宜指示するが、概説として柳田聖山「中国禅宗史」（『講座「禅」第三卷一 禅の歴史・中国一』筑摩書房）を挙げておきたい。なお『助字小辞典』（内山書店、464円）も語録読解の役に立つ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 研 究 I	た がみ たい しゅう 田 上 太 秀	仏教 2・3 選必	4
		禅 2・3 選	

講義のねらい

「道元禅師の信仰」
道元禅師の思想は『正法眼蔵』を読むことで知ることができる。思想はどちらかというとなてまえであろう。この講座は『正法眼蔵』を通して道元禅師の本音のところを探ってみようとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 坐禅の信仰
- 第2章 礼拝の信仰
- 第3章 滅罪の信仰
- 第4章 本願の信仰
- 第5章 宿善の信仰
- 第6章 出家至上の信仰
- 第7章 輪廻業報の信仰
- 第8章 女人成仏の信仰
- 第9章 先祖供養の意義
- 第10章 涅槃経への信仰

参 考 書 等

水野弥穂子校註『正法眼蔵』岩波文庫本

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅱ	おかべかず 岡部 和雄	仏教2・3選必	4
		禅2・3選	

講義のねらい

この講座では、仏教の「実践」を主題として講義することになっている。仏教の実践としては、戒律を守ること、禅定によって心集中をはかることなどが、最も重要であろう。仏教儀礼や苦行(回峰行など)などもこれに含まれるであろう。この講座では、仏教的実践論を種々の角度から分析し、その特質を考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

仏教史の展開に即して講ずる。実践論を中心に据えた仏教史と考えてもよい。

履修上の留意点

講義が中心になるが、ときには関連の文献を講読することもある。資料やコピーは配布する。

成績評価の方法

成績の評価は、年度末の試験による。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅲ	よしずよしひで 吉津 宜英	仏教2・3選必	4
		禅2・3選	

講義のねらい

近時、新宗教といわれる宗教運動が盛んであり、社会的に事件を起こすことも多い。信教の自由が保障され、宗教への政治的な介入が制限されていることは重要である。しかし、宗教団体の方から政治的な活動に志向する場合もある。そこで、数年前に「宗教法人法」の改訂の是非が問題とされた。

一体、宗教は個人の営みとして限定されるのであろうか。また、社会的な側面、ひいては集団、教団といわれるものとしての必然性があるのであろうか。

この講義では世界の諸宗教、特に仏教における個人と社会、個人と集団、あるいは教団の問題を多角的に考察してみたい。

今年度はその考察の中心に人権の問題をおきたい。社会には様々な不公平、差別的な事象が存在している。そのような社会的な不正に向かって仏教はどのような提案が出来るのであろうか。よく仏教は平等を説くというが、基本的人権と言われるものと仏教の平等主義がどのように関連するのかを考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、あるテーマを掲げて、問題提起的に講義を進める。先ずこれまでの仏教が社会の諸問題にどのように取り組んできたかを総括し、他のキリスト教などの諸宗教の取り組みにも考慮しつつ、現代という文脈において仏教から社会的な不正への具体的な提案を行いたい。

履修上の留意点

この講義専用のノートを用意し、講義内容を書き留め、また皆さん自身の意見や疑問も書き込んでもらいたい。質問は大歓迎で、私の方から皆さんに質問し、応答を求める。

成績評価の方法

期末試験に加えて、皆さんの意見、課題についてのレポート、そして小論文を提出してもらい、その内容によって単位の認定を行う。

教科書・参考書等

教科書や参考書類は講義の中で適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 研 究 IV	池 田 魯 参 <small>いけ だ ろ さん</small>	仏教2・3選必	4
		禅2・3選	

講義のねらい

源信(942-1017)著『往生要集』を読み進めながら、インドで成立したアミダ仏信仰が、中国で浄土教を形成し、日本で法然や親鸞によって飛躍的な展開を遂げた、阿弥陀如来の極楽浄土に往生することを願った浄土願生者たちの群像を、仏教の歴史的背景にもとづいて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

『往生要集』「欣求浄土」段を読む。

成績評価の方法

講義の中で行う質疑応答や意見発表を合わせ、期末テストの成績で評価する。

教 科 書

岩波文庫本『往生要集』上下巻(岩波書店)1,340円

参 考 書 等

講義の中で順次指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イ ン ド 仏 教 史	田 上 太 秀 <small>た がみ たい しゅう</small>	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

インド仏教史はたんに仏教の歴史の講義に止まらず、インド哲学思想やインド文化史の中に位置づけられた仏教の様相を時代を追って講義しようと考えている。

たんに歴史の叙述だけでなく、それぞれの事象を残された彫刻や絵画などで紹介したり、植物や動物の関わりにも触れて説明をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年の講義に準じて本年の講義は進めるが、多くはプリントを配布し、それを資料にして講義する。

講義内容・目次

- 第1章 ゴータマ・ブッダ以前のインド
- 第2章 ゴータマ・ブッダの生きた時代の社会環境
- 第3章 ゴータマ・ブッダの生涯
 - ブッダの系譜、ブッダの誕生、ブッダの少年時代、出家の動機、修行生活、菩提樹下の開悟、45年間の伝道活動、死への旅
- 第4章 ブッダの根本思想 四諦八正道
- 第5章 仏教の分類
 - 地域的区分、教理展開の時代的区分、修行の価値的区分
- 第6章 アショーカ王と仏教
- 第7章 教団分裂と部派の仏教
- 第8章 経典の成立
- 第9章 大乘仏教の起源
- 第10章 大乘仏教の思想の流れと特色
- 第11章 主な仏教文献の種類と思想

教 科 書

テキストはコピーを配布する。

参 考 書 等

佐々木教悟ほか著『仏教史概説(インド篇)』(平楽寺書店)750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
パ ー リ 仏 教 史	おく だいら りゅう し 奥 平 龍 二	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

インドで発祥し、スリランカで大成した上座部仏教(テーラヴァーダー「長老僧の言説」の意。「小乗仏教」の一部派でパーリ語を聖典用語とする仏教)は、のち、東南アジア大陸部に伝来し、モン、ミャンマー、タイ、クメール及びラオ族等に受容され、この地域にパーリ仏教文化が興隆する。これらの民族は、「上座部仏教」を基軸として王権による政治的統合を行い、いわゆる「仏教国家」を建設した。これらの諸国は今日もなお、ミャンマー、タイ、カンボジア及びラオスとなり「上座部仏教文化圏」という共通の文化領域を形成している。

本授業では、上記のような上座部仏教の歴史(パーリ仏教史)を概観したのち、東南アジア大陸部の仏教の受容と変容の問題を取上げる。すなわち、上座部仏教における出家者と在家者、上座部仏教と諸々の民間信仰(大乘、ヒンドゥー教、密教、精霊崇拜等)との関係、女性と仏教等の問題を検討することによって、この地域における仏教の特徴を総合的に捉える。最後に、ミャンマーの仏教を特に事例として取上げ考察する。

講義の内容・授業スケジュール

開講時に年間の事業計画を提示し、また、毎授業時間の始めに当日の授業内容に関するレジュメ及び関連資料を配布する。

成績評価の方法

年2回の期末レポート及び授業への参加姿勢を総合的に判断して評価する。また、ビデオ等の観賞後に感想を求めるが、それらをも成績の参考にする。

参考書等

参考図書並びに関連文献を開講時にまとめて紹介し、必要な解説を行う。

そ の 他

授業は講義だけではなく、ビデオ、スライド、OHP等の補助教材を使用する予定。その際関連する問題について議論も行いたいので、関心のある学生の積極的参加を期待する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
チ ベ ッ ト 仏 教 史	よ っ や こう どう 四 津 谷 孝 道	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

チベット仏教は長い間、一辺境の特殊な仏教であると理解されてきた。しかし、近年仏教研究においてチベット仏教の理解がいかに重要であるかが明らかになってきた。本講義は、チベット仏教が仏教研究において有するその重要な意義を闡明にすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義においては、まず思想史的な側面よりチベット仏教の形成、そしてその変遷を説明する。次に「空性理解」、「修行の意義」等のチベット仏教史上で問題となった重要事項に焦点を当て、それらに関する議論の所在が何処にあるかを探ってみたい。

成績評価の方法

学期末にレポートを提出してもらい、それに基づいて評価を決定する。

参考書等

青木文教『西藏』(芙蓉書房)1987、東京
 松本史朗『チベット仏教哲学』(大蔵出版)1997、東京
 山口瑞鳳『チベット』(全二巻)(東洋叢書3)(東京大学出版会)1987、東京

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教史	おかべ かつお 岡部 和雄	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

中国における仏教の歴史的発展を時代に分けて概説的にたどり、その道すじや特色を明らかにする。いうまでもなく中国仏教という語は Buddhism in China の意味で一般に用いられているが、Chinese Buddhism (「中国人の仏教」または「中国の仏教」) をも意味するのであろう。そして後者の意味するところは、インド仏教や日本仏教とは異なる“中国独自の仏教”ということになろう。この観点を立てば中国仏教史とは、中国独自の仏教の形成史にはかならない。

中国仏教史を正しく理解するには、2つの前提が必要と思われる。1つはいうまでもなく仏教についての知識である。仏教はインドの起源であるから、インドのオリジナルな仏教についての予備知識が不可欠である。他の1つは中国史とくに中国思想史についての大きな知識である。中国では紀元前にすでにインドに劣らない多彩な古典哲学（諸子百家の思想、とくに儒家と道家の思想）が開花した。インドから伝来した仏教は、それらの中国固有の伝統思想と出会い、抗争し、融合した。中国は新しい外来の宗教である仏教を受容して仏教化した。他方、受容された仏教は、それまでの仏教（インドや西域の仏教）とは相貌を異にするほど著しく中国化されてしまった。このように考えれば、中国仏教史とは「中国の仏教化」と「仏教の中国化」を同時に1つの歴史過程のなかにふくむものであり、この2つの契機を思想のダイナミズムとしてたえず注目していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに全体を12章に分けた講義内容を提示する。

履修上の留意点

特に教科書を指定しない。しかし中国仏教史の通史、概説書、研究書は、内外にわたって豊富なので、必要に応じて、それを紹介し、学説が対立している場合は、その問題点を集約し論評を試みる。中国史については『中国史研究入門』上下（山根幸夫編、山川出版社、1983）がすぐれている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮仏教史	いし い こう せい 石井 公成	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

仏教伝来から現代に至るまでの朝鮮仏教について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教伝来の状況と、朝鮮仏教精華である新羅仏教に重点を置き、資料を読みながら通説を批判的に検討してゆく。その際、中国・日本・チベット・ベトナムなどの仏教受容との共通点と違いに注意したい。

履修上の留意点

漢文文献が中心となる。仏教漢文の訓練という点も考慮し、漢文の基礎力がつくような授業形態とするが、自分から積極的に漢文に取り組もうとする姿勢が必要となる。

成績評価の方法

年度末試験によって判定するが、授業中に熱心に取り組んでいた者については、平常点を加算する。

教科書

参考書は数が少ないため、授業内容に応じて関連論文の一覧を配布する。

参考書等

鎌田茂雄『朝鮮仏教史』（東京大学出版会）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史	たか はし しゅう えい 高 橋 秀 栄	禅・仏教2・3選必	4

専 門 教 育 科 目

講義のねらい

二年前から担当している講座であるが、学びたいことが多すぎて、昨年は平安時代の仏教史の概略を俯瞰しただけである。今年度は鎌倉時代の仏教の歩みになろうかと思う。鎌倉時代の仏教は魅力に富んでいるので、どこまで消化できるか心許ないが、仏教文化との関連性を視野に入れて興味つきない講義にしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- 鎌倉時代の革新仏教
- 鎌倉時代の再生仏教
- 栄西・能忍・道元
- 日蓮とその門弟
- 法然・親鸞と浄土教
- 一遍が歩んだ信仰の道
- 文覚・明恵・貞慶
- 鎌倉時代の釈迦信仰
- 鎌倉時代の印刷文化
- 鎌倉時代の法華経信仰
- 鎌倉時代の仏像と納入品
- 鎌倉時代の寺院絵図
- 鎌倉時代の達磨大師讃仰
- 鎌倉時代の僧侶と一切経
- 鎌倉時代の学僧
- 鎌倉五山の歴史と禅僧
- 『徒然草』にみる鎌倉仏教
- 『平家物語』と鎌倉仏教

履修上の留意点

仏教の歩みを正しく理解するには、常日頃から、『仏教辞典』をひもとき、また日本仏教史に関する概説書を読んでいることが必須の条件となる。僧名、寺名、経典名の正しい読み方や基礎的な仏教知識を身につけておいてほしい。

成績評価の方法

20枚以上のレポート提出、採点評価は厳しい

教科書・参考書等

ともに随時、講義の中で紹介する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 禪 宗 史	たなか りょう しょう 田 中 良 昭	禪・仏教2・3選必	4

講義のねらい

本講座は、中国の禪宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禪が中国に伝来し、菩提達摩を初祖とする系統がやがて中国禪宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禪の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

菩提達摩の渡来以前の仏教における禪の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達摩の渡来による独特の禪法の開示から、馬祖の洪洲宗、石頭の石頭宗によって禪宗が一宗として確立された中国禪宗の成立を第Ⅱ部とし、禪宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禪宗の元となった宋朝の禪、更に元代以後の禪という中国禪宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禪学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禪の流れを確かなものしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教 科 書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参 考 書 等

比較的理解しやすいものに、〈講座禪〉第3巻『禪の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禪宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禪宗思想史』、柳田聖山『初期禪宗史書の研究』、『禪仏教の研究』、田中良昭『敦煌禪宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禪』、鈴木哲雄『唐五代禪宗史』、『中国禪宗史論考』、石井修道『宋代禪宗史の研究』等が代表的なものである。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	佐藤 秀孝	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい	本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。
講義の内容・授業スケジュール	禅宗の伝来、栄西の能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈闍の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。
履修上の留意点	禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。
成績評価の方法	平常点（出席）と試験による総合評価。
教科書	特定の教科書は使用しないで、講義の中で適宜に資料などをコピーで配布する。
参考書等	田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,600円 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円 その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅 籍 講 読 I	たなか りょう しょう 田 中 良 昭	禅 3・4 選 必	4
		仏教 3・4 選	

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、昨年に引続き、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した記録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生み出され、その間に著しい増広がなされたが、本講義では、最も素朴な姿を伝える現存最古のテキストである敦煌本の内、最初にその存在の知られたスタイン本（S5475号）と、近年、周紹良氏によってその内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦博本）を比較しつつ、その読解を通じて、初期の禅宗語録の特徴、禅思想、特に南宗禅の基本的立場を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 慧能に至る初期の禅宗について、2. 『六祖壇経』とその構成、3. 前年に講読した部分の概要、4. 新たな部分の講読

履修上の留意点

原文（影印本）に触れることの意義を体験し、認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の出席状況と学年末試験の結果を総合して評価する。

教科書

スタイン本を校訂した大正蔵48巻と周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参考書等

柳田聖山訳『六祖壇経』（世界の名著）18『禅語録』（中央公論社）及び（世界古典文学全集）36A『禅家語録』I（筑摩書房）、楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅 籍 講 読 II	いし い しゅう どう 石 井 修 道	禅 3・4 選 必	4
		仏教 3・4 選	

講義のねらい

禅籍講読Ⅱは、中国後期（宋代以降）の禅籍について講読するものである。この時代の禅籍の特長には、公案集が多く著わされ、臨済宗の『碧巖録』や曹洞宗の『従容録』は、それぞれの宗派の根本聖典となっている。それらは根本聖典であるから、禅を学ぶ人ならば、必ず読まねばならないが、中国の禅宗史も知らず、中国の禅籍の原典を一度も読んだことのない人には難しすぎる。受講者は、教科書の『中国禅宗史話』を読んで、まず、中国禅宗史の知識を身につけること。さて、今年度は、『碧巖録（上）』（岩波文庫）を第一則より順次読んで講義を進める。その場合、入矢義高先生が「解説」で「初めからこの著語を飛ばして、じっくり読むという方法を取ることもあってよい」とあるように、講義では、本則とその評唱のみを読むことにしたい。難解な『碧巖録』の手がかりが、何とか得られると思う。

講義の内容・授業スケジュール

①『碧巖録』について。②公案の発生とその性格。③第一則より講義。

履修上の留意点

教科書を何度も読むこと。授業で取り上げる研究書や参考書を、図書館に行って触れてみること。

成績評価の方法

レポート（夏休み後に提出）20点と学年末試験80点で評価し、評価には出席数も考慮する。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。入矢義高等訳注『碧巖録（上）』（岩波文庫）670円

参考書等

入矢義高等訳注『碧巖録（中）（下）』（岩波文庫）。西村恵信『無門関』（岩波文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	佐藤秀孝	禅3・4選必	4
		仏教3・4選	

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まっており、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨済宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名法語などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や瑩山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後当該の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（?～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参考書等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』（岩波文庫・岩波書店）520円
酒井得元訳註『永平元禅師語録』（『道元禅師全集』第5巻に所収）（春秋社）4,120円

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅳ	岩永正晴	禅3・4選必	4
		仏教3・4選	

講義のねらい

この講義は日本禅宗後期の文献を講読するもので、今年度は、江戸時代曹洞宗の碩学面山瑞方和尚が著し、元文3年（1738）に刊行された仮名法語『自受用三昧』を取り上げます。

面山和尚自身の跋によれば、親しく坐禅を修する在家者から寄せられた、参禅の資助となる古徳の書を読みたいという要望に応じ、一般の人にも読みやすい仮名書きのものと思い「我が朝古今ノ禅師」の仮名法語を検尋してみたが、ひとつとして道元禅師の坐禅の教えに合うものがなく、みずから筆を執り撰述するに至った、と云う本書の成立事情が語られています。

書名は云うまでもなく『弁道話』の冒頭に由来するもので道元禅師の坐禅を意味し、内容は、仮名法語とは云いながら、面山和尚の該博な知識に基づき諸経論を駆使して、懇切に坐禅の要訣を説示したものとなっています。さまざまな意味で、道元禅師の宗旨が坐禅にあるとの見極めがつけられはじめた江戸中頃という時代に相応しい書物であろうと思います。

この書物の講読を進めながら、今日にまで影響を及ぼす面山和尚の、或いは江戸時代曹洞宗の坐禅観について、共に学んでいきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

面山和尚に就いては詳細な年譜が残されているので、先ずその生涯を確認した上で本書の講読へと進んでいきたい。

教科書

『続曹洞宗全書』所収本をコピーして配布する。

参考書等

鏡島元隆氏『日本の禅語録 卅山・面山』
鏡島元隆氏監修・曹洞宗宗学研究所編『道元思想のあゆみ3』
その他、講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読 I	いげ だ ねん た ろう 池 田 練 太郎	仏教3・4選必	4
		禅3・4選	

講義のねらい

原始仏教の経典や律典の中から、仏教の開祖であるゴータマ・ブッダ（釈尊）の生涯について述べている文献を選んで講読する。ブッダの伝記は、入滅後にその存在を偉大視する傾向を経て、超人化・神秘化された姿で伝えられた。そうした性格をもつ資料の中から人間としてのブッダの生涯やその思想を明らかにすることは大きな困難を伴う。この講義では、仏弟子や在俗の信者との間に存するエピソードなども手掛かりとして、できる限り歴史上のブッダの真実の姿に迫り、さらに出発点における本来の仏教は何かという問題についても考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義のうち、前半ではブッダの生涯について伝える諸文献を中心に講読し、その一生を概観する。また後半の授業においては、ブッダを取り巻くさまざまな人々との個別の話題などを取り上げて講読していく予定である。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験によって評価するが、授業の際に小テストを行うことも考えている。

教科書

テキストは、プリントを配布する予定。

その他

授業中、受講者に資料を朗読してもらうこともある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読 II	は せ べ はち ろう 長 谷 部 八 朗	仏教3・4選必	4
		禅3・4選	

講義のねらい

本講義では、大乘経典の中の『法華経』をテキストとして講読する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に大乘諸経典について、その概要を理解する。また、諸経典の成立した時代状況を探る。その上で、そうした社会・文化的背景を考慮しつつ、『法華経』の講読を試みる。さらには、『法華経』が日本における仏教の展開過程でどのように位置づけられ、解釈されてきたかも検討してみたい。

履修上の留意点

受講者にできるだけ意見を述べてもらいながら進める予定なので、主体的に受講する姿勢をのぞみたい。

成績評価の方法

成績評価の方法は未定だが、授業中に1、2回小論文を課し、評価に加算することを考えている。

教科書・参考書等

最初の授業において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅲ	平井俊榮	仏教3・4選必	4
		禅3・4選	

講義のねらい

吉蔵撰「三論玄義」の講読

「三論玄義」は隋代に三論（中論・百論・十二門論）の教学を大成した嘉祥大師吉蔵（549～623）の初期の代表的な著作で、三論の立場から書かれた代表的な中国仏教の概説、入門の書である。本書の講読によって、中国仏教特に中観仏教の中国的展開の一端を理解して貰えるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1篇 すべての教えの根本
- 第1章 破邪
- 第1節 外道に対する批判
- 第2節 毘曇に対する批判
- 第3節 成実に対する批判
- 第4節 大乘仏教の執見に対する批判
- 第2章 顕正
- 第1節 人についての正義
- 第2節 教えについての正義
- 第2篇 別積
- 第1章 経典と論書の互助関係
- 第2章 論書がつくられたゆかり
- 第3章 諸部派における通別の意味
- 第4章 題名の立て方
- 第5章 多くの論書が帰着する趣旨
- 第6章 四論の破斥と主張
- 第7章 別の立場からの解釈
- 第8章 三論の通と別
- 第9章 教化のための手段の相違
- 第10章 破斥の対象の相違
- 第11章 中論の題名の解釈

履修上の留意点

期末筆記試験の成績

教科書

『首書三論玄義』（刊本をコピーすること。刊本の入手が困難な時は大正大蔵経45巻の該当部分を各自コピーすること。）

参考書等

平井俊榮著『大乘仏典 中国日本篇 2 三論玄義』（中央公論社）4,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅳ	飯塚大展	仏教3・4選必	4
		禅3・4選	

講義のねらい

無住道暁（1226～1312）の著作である『沙石集』を講読する。『沙石集』は鎌倉時代成立の説話集であり、古今東西の説話をとりあげて、仏教の要旨や処生訓を説く啓蒙書である。本書を通して、中世日本における仏教者の生き方とその主張をあきらかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず無住の伝記と仏教者としての思想的経歴を明らかにした上で、原典の講読を行なう。

履修上の留意点

受講者の解釈が前提とされるため、予習は不可欠である。

成績評価の方法

授業時における読解内容と、前・後期一回ずつのレポートとによって評価する。

教科書

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 史	は せ べ はち ろう 長 谷 部 八 郎	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教 科 書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参 考 書 等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	^{なが} 永 ^い 井 ^{まさ} 政 ^し 之	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「葬送儀礼・追善」を取りあげて、仏教教団において葬送が儀礼として成立する過程を考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

参考書等

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	^{ほかま} 袴 ^や 谷 ^{のり} 憲 ^{あき} 昭	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

「浄土思想と日本文化」という課題のもとに講義を行いたい。日本文化史の上に及ぼした浄土思想の影響は極めて大きい。その浄土思想を仏教思想の中にどう位置づけるべきかを絶えず考慮しながら講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、インドの世親の『浄土論』を中心にインド仏教における浄土思想の展開を押え、それが中国においてどのように定着したかを、曇鸞、慧遠、吉蔵、善導などを中心に考察し、それらが日本の浄土思想にどのように現われ発展したかを、智光、永観、覚鑿、源信、法然、親鸞などを中心に検討していく。

履修上の留意点

講義において指示する文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

末木文美士『日本仏教史』（新潮文庫）

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波新書）
 石田瑞磨『日本人と地獄』（春秋社）
 袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日用経典	みながわひろよし 皆川広義	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

般若心経・法華経・修証義

現在、礼拝の場などでよく読まれている代表的仏教経典を、教理を正しくふまえてわかりやすく講義したい。

はじめに、仏教の開祖・釈尊の悟りの世界を述べている『般若心経』を学び、仏教の教えの根本を明らかにする。

次には、釈尊の人々への思いやりより生まれた伝道の心を述べている『法華経』を学び、仏教の説く慈と安心を学び得たい。

最後には、明治時代、我国で新しく編纂された経典である『修証義』を学ぶことによって、自己の生死の苦悩を超克して、悟りと安心をつくりだしたい。

以上の般若心経・法華経・修証義の三経典は、多くの日本人に影響を与え、安心と生きがいをつくりだした、日本仏教の根本聖典である。

講義の内容・
授業スケジュール

I 仏教の経典

1. インドの経典（パーリー語経典、サンスクリット語経典）
2. 中国の経典
3. 日本の経典

II 般若心経

1. 般若心経について
2. 般若心経について
3. 本文解釈
4. 般若心経に説示された悟りの世界

III 法華経

1. 法華経について
2. 本文解釈 ①寿量品偈 ②普門品偈
3. 法華経に説示された慈の世界

IV 修証義

1. 正法眼蔵と修証義
2. 修証義について
3. 本文解釈
4. 修証義に説示された安心と生きがい

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。経典を主体的に学んで、自己の思想を確立し、人格を完成していただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度（出席率など）、レポート・年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教科書

『日用経典テキスト』 プリント代 500円 教室で配布する。

参考書等

紀野一義著『般若心経を読む』（講談社現代新書）420円
 紀野一義著『法華経を読む』（講談社現代新書）420円
 桜井秀雄著『修証義を読む』（名著普及会）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅学概論	佐藤秀孝	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教概論	平井俊榮	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。

- 序章 仏教とは何か
- 第1章 仏陀の生涯
- 第2章 仏の本質
- 第3章 法——仏教の真理観——
- 第4章 一切法——法の分類——
- 第5章 輪廻と業の煩惱
- 第6章 悟りへの道
- 第7章 心——実践の主体——
- 第8章 修行者の理想像
- 第9章 戒律と教団の組織
- 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参考書等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	石井公成	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい	漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。
履修上の留意点	口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。
成績評価の方法	試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。
教科書	使用せず、コピーを配布する。
参考書等	教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド哲学史	金沢篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。
講義の内容・授業スケジュール	定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。
履修上の留意点	日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。
成績評価の方法	数回のレポートと年度末の筆記試験など。
教科書	早鳥鏡正他著『インド思想史』（東京大学出版会）
参考書等	講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	まえかわ とある 前 川 亨	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国人の世界観・人間観・死生観などの歴史的展開を把握することを目的とする。具体的には儒教・仏教・道教の思想とその相互関係の理解が主な課題となる。その際、東アジア世界の中で中国思想という広い視野を失わないよう心掛けたい。この授業を通して、中国人の思考様式がどのような特徴をもっており、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なっているかを、いささかでも明らかにしたいと思う。一見抽象的にみえる思想の世界も、実は我々の現実と密接につながっていることを、共に学んでいこうと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の関心の方向を勘案して、前年度同様に孔子から初めて唐・宋代に及ぶか、それとも唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化など多方面に関心のある諸君の受講を期待する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（持とうという意識を持っていること）が望ましいが、授業じたいはそれなしでも理解可能であろう。継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで受講しないでもらいたい。問題意識と積極的な意欲をもった皆さんの受講を望む。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期・後期に提出してもらおう。それ以外の評価方法も検討したい。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるか、受講者の皆さんの意見なども聞きながら進めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋哲学史	なかむら ともたろう 中 村 友 太 郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

古典的なテキストになるべく豊かに触れる機会を設けつつ、それらの思想の背後にある精神史を探訪する。特にここでは、ユダヤ・キリスト教文化の中での哲学思索のあり方を歴史的・形成の面から追求することを主眼としたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は毎回二つの部分から成る。
 (a) テキストおよびプリント資料を参考に古代から中世にかけての哲学史の展望。
 (b) 講義内容への各自のリアクション、また教材への各自の取り組みを前提とするディスカッション。
 したがって、聴講者の積極的な取り組みが特に期待される。

成績評価の方法

上記の授業の特性に対応して、レポート及び試験の他、毎回の簡単なリアクション・ペーパーなどによる出席状況をも考慮して総合的に評価する。

教科書

開講時および授業の進捗状況に応じて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教思想史	まつもと しろう 松 本 史 朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

インド仏教の思想的展開を概説することによって、仏教思想の特質を明らかにするのが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・スケジュールは、ほぼ次の通りである。(a)仏教成立以前のインド思想(ヴェーダ・ウパニシャッド・ジャイナ教)、(b)原始仏教の思想(縁起説・四諦説・無我説等)、(c)部派仏教のアビダルマ哲学、(d)大乘経典の思想(『般若経』『華厳経』『法華経』『涅槃経』等の思想)、(e)中観派の空思想、(f)瑜伽行派の唯識思想、(g)仏教論理学の思想。

履修上の留意点

厳正な試験を行なうので、安易な気持ちで履修することは、避けられたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

早島鏡正等著『インド思想史』(東京大学出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教思想史	いとう たかとし 伊 藤 隆 壽	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国仏教思想の形成について、仏教と中国の伝統思想である儒家思想や道家思想との交流の視点から講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教伝来以前の中国思想 2. 仏教の基本思想 3. 仏教の中国への伝来 4. 中国での仏教理解のあり方 5. 中国仏教思想の諸相

履修上の留意点

仏教のみならず中国伝統思想についても関心をもち、自主的に参加し学習してほしい。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教科書

コピー資料を配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原始仏教	かた やま いち ろう 片 山 一 良	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	<p>仏教の源泉を原始仏教という。大乘であれ小乗であれ、そのすべては後代の呼び名に過ぎず、いずれの考えも原始仏教から出発している。釈尊が示されたものは、縁起、四諦の教え、あるいは無常・苦・無我という三相の見方であった。戒律を保ちまもることに始まり、少欲知足の生活をつねに教え導かれた。そこには智慧と慈悲の教えがあるのみで、何ら飾りは見られない。</p> <p>本講義では、このような原始仏教の教えを具体的に示し、またこの教えを通して「仏教」とは何かを考えたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期は、仏伝を紹介し、縁起・四諦などの基本的思想について、後期は、中道ないし戒律の実践について見ることにする。</p>
履修上の留意点	<p>受講生は、まず、従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始仏典を直接読むことが望ましい。</p>
成績評価の方法	<p>レポート（夏期）および年度末テストによる。</p>
教科書	<p>とくに使用しない。</p>
参考書等	<p>適宜指示する。</p>
その他	<p>随時、資料プリントを配布する。</p>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
浄土学概論	ひろ かわ たか とし 廣 川 堯 敏	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	<p>従来の伝統的立場からではなく、新たな比較思想論の視点から、法然浄土教に光をあてて、その教学上の諸問題を解明したい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>まず法然房源空の生涯とその著作解題、および浄土宗二祖聖光・三祖良忠の伝記について概論的な説明をした上で、法然における宗教心の開発と発展・人間観・神秘体験・阿弥陀仏観・自力他力論・選択思想・念仏の現代的意義・罪惡観・浄土教倫理等の諸問題について順次講述したい。</p>
履修上の留意点	<p>法然の伝記について基礎的な知識を持った上で受講すること。</p>
成績評価の方法	<p>レポート、出席点、受講態度等を総合して判定する。</p>
教科書	<p>毎回プリントを用意する。</p>
参考書等	<p>諸戸素純『法然上人の現代的理解』S.39（知恩院浄土宗学研究所）、高橋弘次『法然浄土教の諸問題』H.6再刊（山喜房）、藤本浄彦『法然浄土教思想論改』S.63（平楽寺書店）、田村円澄『法然』S.34（吉川弘文館）</p>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
真 言 学 概 論	ひろ さわ たか ゆき 廣 澤 隆 之	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

真言密教の基本的理解をめざす。空海を中心として、日本における真言密教の展開を考察する。基礎的概念を理解することを目標とするが、さらに思想としての仏教のありかたを考察する。道元禅師の思想とも結びつけ、日本における仏教の基層的なありかたや特質を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①インド仏教史における大乘と密教
 仏教における密教的特徴、ヒンドゥー神話と仏教、大乘仏教における陀羅尼、仏陀観、マンガラ、瑜伽行（ヨーガ）、チベットへの伝播
- ②中国における密教
 密教の経緯、唐代の密教の隆盛、国家と真言密教、不空三蔵と惠果阿闍梨
- ③空海の思想
 著作について、教判論（密教と顕教との対比）、十住心思想、即身成仏思想、言語観、救済論
- ④日本における真言密教の展開
 古代宗教の呪術性とアニミズム、言霊信仰、奈良時代～平安初期の仏教、護国思想、山岳仏教、平安末期の仏教、加持祈祷、真言密教と浄土教、覚鑿の思想、真言宗の分派
- ⑤密教的思想と現代思想
 近代主義と仏教研究、真言密教はなぜ嫌われたか？真言密教はカルト教団に近いか？近代～現代の思想とどのように真言密教は関わるか？

履修上の留意点

授業中に私語した者は即座に退室させる（学習意欲のある学生の迷惑になる行為を厳禁する）。

成績評価の方法

学生の出席状況・履修態度を勘案して学年末に発表

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

講義形式（教科書を使用しないので、きちんとノートを作成すること）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
神 道 概 説	たけだ ひであき 武 田 秀 章	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

神社は、この国土の隅々に息付く神々への崇敬の場として、また日本人の共同体生活の指標として、時に外来宗教との習合・相克を演じつつも、概ね各地域において自然成長的な歴史展開を示してきた。この一方で、全国の神社は、しばしば「公」の手によって国家的規模で再編成され、時代に応じた「神社制度・国家祭祀制度」をも形作ってきた。

本講では、この事柄の両面に着目しながら、全国の神社が経てきた歴史展開の諸相を、巨細に検討してゆきたい。この過程で、神社・祭祀の永続に託されてきた日本人の永世観の在り方、神社と天皇・国家とのかかわり如何等々、神道史の本質にかかはる諸問題について、仏教との比較も念頭に置きつつ聴講者と共に考えてゆくことができれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期〉前期は、古代・中世の神社史を概観する。講義の主要な着眼点は次の通り。

- (a) カミとは何か、モリとは何か、ヤシロとは何か。
- (b) 大陸文化・宗教の渡来は、わが国固有信仰にいかなる影響を及ぼしたのか。
- (c) 神社の鎮座伝承とはどのようなものか。(伊勢神宮、出雲大社、神社縁起)
- (d) 律令国家形成に伴い、神社はいかに編成されていったか。(神祇令)
- (e) 王朝国家形成に伴い、神社はいかに再編されていったか。(二十二社・一宮制)
- (f) 神仏習合の浸透は、神社をいかに変容させていったか。(本地説、宮寺、別当)
- (g) 中世以降の社会変動に、神社はいかに対応していったのか。(寺社勢力、渡会神道、御師、一揆、宮座、吉田神道)

〈後期〉後期は、近世・近現代の神社史を概観する。主要な着眼点は次の通り。

- (a) 近世の国家統一は、いかなる国家神を生み出したのか。(豊国神社、東照宮)
- (b) 近世地域社会の形成に伴い、神社はいかに再編されたか。(專業神職、吉田宮)
- (c) 近世の朝儀再興・神祇復興の動きは、いかにして生じ、朝野相呼応しつつ、どのように展開していったのか。(例幣、三社奉幣、七社奉幣、式内社復興、神祇官再興)
- (d) 近代の国家祭祀制度・神社制度は、近世の朝儀再興の達成を継承しつつ、いかに形成されていったのか(神仏分離、社領公収、世襲廃止、神社制度、国家祭祀、祭教分離)
- (e) 近代の神社・神職は、どのような社会活動を展開したのか。(大教宣布運動、神祇官興復運動、神宮大麻奉斎運動、公葬祭運動)
- (f) 敗戦・占領に際し、神社はいかにして存続を図ったのか。(神道指令、神社連盟) (7) 戦後社会の変質は、神社にどのような影響を及ぼしたのか。神社は次代に何を寄与しうるのか。

履修上の留意点

日本史・日本宗教史についての理解を有する学生の受講が望ましい。

成績評価の方法

前期・後期の最終日に筆記試験を実施、平常成績と併せて総合的に評価する。

教 科 書

井上順孝『神道 日本生まれの宗教システム』(新曜社) 2,200円

参 考 書 等

手頃な参考図書として『神社総攬』(新人物往来社)、至便な事典として『神道事典』(弘文堂)。尚、神道通史の古典としては、佐伯有義『大日本神祇史』、宮地直一『神道史』(全四巻)、同『神祇史体系』等。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語仏書講読	よし ず よし ひで 吉 津 宜 英	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

外国語仏書演習は英独仏などの諸外国語によって著された仏教書を精読することを目的とする。外国語の仏書の学習を通して外国語の実力を高めることは勿論であるが、それ以上に海外の研究者の仏教研究の問題意識や研究方法論の問題にも認識を深めることが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は“The Faces of Buddhism in America; edited by Charles Prebish and Kenneth Tanaka” (Univ. of California Press, 1998) 中の「3. Japanese Zen in America」を読む。

履修上の留意点

音読を重視し、出来るだけ多く読むようにしたい。

成績評価の方法

平常の演習点で評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語禅書講読	おお にし りゅう ほう 大 西 龍 峯	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

禅独特の表現や考え方を、日本語のみで触れていると、つい曖昧な形で感覚的に受けとめていたり、論理的な意味などにかまわず漠然と理解してしまっていることが少なくない。その点、英語に翻訳された禅の文献を読むことで、それらが具体的にどんな意味をもつのか、また実践的にどうとらえるべきかについて、より明確に考えてみる事ができよう。

講義の内容・授業スケジュール

今年は Ruth Sasaki ‘The Recorded Sayings of Ch’an Master Lin-Chi Hui-Chao of Chen Prefecture’ (臨濟録) を読むことにします。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

テキスト、資料等は、授業で配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅲ	大谷哲夫	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

『従容録』を中心にして“禅”の神髄を参究する。
『従容録』は、詳しくは『万松老人評唱天童覚和尚従容庵録』という。
これは、宏智正覚（1091～1157）が古徳の妙則100則を収集し、それに頌古したものが『宏智頌古』として存在し、後に万松行秀が嘉定16年（1223）到北京の報恩寺にて従容庵を築いて幽居中に、元の太祖の西域親征に従っていた湛然居士（耶律楚材）の懇請によって、先の『宏智頌古』に示衆・評唱・著語を付し、庵名をもって書名としたからである。
本書は、『碧巖録』とともに禅林において並び行われ、その頌古は風格が高く、宏智の技倆古今越格と称されている。『碧巖録』が看話禅の臨済宗で用いられるのに対して、『従容録』は黙照禅の曹洞宗の宗風を挙揚したものととして広く用いられているので、本講座では、その成立から詳細に参究する。

履修上の留意点

『従容録』を演習の形式をとりながら、講義を進めるので、予習は必ず行なってもらいたい。

成績評価の方法

出欠・レポート・期末試験による。

教科書

『従容録』を用いるが、開講時にコピーを配布する。

参考書等

適宜に指示し、参考文献などはその都度配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅳ	青龍宗二	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

道元禅師の思想と行動
鎌倉新仏教の祖師と仰がれる道元禅師が、政治的にも文化的にも移り変る激動の中世社会において、公家の家庭に生まれ育ちながら、無常の意識から生涯を宗教者として生き貫いた、その思想と行動を文化史的に再検討し、宗教者としての道元禅師の人間像を発掘してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次のような内容で進める。
1. 鎌倉新仏教とは
2. 宗教思想の形成について
3. 京都時代の思想と行動
4. 越前時代の思想と行動

履修上の留意点

講義は限られた時間で行うわけであるから、上記の項目の内、従来全く問題にされていない主要課題を中心にノートで進めるが、直接その思想を味得してゆくために原典講読をも併用する。

教科書

原典はその都度指示する。

参考書等

教場で指示するが、次に掲げる参考書は比較的手に入り易いと思われる。
川添昭二『鎌倉文化』（教育社）、今枝愛真『道元——行動と思想』（評論社）
水野弥穂子『道元禅師の人間像』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 I	たか はし しゅう えい 高 橋 秀 栄	禅・仏教2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

この講座では、写経・版本・墨蹟・鐘銘・碑文・扁額・金石文などの仏教文化財を活用して、仏教書誌学の基礎知識を学ぶ予定である。中国で開版された大藏経の諸経。端正謹厳な書風を伝える奈良時代の写経。金銀の箔を散りばめた平安時代の装飾経。力強い刻字の跡を示す鎌倉時代の摺経。卓越した技量を偲ばせる江戸時代の版本など、経典の世界を彩る遺品は多種多彩であり、それだけに奥が深く、一朝一夕に学び究めることはできないであろう。しかし、敢えてその奥に踏み込もうとするのは、近時、あまりにも仏教書誌学の基礎知識に乏しい学生が多すぎるからである。老婆親切にも限りはあるが、日本仏教の再生をめざして一途に精進する好学の学生ならびに明日の宗門をになう熱意ある寺院僧侶の門弟の受講を希望する。「一期一会」の出会いを通じて、未知なる世界に一步を踏み出すもよし。この講座で学びえた知識は生涯の糧となるはずであるし、さまざまな経論疏章の台帳作りにも役立つはずである。

授業では仏教文化財の解説に必要な諸道具(例えば、仏教辞典、禅宗辞典、人名辞典、異体字・くずし字辞典、経典目録、蔵書印譜、年表、系図、地図など)の活用方法についても指導する予定である。なをこの講座を受講するには、江戸時代以前の古写本、古版本を所持していることと、くずし文字、変体仮名、異体字、略字が読める知識を備えていることが条件となるので、事前に予備学習しておいてほしい。

委細は講義の初日に示す予定である。

履修上の留意点

仏教典籍の書誌・辞典・目録・解題・凡例に親しむ特殊な能力が不可欠である。また講義で見聞したことをさらに自ら確かめてみるという積極的な学習態度が望ましい。書誌学上の参考図書や辞典の類を座右に備えながら、自ら進んで学習することを厭わない向学心に燃える学生の受講を切に希望する。

成績評価の方法

20枚以上のレポート提出

教 科 書

随時プリントを配布する予定である。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介するが、田中良昭編『禅学研究入門』(大東出版社)をあらかじめ通読しておくことを望む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 II	い づか ひろ のぶ 飯 塚 大 展	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

五山の僧による註釈を中心として、『首楞嚴経』を読解する。

講義の内容・
授業スケジュール

『首楞嚴経』及び『首楞嚴経抄』の解題を行なった後、本文と註釈の読解へと進む。

履修上の留意点

各時間毎の担当者を指名し、『抄』の部分の翻刻に基づいて、発表してもらう。受講者の解釈が前提とされる為、予習は不可欠である。

成績評価の方法

授業時における発表内容と、前・後期一回ずつのレポートによって評価する。

教 科 書

資料は、プリントにて配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 Ⅲ	よ っ ぱ ころ とう 四 津 谷 孝 道	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講座では、中観思想を思想史的観点から理解することを通して、大乘仏教の中に於ける中観思想の思想的意義を考究する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、インド、チベット、そして中国に互る中観派の歴史的・地域的發展を概説する。次に、思想史的観点から以下のようなテーマの下で中観思想を検討してゆきたい。i) ナーガールジュナの『中論』 ii) 『中論』の注釈史を中心としたインドに於ける中観思想の展開 iii) チベットに於ける中観思想の受容 iv) 中国に於ける中観思想の受容。以上を前期期間中に終えたい。後期はまず、仏教内の他派の思想と中観思想とを以下のテーマの下で比較する。i) 唯識思想と中観思想 ii) 如来蔵思想と中観思想。次に、中観思想の研究史を、特に幾人かの著名な研究者に焦点をあてて、方法的観点から扱ってみたい。最後に、Claus Oetke 等による『中論』研究をもとにして、最近の『中論』の研究の状況について述べてみたい。

履修上の留意点

受講生には出来るだけ発言の機会を与えるので、自らの考えを積極的に述べてもらいたい。

成績評価の方法

前期・後期のレポートに基づいて、受講生の成績を評価する。

教 科 書

特定の教科書を用いず、毎回の講義の内容に応じて講師が作成したもの（諸研究所よりの抜粋のコピーも含める）を配布する。

参 考 書 等

梶山雄一・上山春平著『仏教思想 3 空の論理 〈中観〉』（角川文庫10306）800円
『講座・大乘仏教 7 中観思想』（春秋社）2,500円
David Seyfort Ruegg : “*The Literature of the Madhyamaka School of Philosophy in India*”, A History of Indian Literature vol VIII, 1981, Otto Harassowitz.
中村 元著『ナーガールジュナ』人類の知的遺産13（講談社）1,500円
中村 元著『空の論理 大乘仏教Ⅲ』中村 元選集〔決定版〕第22巻 8,925円
『チベット仏教』岩波講座東洋思想第2巻（岩波書店）2,880円
平川 彰訳『ドユ・ヨング仏教研究の歴史』（春秋社）2,500円
平川 彰『仏教研究入門』（大蔵出版）3,800円
Claus Oetke : “Die mataphysische Lehre Nāgārjunas”, *Conceptus*, Jahrgang XXII, Nr. 56 1988, pp. 47-64.
Claus Oetke : “Rationalismus und Mystik in der Philosophie Nāgārjunas”, *Studie zu Indologie und Iranistik*, XXX, 1989, 1-39.

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教特講Ⅳ	おくのみつよし 奥野光賢	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国・日本仏教における如来蔵・仏性思想の思想的展開の概説を目標とする。如来蔵・仏性思想とは、中国・日本の仏教諸宗派のほとんどが受け容れた代表的教理で、大乘仏教の根源的な教理でもあるといわれている。その教理を示す有名な言葉が、『涅槃経』の「一切衆生悉有仏性」であるが、本講義ではこの思想が果たした役割を主として中国・日本仏教上に見ることとした。

講義の内容・授業スケジュール

主として中国・日本仏教における如来蔵・仏性思想の展開過程を考察するとはいっても、絶えずインド仏教の流れを意識することは言うまでもない。講義は如来蔵・仏性思想の淵源から説き進め、それが中国・日本においてどのように受容・展開されていったかに及びたい。授業は当初は講義形式で進めるが、必要に応じて原文を示し、各自に直接原文を読んでもらう場合もある。直接講読する文献は、未定である。受講者と相談の上、決めたいと思う。

また、如来蔵・仏性思想に対しては、最近その思想の評価をめぐって、批判的研究も提示されているので講義はそうした問題も意識しながら進めることになるであろう。

履修上の留意点

一年を通してかなりの枚数のプリントを配布する。欠席によるプリントの再配布は行なわないのであらかじめ留意されたい。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末のレポートによって評価する。

教科書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参考書等

参考書はあまたある。それらについては授業中において適宜指示するが、さしあたって次の書のみをあげておきたい。

高崎直道『(増補新版) 仏性とは何か』(法蔵館) 2,800円(税別)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教伝道概説	みな かわ ひろ よし 皆 川 広 義	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教における伝道について、理論と実践の二面より、概説したい。仏教伝道は、教主釈尊の生涯や教えを宣布する布教活動と、その教えにより人々を育成する教化活動よりなっている。

理論面では、まず、釈尊の教えをふまえて、仏教における伝道の原理を明らかにして、なんのために伝道をするのかを把握したい。次に、①教法、②人間（対機）、③伝道法の三点より、生死の苦悩からの解脱道としての仏教伝道を説明する。

実践面では、教えの広宣流布を中心とする布教活動と、教えにより人々を教化育成し、悟りと安心をあたえる教化活動に分け、現場における具体的実践を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 宗教における伝道 有所得の伝道と無所得の伝道
- II 仏教における伝道の原理
 1. 教主釈尊の伝道 悲智慈の展開としての伝道
 2. 仏教伝道の歩み インド・中国・日本・その他の国々へ
 3. 仏教伝道における①教法②人間（対機）③伝道法（布教と教化）
 - ① 教法（仏法 教理 教え）
 - 1 菩提樹下の悟り 2 根本教理 縁起説 四諦説 3 教え 対機相応の説法
 - ② 人間（対機）
 - 1 仏教における人間、生命論（縁起、無自性、空、仮説有）
 - 2 未信者と信者 3 現代人の意識と行動
 - ③ 伝道法
 - 1 伝道者の理念（自信教人信、自未得度先度他、四摂法、自利と利他の伝道）
 - 2 伝道者の資格 3 布教教化カリキュラム（信仰の誘引と形成）
 - 4 伝道組織としての教団と、伝道の場としての寺院
- III 仏教伝道における布教活動と教化活動
 1. 布教活動（未信者を対象とした伝道活動）
 - 1 文書布教 2 唱導布教 3 視聴覚布教 4 総合布教
 - 5 無意図的布教（仏教文化、寺院の社会活動など）
 2. 教化活動（信者を対象とした伝道活動）
 - 1 自己教化 2 1対1の教化
 - 3 禅的合宿研修による集団教化 4 法座（講、仏青、仏婦）
 - 5 儀礼（日曜礼拝、恒例法要、葬祭法要） 6 聖典講読会
 - 7 聖地巡礼（インド釈尊聖地巡礼、中国日本祖師聖地巡礼、観音霊地巡礼）
 - 8 写経 写仏など
- IV その他の伝道
 1. 世代別伝道
 - ①児童布教 ②青少年伝道 ③婦人伝道 ④壮年伝道 ⑤老人伝道
 2. 地域別伝道
 - ①地方伝道 ②都市伝道 ③国外伝道

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。仏教伝道の活動は、人々への思いやりと自己の安心形成のためになされるものであることを、この授業を通して学びとっていただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教科書

増谷文雄編『仏教の根本聖典』（大蔵出版）定価2,500円

参考書等

大西憲明著『現代仏教教化法』（百華苑）定価2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教伝道研究	みな かわ ひろ よし 皆 川 広 義	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

— 対機研究と死の教育 —
 この仏教伝道研究では、伝道上とくに重要な課題をとりあげて、詳細にかつ深く考察する。
 このたびは、「対機研究」「葬祭儀礼」「死の教育」の三点をとりあげる。
 「対機研究」では、仏教論、生命論をふまえ、新しい生命、人間科学の研究成果なども参照して、現代における伝道対機としての人間を考察する。
 「葬祭儀礼」では、仏教の伝統的な葬祭儀則をふまえながら、現代人の葬祭に関する意識調査などを参照して、現在の仏教的葬祭より葬祭仏教を創造する道をさぐりたい。
 「死の教育」では、生死の苦悩からの解脱道としての仏教の立場より、現代の「死の教育」の歴史、その内容などを考察して、安らかな死の受容をつくりだしてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 対機研究と仏教伝道
 - 1. 釈尊における生命論と人間論
 - 2. 現代科学の生命論と人間論
 - ① 生命の歴史 (生命科学)
 - ② 生命の構造 (分子生物学)
 - ③ 人間の歴史 (文化人類学)
 - ④ 人間の生涯 (生理学 医学)
 - ⑤ 人間の心 (大脳生理学、心理学、社会学)
 - ⑥ 人間の苦悩 (臨床心理学)
 - 3. 現代の人間論と伝道
- II 葬祭と仏教伝道
 - 1. 人間と葬祭について
 - 2. 仏教における葬祭の歴史
 - 3. 葬祭仏教 儀則と儀礼
 - 4. 現代人の葬祭意識
 - 5. 葬祭仏教の創造と伝道
- III 死の教育と仏教伝道
 - 1. 生老病死の教育としての仏教
 - 2. 「死の教育」の歴史
 - 3. 死に関する文化
 - 4. 現代人の死生観 死の不在の時代
 - 5. 死に対する恐怖 (意識調査)
 - 6. 死の受容のプロセス
 - 7. 病名告知とターミナル・ケア
 - 8. ホスピス緩和ケアの理念と役割
 - 9. 悲嘆のケアと葬祭
 - 10. 脳死と臓器移植
 - 11. 現代における安らかな死の受容と伝道

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。今年のテーマ「人間 生命論」「葬祭」「死の教育」の考察を通して、生きた仏教伝道を修得していただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度 (出席率など)、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教科書

なし

参考書等

- I 「人間 生命論」
 - 植原和郎『人類進化学人間』(中央公論社)
 - 『生命40億年はるかな旅』全6巻 (NHK 出版)
- II 「葬祭」
 - 圭室諦成『葬式仏教』(大法輪閣)
- III 「死の教育」
 - キューブラロス『死の瞬間』(読売新聞社)
 - 近藤裕著『自分の死にそなえる』(春秋社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年問題研究	讃岐真佐子	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面にも、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す1つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達にそって具体的に学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中での青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、主にテキスト記載の事例を中心に、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるだろうが、何らかの形で受講生のフィード・バックを得る方法を考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況と定期試験の両方を考慮する。

教科書

氏原寛・東山紘久編『発達とカウンセリング』
別冊『発達』第18巻（ミネルヴァ書房）2,500円

参考書等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』
（『日本人の深層分析』第9巻と10巻）（有斐閣）
- ・季刊『仏教——特集壺し』No. 31（法蔵館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（楡出版）『子どもの宇宙』（岩波新書386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年指導演習	ひらの 平野 学	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が「青少年指導」について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かかわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりである。

《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の観点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

《後期》

4. スクールカウンセラーについて及び講師自身の援助例(不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング)の提示と討議。(3回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題とそのカウンセリング(3回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ボランティア活動他)の報告と討議。(2回)
7. 1年間をまとめる意味で、河合隼雄氏等の文献のいくつかを輪読(分担発表)すると共に自由討議を行なう。特にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(2回)
8. その他(全体の振り返り他)。(2回)

履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。
出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらい、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたく、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行うので安易な受講は避けてほしい。)尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話するが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行なう予定。

教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る(上下)』(創元社)各1,300円

参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える(上下)』(創元社)各1,300円
同 『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)1,240円
同 『ユング心理学と仏教』(岩波書店)1,800円
佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』(東大出版会)2,800円
他にも授業の中で随時紹介していきたい。

その他

VTR やテープ等も多く使用して、具体的に学べるようにしたい。
授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 法 概 説	あらい けん 洗 建	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本の宗教法制について概説する。わが国における宗教法制の根幹は、憲法の保証する信教の自由と、政教分離の原則によって規定され、これに基づき宗教団体に法人格を賦与する目的で宗教法人法が定められている。憲法原理の意義をしっかりと理解した上で、今回の宗教法人法の一部改正問題を含めて民法と宗教法人法の間にある諸問題などを理解し、法の精神を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、現憲法の原理が導入されるまでの近代日本宗教法制史を概観する。信教の自由の理念がいかなる背景から生まれ、どのように導入されたのか、わが国の宗教文化との間にどのような問題が存在するのかを理解して貰いたい。

後半は、宗教法人法の諸規定について概説し、民法との関係、税制との関係、法の精神とその諸問題についての理解を深める。

履修上の留意点

将来、寺院に携わる人のために実務的問題にも触れなければならないが、寺院と関係のない人も多いようであるから、法の精神やその意義に力点を置いて講義する。具体的実務問題などで質問のある人は、積極的に質問して貰いたい。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教科書

指定しないが、後半の授業では憲法第20条、第89条、および宗教法人法の条文を、六法全書などからコピーして、持っておくようにして貰いたい。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書 道	の 野 村 宙 弘 むら おき ひろ	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。
書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教科書

王 羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現 代 と 仏 教	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教が現代からさらに未来社会において果たす責任・役割とは何であろうか。しかもこれらの課題をすすめる立場とはどのような視点が確立されなければならないのか。この課題を、人権・反差別という視座を中心にして、検討し確認することを、この講義の目標とする。仏教が有する普遍宗教としての性格やその有効性は、こうした検討を通して、より一層発揮されると考えられるからである。

講義の内容・授業スケジュール

人権思想の世界的なながれを学習し、差別事象をとりあげていく。とりわけ仏教と差別の関係について、中心課題としたい。

履修上の留意点

単に知識としての学習ではなく、自分のくらしの中で、反差別とは何かを考えて欲しい。

成績評価の方法

レポート・期末テスト。

教科書

曹洞宗宗務庁編『差別語を考えるガイドブック』(解放出版社)

参考書等

講義の進行に合わせてその都度紹介する。

その他

必要に応じてコピーも参考にする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 論	長 ^は 谷 ^せ 部 ^べ 八 ^は 郎 ^ち 朗 ^{ろう}	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、日本人の宗教行動の特質を、既成宗教、新宗教、民俗宗教の比較検討を通して探究する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教学の基本的な術語や概念の解説を中心に進め、この学問の特徴を把握する。後期では、それを踏まえて日本宗教の性格を理解する。とくに、神仏習合と称される我が国の宗教の習合性・重層性に着目し、種々の儀礼を通して検証すると同時に、そのような形態を生んだ理由や背景について、歴史性を考慮しながら論ずる。

また、民衆の宗教的ニーズの在り様にも言及する。主に現代社会をめぐる、諸宗教の交錯する状況の下で、人びとは宗教に何を求め、かつ宗教はそれにどう対応しているのかを、具体例に沿って探ってみたい。

成績評価の方法

評価方法は未定である。なお、授業の中で小論文を課す予定である。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キ リ ス ト 教 概 論	ひき 挽 ち しげ 地 茂 お 男	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

ヨーロッパ精神は二つの源流、すなわち、ギリシア思想とキリスト教に遡ると言われる。ヨーロッパの長い文化と伝統を理解しようとする時、その根底に流れるキリスト教の理解を欠くことができない。本講はこのキリスト教を理解の対象とする。しかし対象に接近する仕方は様々である。一つの宗教を理解しようとする場合一般に宗教を構成する4つの要素を中心に考えることができる。すなわち宗教の根幹をなす神観、人間観、世界観を形成している①宗教思想(ピリフ・システム)。これはそれぞれの宗教のもつ伝承や神話や教典・教義の中心に流れている。この宗教思想を原理として実践される②宗教儀礼。この象徴的な行為の体系である儀礼は、集団の成員間に連帯感を高め、メンバーとしての自覚をもたらす。このように形成される③宗教集団(教団)は宗教的な意味によって結ばれた一つの社会的グループである。宗教集団はそれぞれに独自のピリフ・システムや儀礼的な行動様式とともに成員組織や物的施設を有している。④宗教体験はこのような宗教集団の集団的営みの内外で、集団的なものとして、また個人的なものとして経験される。実際にはこの人間の内的な体験こそ、宗教現象の根本にあるものであって、それが外的に表現される場合、宗教思想、儀礼、教団といった形式をとるとも言える。

本講はこれら4つの側面から、他宗教との対比を重視しつつ、キリスト教の成立と展開、その思想と文化をとらえようとするものである。よって概ね以下のような計画にそって授業が進められる。

講義の内容・授業スケジュール

前期	①総説－宗教研究の立場と分野	(1)宗教研究の立場
	②	〃
	③ユダヤ教からキリスト教へ	(2)宗教研究の諸分野
	④	〃
	⑤キリスト教の成立と展開	(1)起源－パレスチナのユダヤ教
	⑥	〃
	⑦	〃
	⑧	〃
	⑨	(2)ディアスポラのユダヤ教
	⑩	(1)起源－イエスとキリスト教信仰の成立
	⑪	(2)原始キリスト教の周辺世界
	⑫	(3)古代教会の形成と展開
	⑬	(4)中世・近世のキリスト教
後期	①聖書の思想	(1)聖書の虚無思想
	②	〃
	③	〃
	④	〃
	⑤	〃
	⑥	〃
	⑦キリスト教と文化	(2)神の言の思想
	⑧	〃
	⑨	〃
	⑩	〃
	⑪	(3)罪と救済の思想
	⑫	(4)「赦し」の思想
	⑬	(5)キリスト教における愛の思想
	⑭	(6)隣人愛の問題
	⑮	(1)史的イエスとキリスト再考
	⑯	(2)遠藤周作のキリスト論
	⑰	(3)ドストエフスキーと聖書
	⑱	
	⑲	
	⑳	
	㉑	
	㉒	
	㉓	
	㉔	
	㉕	
	㉖	
	㉗	
	㉘	
	㉙	
	㉚	
	㉛	
	㉜	
	㉝	
	㉞	
	㉟	
	㊱	
	㊲	
	㊳	
	㊴	
	㊵	
	㊶	
	㊷	
	㊸	
	㊹	
	㊺	
	㊻	
	㊼	
	㊽	
	㊾	
	㊿	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
	31	
	32	
	33	
	34	
	35	
	36	
	37	
	38	
	39	
	40	
	41	
	42	
	43	
	44	
	45	
	46	
	47	
	48	
	49	
	50	
	51	
	52	
	53	
	54	
	55	
	56	
	57	
	58	
	59	
	60	
	61	
	62	
	63	
	64	
	65	
	66	
	67	
	68	
	69	
	70	
	71	
	72	
	73	
	74	
	75	
	76	
	77	
	78	
	79	
	80	
	81	
	82	
	83	
	84	
	85	
	86	
	87	
	88	
	89	
	90	
	91	
	92	
	93	
	94	
	95	
	96	
	97	
	98	
	99	
	100	

履修上の留意点

(学生への要望等)：必ず聖書を購入し、授業で指示される当該箇所を参照すること。この講義では、キリスト教の根幹を形成する聖書に親しむことが、キリスト教理解の重要な一部として要求される。

成績評価の方法

試験と出席率

教科書

挽地茂男『キリスト教入門A』『キリスト教入門B』(A&A)、『旧・新約聖書』(版はいずれのものでもよい)

参考書等

浅野順一編『キリスト教概論』(創文社)
金子晴勇『キリスト教思想史入門』(日本基督教団出版局)
木田、山内、土岐『聖書の世界』(自由国民社)

その他

授業の進め方－講義を中心とするが、講義中数回ビデオ・フィルムを教材として用いる

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イスラム教概論	まくち たつ や 菊 地 達 也	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

世界の三大宗教の一つとされるイスラムであるが、仏教やキリスト教徒比べた場合、日本人はあまりにイスラムというものに無知である。イスラムに関する限られた知識も、戦争やテロリズムといった偏ったイメージによって覆われている場合が多い。

しかし、国際化が進み、否が応でもイスラム教徒の人々と無関係に生きることができなくなっているこの時代に、そのような無知が許されるわけがない。そこで、この講義においては、イスラムの創生から現在に至るまでの幅広い時代を取り扱い、その全体像を解き明かすことを目指すことになる。

講義の内容・授業スケジュール

イスラムにおいてはキリスト教のような政教分離が存在せず、我々が通常宗教に抱いているイメージからはかけ離れている要素も多い。したがって、講義の内容は、宗教思想だけに留まらず、イスラムの一部である法学や政治学などにも関わっていく。現代日本では宗教的なものとしては考えられないような要素までも考慮しないと、イスラムの全体像は見えてこないからである。

授業においては、7世紀におけるムハンマドのイスラム創始と其後の歴史を概括し、宗教としてのイスラムの基本的なあり方について先ずは説明する。その後は、神学、哲学、スーフズム、分派、法学などの個別分野を取り扱うことにする。授業の最終段階においては、現代世界におけるイスラムの動向について概括する。

履修上の留意点

さまざまな分野を取り扱うので、自分が興味を持っている分野だけを選んで受講してもらっても構わないが、イスラムの全体像を把握するためには、なるべく全ての授業に出席してもらいたい。馴染みの薄い分野について話をする場合もありえるので、疑問がある場合には積極的に質問していただきたい。

成績評価の方法

夏休み明けに提出してもらうレポートとテストで成績を判定する。出欠はとるかもしれないが、とる場合であっても、成績評価においてはそれほど重視しない。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

下記の参考書の中には、新書版や文庫版で廉価なものもあるので、興味ももてて、気楽に購入できる著作を任意に読んでいただきたい。文庫になっており、入手もしやすいので、イスラムの聖典であるコーランをいきなり読んでみるのもいいかもしれない。イスラムの全体像を理解したいと思う者には、中村廣治郎の著作がよいであろう。現代イスラム世界を揺るがしている原理主義に興味がある者には、小杉泰と山内昌之が編者となっている二作がよいであろう。仏教とイスラムの比較に興味がある者には、井筒俊彦の著作をお薦めする。

板垣雄三監修 山岸智子・飯塚正人編『イスラム世界がよくわかる Q & A100』亜紀書房
板垣雄三監修 三浦徹・東長靖・黒木英充編『イスラム研究ハンドブック』栄光教育文化研究所

井筒俊彦『イスラム思想史』中公文庫
同 『コスモスとアンチコスモス』岩波書店
同 『イスラム哲学の現像』岩波新書
同 『超越のことは』岩波書店
同 『意味の深みへ』岩波書店

井筒俊彦訳『コーラン』岩波文庫
小杉泰『イスラムとは何か』講談社
小杉泰編『イスラムに何がおきているのか』平凡社
H.コルバン『イスラム哲学史』岩波書店
東長靖『イスラムのとらえ方』山川出版社
中村廣治郎『イスラム教入門』岩波新書
同 『イスラムと近代』岩波書店
同 『イスラム 思想と歴史』東京大学出版会
山内昌之、大塚和夫編『イスラムを学ぶ人のために』世界思想社
山内昌之編『イスラム原理主義』とは何か』岩波書店

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学概説	野矢茂樹	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

哲学の基本的かつ根本的な諸問題を論じる。哲学史や特定の哲学者の学説は扱わない。

講義の内容・授業スケジュール

意識と実在、他人の心、記憶と過去、時の流れ、体験の私秘性、知識の根拠、規範の成り立ち、意味と言葉、行為と意志、自由、といった問題を扱う。

参考書等

野矢茂樹『哲学の謎』（講談社現代新書）600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教哲学	田丸徳善	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

宗教哲学の仕事は「宗教とは何か」という、その原理を明らかにすることにある。本講では、仏教をふくめた世界の諸宗教の実態をふまえ、またさまざまな角度からこの問題にアプローチするはずである。

講義の内容・授業スケジュール

- 年間をつうじて、ほぼつぎのようなサブ・テーマを順次にとりあげる予定である。
- 宗教と宗教研究／宗教哲学の成立と展開／宗教の科学と哲学／解釈・弁護・批判・実証／分析と構成
 - 宗教定義の問題／定義の意味と類型／宗教の分析枠組／宗教性の次元・構成要素／信念・教義・思想／儀礼・修行・行動／集団と組織／宗教体験と神秘主義
 - 宗教の歴史的形態／宗教史の解釈／宗教進化論／世俗化論の問題
 - 現代の諸問題／宗教と言語／宗教とコミュニケーション／宗教と癒し／宗教多元性の問題

履修上の留意点

テーマの性質上、視聴覚素材などは用いず、主としてふつうの講義形式で行なうことになる。その場合、さまざまな術語（キーワード）を正確に理解することがとくに重要なので、この点に留意してほしい。適宜ノートを取り、また紹介された参考文献にもできるだけ目を通すことを要望したい。

成績評価の方法

通常の試験と出席状況による。

参考書等

藤田富雄『宗教哲学』（大明堂）2,400円
 田丸他編『宗教の哲学』（北樹出版）2,200円
 その他の文献は授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 哲 学 概 説	くほ 久保 陽 一	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

現代20世紀の哲学の共通な傾向として、言語の問題への強い関心がある。それは、人間が世界を認識し理解し、また情報を伝達する際の媒体が主に言語であるという事実によるだけでなく、人間存在そのものが言語的であるという理解や、近代の「意識」の立場に伴う問題点が「言語」のレベルで克服されうるという見通しに基いているからであろう。そこで今年度は、「言語」をめぐって現代の諸哲学の考え方を学び、検討してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

「言語」に関する次の三つの現代の代表的な思想潮流を取り上げる。
 (i)ムーア、ラッセル、ワイトゲンシュタイン、オースティン等の言語分析と言語哲学。
 (ii)ハイデッガーの解釈学的言語思想
 (iii)カッシーラーの「象徴主義的」言語哲学ないし文化哲学。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることを。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席回数とレポート等によって評価する。

教 科 書

教科書の指定はしない。

参 考 書 等

参考書は次の通り。
 渡辺二郎『現代哲学』（放送大学教育振興会）
 藤本隆志『ワイトゲンシュタイン』（講談社学術文庫）
 ハイデッガー『存在と時間』（岩波文庫）
 ベグラー編『解釈学の根本問題』（晃陽書房）
 カッシーラー『シンボル形式の哲学』（岩波文庫）

そ の 他

時々、講義内容についてレポートを書いてもらい、それについてコメントを付けて返すことにする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教民俗学	須藤寛人	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われま。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民族の意味と歴史とを考察することによって、仏教と新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- a. 先祖崇拜 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、先祖祭祀という民族的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拜の考察は重要なテーマであると考えられる。
 - b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。
 - c. 日本の民族 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。
- 以上の三点を本講義の機軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするが電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートと学期末の定期試験を中心に、出欠状況とあわせて総合的に評価します。

教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 教 育	こ 山 一 乗 <small>こ やま かず のり</small>	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(Legal mind)、そこに看取されるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しさは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。これはいわゆる戦後教育の盲点でさえる。この不均衡を醸成してきた歴史的背景を検証する。幕末、明治維新、対日米国占領宗教教育政策、憲法・教育基本法・教育関係法規立法審議制定過程を検証し、手垢の付いた用語としての「宗教教育」論を見直す。用語「宗教教育」は解釈者により一様ではない。本講義では、手垢の付いた先入観を回避し白紙から議論を構想したく、そのために、しばらくの間「宗教の教育」と指定したい。その上で、tell(告げる)とteach(教える)との差異、(religious education)と(education about religion)との差異につき、教授概念を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

種々様々な事柄を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬等を用意深く観察する。(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何〜何事、what〜whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア等を組上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて、諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。多民族多文化多宗教共住社会のうねり、隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。今後は例えば、国際結婚等にもより、混血児も学級には数人は存在するとの推計もある。家庭教育・学校教育・社会教育のいずれの教育の場面も、まさに、迂闊ではいられなくなる。宗教的無知は宗教的偏見よりも致命的な悲劇を生もう。無知解消の教育が要る。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

レポート、出席点による。特に出席を尊重する。

教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとのおしえ方、評価の観点——』(宣協社)2,940円

参考書等

指定図書→『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版)1985年
土持ゲーリー法一著『米国教育使節団の研究』(玉川大学出版部)9,785円
井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版)3,900円
杉原誠四郎『教育基本法の成立「人格の完成」をめぐって』(日本評論社)
小中高各『学習指導要領』(各230円 250円 370円)
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣)1,600円
参考図書→KYOUKO INOUE. 1991. MACARTHUR'S JAPANESE CONSTITUTION THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 概 論	ま しま ひで とし 間 島 英 俊	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に研究する学問であるといえるだろう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われる。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実のみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達——自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

履修上の留意点

本講義は1年次の必修専門科目であるために出席を重視します。

成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも考査されます。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）2,575円

参 考 書 等

講義内にて紹介します。資料は都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
パ ー リ 語 初 級	かた やま いち ろう 片 山 一 良	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、文法全体について講義し、後半は、『小空経』（Cūḷa-suñña-sutta）を直接に読みたいと思う。
履修上の留意点	習得に丁寧であることが望まれる。
成績評価の方法	レポート（夏期）および年度末テストによる。
教科書	コピーにて配布する。
参考書等	水野弘元『パーリ語辞典』（春秋社）
その他	随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
パ ー リ 語 上 級	ふく だ たか お 福 田 孝 雄	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	仏教の発生の背景となる諸般の状況を検討しつつ、パーリ諸文献のなかの最古層に属すると認められるものを中心に講読していく予定である。さらに仏教の基本理念が、現代においていかなる意味をもつか、なども併せて討議していきたいと思う。
講義の内容・授業スケジュール	講読中の当該文献に相当する他の資料も、適宜必要に応じて参照し検討する。
成績評価の方法	履習者の平常の授業における状態を勘案して、最終的に成績の評価を行なう。
教科書	適宜必要に応じて、当方で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
サンスクリット語初級	かな 金 沢 篤	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。
講義の内容・授業スケジュール	定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際的・基礎的な力を養う。
履修上の留意点	予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。
成績評価の方法	平常点と期末・年度末の筆記試験。
教科書	J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』（春秋社）
参考書等	辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
サンスクリット語上級	かな 金 沢 篤	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	仏教などのインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の上級篇。
講義の内容・授業スケジュール	定評ある以下の教本をテキストに、サンスクリット語に関係の深いデーヴァナーガリー文字に習熟し、サンスクリット文法を改めて確認すると共に、サンスクリット文解読のための実際的な力を養う。演習形式。
履修上の留意点	サンスクリット語初級程度での修了者であることが望ましい。
教科書	ランマン著『サンスクリット読本』（Charles R. Lanman, A Sanskrit Reader） OUP
参考書等	辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット語初級	まつ もつ し ろう 松 本 史 朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの（チベット人の著作）を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

開講日初日に指示するので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語上級	小 ^{がわ} 川 ^{たかし} 隆	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

漢語で書かれた書物を読む為には、当然のことながら、正確な漢語の読解力が要求される。この科目では、その最低限の基礎となる標準的な古典中国語（古代漢語）の文法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、古典中国語をその発音と文法に即して「語学」的に読むことを学んでゆく。具体的には、ふつうの外国語の授業と同様、まずテキストを現代中国音で音読し、その後その文章を語順・文法構造・虚詞（助字）の用法等に即しつつ、分析的に読み解いてゆく。いわゆる訓読書き下し文の訳も適宜参照する。

履修上の留意点

「中国古典語初級」とあわせて学ぶことが望ましいが、必ずしも初級→上級という順である必要はない。むしろこの科目を学ぶ為には、現代中国語の基礎を既に学んでいること（中国語ⅠA-ⅠB程度）が前提となる。現代中国語への理解が深ければ深いほど、古典中国語の学習も深まってゆく。この科目と平行して現代中国語の学習も続けて行って欲しい。

成績評価の方法

テストは行わない。毎回、テキストの音読と翻訳が当たるので、そのレベルによって成績評価をする。当然、出席重視。

教科書

プリント配布。

参考書等

『禅学研究入門』（大東出版社）の第5章「原典読解のための基礎知識」辞書については、教場で詳しく説明する。

その他

中国の書物を読む為には、狭義の語学力のほか、中国に関するはば広い知識も不可欠である。中国哲学・中国文学・東洋史等の中国関係の科目を、なるべく多く履修して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ラテン語	佐 ^さ 藤 ^{とう} 玖 ^く 美 ^み 子 ^こ	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。

また、文法の進度に従って、簡単な物語りの講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは一応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教科書

松本悦法著『ラテン語入門』（駿河台出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 文 献 学	しい な こう ゆう 椎 名 宏 雄	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国・日本の大蔵経と入蔵禅籍についての理解。

講義の内容・
授業スケジュール

漢文大蔵経、及び中国撰述の基礎的な禅文献と書誌とに強くなる講座。博物館学履修者にとっても有益。

仏教を深く学ぶためには、基礎文献が何であるかを知り、それらを読まなければならない。無尽蔵の仏教文献の中から、最重要のものを選び集めたのが大蔵経(一切経)である。したがって、大蔵経についての知識と理解は、仏教の学究者にとって基礎的な教養である。

ところが、大蔵経には地域と時代により多くの種別がある。その中で最も質量の豊かなのは漢文大蔵経であり、またその影響も大きい。そこで本講座では、主として中国と日本の大蔵経について、成立・構成・特徴・背景などの理解につとめ、またそこに含まれる禅籍にはどんなものがあるかについての理解をはかる。

大蔵経というと何か肩をいからしたイメージがあるので、これを破って、板木・刻工・料紙・経費・出版・版式などの文化史的書誌的方面の理解をはかり、実物写真や補助資料を多用して視覚的な受容を目ざしたい。併せて、木版本についての基礎知識も得られるはずである。

履修上の留意点

文献に対する旺盛な好奇心を持つこと。

成績評価の方法

出席とレポート

教 科 書

『大蔵経-成立と変遷-』(百華苑) 1,545円 (まとめれば割引になる)

参 考 書 等

講義中に指示

そ の 他

テキストを読みながら解説。またプリント資料を適宜配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国文学講読	末木恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は中国古典学文献講読であると理解してもらいたい。中国古典語（即ち漢文）で書かれた文献は、現代の文献と論理・修辞・構成が異っている。この差異を理解しなくては、中国古典文献を読みこなすことはできない。本講義では、中国古典語で書かれた文献を読む為の基礎的教養の獲得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、江戸時代の僧千丈の詩文集『幽谷餘韻』から記事類を読む。この作品は一種の奇談集であり、東アジアの伝統的な意味での小説である。日本人の手になるが、正統の漢文（中国古典語）で書かれているので取りあげる。授業は、内容を深く掘り下げるよりも、奇談の面白さを楽しみながら、できるだけ読み進みたいと考えている。

履修上の留意点

正確に讀めるように十分豫習して授業に臨んで欲しい。又、大學生にふさわしい漢和辞典を必ず携えて來ること。

成績評価の方法

- 以下のものを材料として成績をつける。
1. 平常点（出缺だけでなく、授業への参加の程度、豫習の有無なども重要な材料とする。）
 2. 試験又はレポート
 3. その他（質問〈書面でも出してもらう〉任意のレポートなど）

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅美術	海老根聰郎 <small>えびね としお</small>	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

日本の中世の絵画世界を、禅宗画僧による歴史として述べていく。鎌倉・南北朝・室町時代を対象とする。それらの画風の源泉は中国にあるから、合わせて、中国禅宗の中で描かれた絵画についても述べる。

その他

授業は毎回スライドを映写する。年度末に授業で述べたところから出題した筆記試験を行ない評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	まつだ せい いちろう 松田 誠一郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	日本彫塑史Ⅰ・飛鳥時代：日本彫塑史に関する諸問題について、近年の研究動向を視野に入れながら詳しく解説する。今年は、飛鳥時代（仏教伝来以後、平城遷都まで）を取り上げる。		
講義の内容・授業スケジュール	【前期】 第1回 飛鳥前期彫塑の概観 第2～3回 飛鳥大仏 第4～6回 法隆寺金堂の釈迦三尊像 第7回 止利派の金銅仏 第8～9回 法隆寺夢殿の救世観音像 第10～11回 法隆寺百済観音像 第12回 法隆寺四天王像 第13～15回 進度調整のための予備日	【後期】 第1回 飛鳥後期彫塑の概観 第2回 野中寺の弥勒菩薩像 第3回 法輪寺のクス材製木彫像 第4回 法隆寺再建と童顔童形像 第5～7回 山田寺仏頭と薬師寺本尊 第8～9回 塑像と乾漆像 第10回 埴仏と押出仏 第11～12回 広隆寺と中宮寺の半跏像 第13～15回 進度調整のための予備日	

履修上の留意点	①単位取得のためには、授業日数の60%以上の出席を必要とする。 ②休日に東京国立博物館の法隆寺宝物館を見学したり、夏休みに奈良・京都の古寺を訪れてみるなど、飛鳥仏に接する機会を積極的につくるよう努力すること。
成績評価の方法	後期末にレポートを課して評価する。

参考書等	水野敬三郎・関口欣也・大西修也編『法隆寺から薬師寺へ』（『日本美術全集』第2巻 飛鳥・奈良の建築・彫刻）1990年（講談社）
------	--

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅Ⅱ	ながい まさし くまもと えいじん 永井 政之・熊本 英人	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	只管打坐の実践・学習
講義の内容・授業スケジュール	実習時間の前半は只管打坐、経行を挿んで後半は『坐禅用心記』を講じる。授業の実施要領および基本的心構え等については、「坐禅Ⅰ」に全く同じ。
履修上の留意点	科目の性格上、遅刻を認めず、追再試験やレポート提出等による救済措置は、一切講じられない。また、坐禅堂内およびその周辺における、服装・態度・言語・動作等の厳粛・整齊なるを、きびしく要求するから、これらのことを予めよく承知しておくこと。 なお、学年度最初の授業には、席次の決定や必要な諸注意をするから、受講する者は全員かならず出席すること。
成績評価の方法	授業実施時間に対する出席時間数をもって機械的に判定する。ただし、坐禅堂の内外における服装・態度・言語・動作等に、著しく適当を欠くと思われる者、および、講本の忘失者は厳しく減点の対象とする。
教科書	『坐禅講本』（更生社）2,266円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	くまもと えい じん 熊 本 英 人	禪・仏教 3 必	4
演 習 II		禪・仏教 4 選	

講義のねらい

『明治維新神仏分離史料』を読む

講義の内容・
授業スケジュール

神仏分離(神仏判然)・廃仏毀釈は、法難の一例、歴史のひとこまとして通り過ぎることが多い。しかし、明治維新を境として、日本の仏教、さらには宗教は、どこが変わりどこが変わらなかったのか。神仏分離・廃仏毀釈の前と後とでの、仏教および寺院の実態を分析する。あわせて、僧侶、宗学者および信仰者の意識の変化などもさぐってみたい。

神仏分離がどう捉えられていたのかと、神仏分離の実態がどのようなものであったのかとの二つに分け、『明治維新神仏分離史料』を軸として、関連史料もあわせて読み進める。テキストの神仏分離の事例については、受講者の興味も考慮して選択する。

教 科 書

『明治維新神仏分離史料』全5巻(東方書院刊、名著出版復刻)。テキストおよび参考史料は、必要に応じてコピーで配布する。

2. 他学部履修科目

2. 他学部履修科目

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	69
中国禅宗史	〈田中良昭〉	69
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	70
禅籍講読Ⅰ	〈田中良昭〉	70
禅籍講読Ⅲ	〈佐藤秀孝〉	71
仏教概論	〈平井俊榮〉	72
インド仏教文化史	〈休講〉	
中国仏教文化史	〈永井政之〉	73
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	73
中国古典語初級	〈石井公成〉	74
中国哲学史	〈前川亨〉	74
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	75
中古文学研究Ⅰ	〈高橋文二〉	75
中世文学研究Ⅰ	〈村上光徳〉	76
近世文学研究Ⅰ	〈富士昭雄〉	76
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	77
比較文学	〈満谷マーガレット〉	78
児童文学	〈山口節子〉	79
西洋思想史	〈麻生建〉	79
演劇概論	〈井上理恵〉	80
編集実務	〈長谷川孝〉	80
イギリス文学特講Ⅰ	〈逢見明久〉	81
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	82
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	82
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	83
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	83
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	84
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	85
アメリカ文学特講Ⅲ	〈前期：足田和人〉 〈後期：川崎笑佳〉	85
演劇特講〈イギリス・アメリカ〉	〈前期：荒井良雄〉 〈後期：落合和昭〉	86
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	87
地理思想史	〈竹内啓一〉	88
地形学	〈清水長正〉	89
人口地理学	〈大友篤〉	89
文化地理学	〈小田匡保〉	90
応用地理学	〈高木正博〉	90
現代地理学特論	〈長谷川均〉	91
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	91
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈休講〉	
考古学特講Ⅲ	〈矢野和之〉	92
日本仏教史Ⅱ	〈遠藤廣昭〉	93
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	94
哲学史	〈山口祐弘〉	95

歴史哲学	〈麻生建〉	95
産業・職業社会学	〈安藤喜久雄〉	96
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	96
社会福祉発達史	〈林千代〉	97
国民所得論	〈吉野紀〉	98
日本経済史	〈橋野知子〉	99
中小企業論	〈三井逸友〉	100
社会政策	〈光岡博美〉	102
教育経済論	〈谷敷正光〉	103
日本経済論	〈小林正人〉	105
アジア経済論	〈鄭章淵〉	106
中国経済論	〈小杉修二〉	108
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	109
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	111
商業政策	〈番場博之〉	112
マーケティング	〈曾我信孝〉	113
経営管理論	〈百田義治〉	114
労務管理論	〈堀龍二〉	115
財務会計論	〈遠藤孝〉	116
会計監査論	〈飯岡透〉	118
管理会計論	〈中原章吉〉	119
原価計算論	〈加藤利安〉	120
貿易論	〈古沢紘造〉	121
銀行法	〈米田貢〉	122
比較憲法	〈休講〉	123
親族法	〈竹中智香〉	124
相続法	〈竹中智香〉	124
西洋法制史	〈北野かほる〉	125
英米经济法	〈北野かほる〉	126
国際政治学	〈岡田外司博〉	127
ヨーロッパ政治史	〈小堀訓男〉	128
地方自治法	〈浦田早苗〉	128
地方自治法	〈富井幸雄〉	129
議会関係法	〈前田英昭〉	130
立法過程論	〈休講〉	130
比較政治学	〈岩崎正洋〉	131
現代国家論	〈大塚桂〉	132
比較憲法	〈休講〉	132
経営労務論	〈鹿嶋秀晃〉	133
国際経営論	〈茂垣広志〉	134
商工業史	〈山田勝〉	135
保険経営論	〈石名坂邦昭〉	136
財務會計論	〈渡邊恵一郎〉	137
経営分析論	〈片桐伸夫〉	138
税務會計論	〈高木克己〉	139
経営情報論	〈高井徹雄〉	140
情報管理論	〈西村和夫〉	141

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅学概論	佐藤秀孝	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にはかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	田中良昭	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

菩提達磨の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪洲宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹禅、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈閣の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

特定の教科書は使用しないで、講義の中で適宜に資料などをコピーで配布する。

参考書等

田中良昭編『禅宗研究入門』（大東出版社）6,000円
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,600円
船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
その他、日本の禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	田中良昭	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、昨年に引続き、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した記録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生み出され、その間に著しい増広がなされたが、本講義では、最も素朴な姿を伝える現存最古のテキストである敦煌本の内、最初にその存在の知られたスタイン本（S5475号）と、近年、周紹良氏によってその内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦煌本）を比較しつつ、その読解を通じて、初期の禅宗語録の特徴、禅思想、特に南宗禅の基本的立場を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 慧能に至る初期の禅宗について、2. 『六祖壇経』とその構成、3. 前年に講読した部分の概要、4. 新たな部分の講読

履修上の留意点

原文（影印本）に触れることの意義を体験し、認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の出席状況と学年末試験の結果を総合して評価する。

教科書

スタイン本を校訂した大正蔵48巻と周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参考書等

柳田聖山訳『六祖壇経』〈世界の名著〉18『禅語録』（中央公論社）及び〈世界古典文学全集〉36A『禅家語録』Ⅰ（筑摩書房）、楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 III	さ とう ひで たか 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まり、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨済宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名語法などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や瑩山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後に出題の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次に読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（?～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教 科 書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参 考 書 等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』岩波文庫（岩波書店）520円
 酒井得元訳註『永平元禅師語録』『道元禅師全集』第5巻に所収（春秋社）4,120円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。

- 序 章 仏教とは何か
- 第1章 仏陀の生涯
- 第2章 仏の本質
- 第3章 法——仏教の真理観——
- 第4章 一切法——法の分類——
- 第5章 輪廻と業の煩惱
- 第6章 悟りへの道
- 第7章 心——実践の主体——
- 第8章 修行者の理想像
- 第9章 戒律と教団の組織
- 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」をとらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「葬送儀礼・追善」を取りあげて、仏教教団において葬送が儀礼として成立する過程を考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

教科書

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

「浄土思想と日本文化」という課題のもとに講義を行いたい。日本文化史の上に及ぼした浄土思想の影響は極めて大きい、その浄土思想を仏教思想の中にどう位置づけるべきかを断えず考慮しながら講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、インドの世親の『浄土論』を中心にインド仏教における浄土思想の展開を押え、それが中国においてどのように定着したかを、曇鸞、慧遠、吉蔵、善導などを中心に考察し、それらが日本の浄土思想にどのように現われ発展したかを、智光、永観、覚鑿、源信、法然、親鸞などを中心に検討していく。

履修上の留意点

講義において指示する文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

末木文美士『日本仏教史』（新潮文庫）

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波新書）
石田瑞磨『日本人と地獄』（春秋社）
袴谷憲昭『法然と明恵 ― 日本仏教思想史序説 ―』（大蔵出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	いし 井 こう せい 石 井 公 成	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえ かわ とむる 前 川 亨	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

中国人の世界観・人間観・死生観などの歴史的展開を把握することを目的とする。具体的には儒教・仏教・道教の思想とその相互関係の理解が主な課題となる。その際、東アジア世界の中での中国思想という広い視野を失わないよう心掛けたい。この授業を通して、中国人の思考様式がどのような特徴をもっており、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なっているかを、いささかでも明らかにしたいと思う。一見抽象的にみえる思想の世界も、実は我々の現実と密接につながっていることを、共に学んでいこうと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者の関心の方向を勘案して、前年度同様に孔子から始めて唐・宋代に及ぶか、それとも唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化など多方面に関心のある諸君の受講を期待する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（持とうという意欲を持っていること）が望ましいが、授業したいはそれなしでも理解可能であろう。継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで受講しないでほしい。問題意識と積極的な意欲をもった皆さんの受講を望む。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期・後期に提出してもらおう。それ以外の評価方法も検討したい。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の皆さんの意見なども聞きながら進めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究Ⅰ	おののひろし 小野寛	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は万葉集巻二から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみることを。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究Ⅰ	たか 橋 ぶん じ 高橋文二	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大・短英	4

講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。

履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。

教科書

高橋文二『源氏物語の時空と想像力』（翰林書房）

参考書等

講義時間内に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究 I	むら 村上 かつ のり 光 徳	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

『徒然草』を講読し、兼好の物の考え方－自然観・人生観等にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを使い関係ある章をたんねんに読み先学の説など参考にして考えてゆく。

成績評価の方法

①筆記試験 ②出席状況

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究 I	ふ 富士 あき お 昭 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

芭蕉の俳諧文学研究。本年度は『おくのおそ道』の講読を通して、芭蕉の俳諧紀行文の特質を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

『おくのほそ道』の主要な章段を中心に、『曾良旅日記』その他の資料を参照しながら、講読する。

成績評価の方法

学年末の試験により評価する。

教科書

萩原恭男校注『芭蕉 おくのほそ道』（岩波文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究Ⅰ	やま さき ま き こ 山崎真紀子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

人は言葉を介して考えていることを伝達するが、心の中に生じたいろいろな感情や思いを的確に言語化するのは難しい。とりえず白らが蓄積している語彙を用いて、抽象的な心の中を言葉として表に出し具象化するしかないだろう。語彙が貧弱であったりすると、思いと言葉とが一致しにくく、相手にもうまく伝わらず、自分自身も消化不良のようで居心地が悪い。また、考える力や現象を分析する力も育たない。言葉は生きていく上で大切なツールであるにも関わらず、それを磨くことを怠りがちである。豊かな語彙力、適切な単語の選択、具象化できるだけの文脈づくり、文章の構成力などを学ぶひとつの方法として日本の近代小説を読む、というのはいかがであらうか。

複雑な感情を一元化して何にでも「カワイイ」と表現してしまったり、安易に「超〜」「っていか」をつけて自分の世界を表現し得たように思いこんでしまう平板な言語力には、平板な世界観しか築けないだろう。それでは生きていてもつまらない。日本の近代小説には豊かな言葉が溢れている。言葉を磨くには恰好の教材になる。作品中に描かれている都市に注目して集められた日本近代小説のアンソロジーを読み、めまぐるしく変化している現代社会の都市の中に生きる私たちの感性と言葉を磨くことがねらいである。

講義の内容・ 授業スケジュール

泉鏡花、樋口一葉、田山花袋、谷崎潤一郎、芥川龍之介、江戸川乱歩、三島由紀夫、大江健三郎らの小説。アンソロジー所収以外の現代小説を読むこともある。

履修上の留意点

授業に臨む前にテキストを読み、感想や意見を述べられるように準備しておくこと。また、〈都市〉を解説するために、街を歩く際に観察力をもち柔軟な感受性のアンテナを立ててキャッチしておくこと。自らが感じとったことを口頭発表や文章化してもらおう。なお、年間を通じて3分の1以上欠席した場合は単位は認定しないので注意すること。

成績評価の方法

出席や授業時の意見・発表などの平常点と前期と後期の論述テストにより評価。

教科書

東郷克美・吉田司雄編『近代小説〈都市〉を読む』（双文社出版）2,000円

その他

教科書以外のテキストを準備して貰うこともあり。ビデオも時に使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	みつたに 満谷マーガレット	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。明治時代の日本は西欧文化のすべてを「翻訳」しようとしていたといっても過言ではないが、授業では、比較的扱いやすい詩の問題が中心になる。前期では、讃美歌、イギリスの浪漫派、フランスの象徴派の詩人たちやシェークスピアなどが近代日本にどのようにして翻訳されてきたか、作品を精読しながらみていきたい。後期では、逆に日本語の詩（短歌、俳句を含めて）の翻訳問題を焦点にして、十九世紀からの英訳短歌、E. パウンドの英訳謡曲や戦後のハイク・プームなどをみていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義課目ではあるが、授業中、なるべくたくさんのテキストを精密に読んでいきたい。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995
『翻訳の思想』日本近代思想体系15（岩波書店）1991
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童文学	やまぐち せつこ 山口 節子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日の状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教科書

授業の際に、事前に紹介する。

参考書等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

その他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	あそう けん 麻生 建	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。
特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教科書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

参考書等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

その他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	いの井 うえよし へ	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオで舞台上に展開される演劇を観て、西洋と日本の演劇の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は「国文学特講X」を同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいて批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

レポート（二回の観劇批評およびその他二回）による。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

その他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに—何かを—伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点(目のつけどころ)」と、「なぜ」それを伝えるのかという意味と責任が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして、「自分の視点」を育てることを目指したいと考えています。

「だれかに—何かを—伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題は、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらうほか、自己評価点と平常の提出物などによります。

教科書

プリントを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 I	お <u>う</u> み <u>あ</u> ひ <u>さ</u> 逢 見 明 久	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

シェイクスピアの原作からその友情観を探る。併せて、シェイクスピア映画にみとめらる友情の主題も扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 講義内容の説明
- 第2回 プラトン以来の友情の伝統
- 第3回 『ソネット集』における友情の主題
- 第4回 『ヴェローナの二紳士』のヴァレンタイン
- 第5回 ・BBC版『ヴェローナの二紳士』
- 第6回 『ロミオとジュリエット』のマーキューシオとロミオ
- 第7回 ・MGM版『ロミオとジュリエット』
- 第8回 ・カステラーニ版『ロミオとジュリエット』
- 第9回 ・ゼフィレリ版『ロミオとジュリエット』
- 第10回 ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』
- 第11回 『ヴェニス商人』のアントーニオとバッサーニオ
- 第12回 ・ミラー版『ヴェニス商人』
- 第13回 ブラナー版『ヘンリー5世』のフォールスタッフとハル王子
- 第14回 前期レポート試験
- 第15回 『ハムレット』のホレーシオとハムレット
- 第16回 ・オリヴィエ版『ハムレット』
- 第17回 ・リチャードソン版『ハムレット』
- 第18回 ・BBC版『ハムレット』
- 第19回 ・ゼフィレリ版『ハムレット』
- 第20回 ・ブラナー版『ハムレット』
- 第21回 ・黒澤明の『悪い奴ほどよく眠る』の西と板倉
- 第22回 ナン版『十二夜』のヴァイオラとオーシーノー
- 第23回 『二人の血縁の貴公子』のアーサイトとパラモン
- 第24回 『二人の血縁の貴公子』
- 第25回 後期レポート試験

成績評価の方法

レポートから判断する。

教 科 書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	禪・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかのさきとしいちろう 岡崎寿一郎	禪・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出发点として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか 中 おか 岡 ひろし 洋	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

- | | |
|--------|--|
| 講義のねらい | イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいいがなくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。 |
|--------|--|
- | | |
|----------------|---|
| 講義の内容・授業スケジュール | 具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の <i>Jane Eyre</i> (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。 |
|----------------|---|
- | | |
|---------|----------------------------------|
| 履修上の留意点 | 出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。 |
|---------|----------------------------------|
- | | |
|---------|---------------------|
| 成績評価の方法 | 出席回数と試験の結果によって評価する。 |
|---------|---------------------|
- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 教科書 | 特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。 |
|-----|---------------------------------------|
- | | |
|------|------------|
| 参考書等 | 教場で適宜指示する。 |
|------|------------|
- | | |
|-----|---------------------------------------|
| その他 | 真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらおう。 |
|-----|---------------------------------------|

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふ 富 じ 士 かわ 川 よし 義 ゆき 之	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

- | | |
|--------|--|
| 講義のねらい | 英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。 |
|--------|--|
- | | |
|----------------|--|
| 講義の内容・授業スケジュール | 講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。 |
|----------------|--|
- | | |
|---------|--------------------------|
| 履修上の留意点 | 積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。 |
|---------|--------------------------|
- | | |
|---------|----------|
| 成績評価の方法 | レポートと試験。 |
|---------|----------|
- | | |
|-----|-----------|
| 教科書 | コピーを配布する。 |
|-----|-----------|
- | | |
|------|---------|
| 参考書等 | 適宜指定する。 |
|------|---------|
- | | |
|-----|---------------------------------------|
| その他 | 講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。 |
|-----|---------------------------------------|

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 VI	まるこてつお 丸 小 哲 雄	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

批評行為は人間の本能です。文学テキストの読みについての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用はなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路を、いかに創り出してゆくかが問題となります。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての（持続する）テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくかの手順を批評的ディスカールとして説明してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か：日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程：文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- イ) 『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）
ロ) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

- イ) 『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
ロ) 『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま ゆう いち ろう 東 雄 一 郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

アメリカの1640年の *The Bay Psalm Book* から現在にかけて、子供たちに読み継がれてきた詩を読みます。イギリスから渡ってきた人々は聖書とマザーグースを新世界にもたらしました。植民地時代の子供たちは、教会や学校で、大人たちと同じく、信仰心にあつい詩を読み、それを教材としました。子供たちはロングフェロー、ホイットィアー、プライアントなどの詩を暗誦しました。独立革命の *The New England Primer* のアルファベットの W は“Whale”から“Whashington”に変わりました。19世紀になると、女性詩人たちが様々な雑誌に、自作の詩を掲載し、家族を支えました。夫に先立たれた女性、なまけ者の夫をもつ女性、病気の両親を養う女性、おさない弟や妹のめんどうをみなければならなかった女性たちでした。19世紀のアメリカの児童文学は、現在のディズニールランドもはるかに及ばない大輪の花を咲かせていました。シゴニーは、先住民の悲惨な生活を訴え続けました。ナサニエル・グラハム・シェファードは南北戦争の兵士の死を人類の死滅と訴えました。この一方で、アメリカの子供たちの詩には、実に楽しい言葉あそびの詩、ナンセンス詩も多くあります。その代表は、ジェイムズ・ホイットコム・ライリーです。永年、アメリカにはライトヴァースは存在しないなどと吹聴されてきましたが、それはウソです。そして、文学は、ウォレンス・スティーブンスが言う、至高のウソです。虚構は現実を超越します。そして、現実人間の想像世界よりも常に先んじてしまいます。この想像の森の中のしげみの中で、子供たちの詩はその未知の訪問者を待っています。アメリカの子供たちは、その当初から、大人の世界を共有してきたのです。そこには大人と子供の境界線などありません。ジョン・レノンの〈イマジン〉の世界があるだけです。

教科書

The Oxford Book of Children's Verse in America

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	前期：あし だ かず ひと 足 田 和 人 後期：かわ しみ か 川 崎 笑 佳	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることもあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

教科書

プリント配布。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	前期：荒 井 良 雄 後期：落 合 和 昭	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス演劇とアメリカ演劇を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容も視界に入れて講義する。とくに20世紀の英米演劇の劇作家と作品を重点的に取り上げる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、シェイクスピアを中心に、イギリス演劇を荒井が講義する。Comedy of Manners、オスカー・ワイルド、20世紀のイギリス演劇を代表する劇作家と作品を、時代順に取りあげる。後期は、20世紀のアメリカ演劇を落合が講義する。Eugene O'Neill, Thornton Wilder, Tennessee Williams, Edward Albee, Sam Shepard などの劇作家論と作品研究を中心に授業を進める。

履修上の留意点

前期のイギリス演劇は荒井、後期のアメリカ演劇は落合が担当することを承知の上で受講すること。

成績評価の方法

前期は7月に試験、後期は定期試験の形ではなく、レポート課題（原稿用紙5枚程度）を3回以上提出してもらう。出席に関しては、出席率は三分の二が必要である。

教 科 書

前期 特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。
後期 プリント、また、必要があれば、教室で指示。

参 考 書 等

荒井良雄著 『英米文学映画化作品論』（新樹社）2,500円
太平和登・荒井良雄共著 『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』（朝日新聞社）1,200円

そ の 他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	禪・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タ
ブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
Intertextual Analysis のメソッドで行う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを
行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	たけうち けいいち 竹内啓一	禪・仏教・国文・英米文 歴史・経A・商・短国・短英	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、一昨年度は、日本地理思想史の講義をしたので、本年度は世界地理思想史の講義をする。ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のものの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシャンとして録をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的实践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があつて、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global concerns をめぐって、どのような関係にあつたかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがつて、地理思想史の構造について話をし、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。講義への出欠のチェックはしないが、予告なしに、講義時間の最初または最後に小テストを何回か行う。

成績評価の方法

上記小テストの成績 (40%) と学年末の持ち込み一切自由の筆記試験 (60点) による。

教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円

参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中の提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。

手塚章 (訳編) 『地理学の古典』 (古今書院)

西川治 (編) 『地理学総論』 (総観地理学講座 1) (朝倉書店)

水津一郎 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)

野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)

飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論社) (『飯塚浩二著作集』 6 平凡社に収録)

野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)

竹内啓一 『とぼろうぐ』 (古今書院)

織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)

織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)

長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)

スケルトン (増田・信岡訳) 『探検地図の歴史：大航海時代から極地探検まで』 (原書房)

増田義郎 『大航海時代』 (世界の歴史13) (講談社)

ジョン・ノーブル・ウィルフィールド (鈴木訳) 『地図を作った人びと：古代から現代までにいたる地図製作の偉大な物語』 (河出書房新社)

日本における近代地理学の発達については以下の私の著書がある。
Modern Japanese Geography: An Intellectual History (Kokon-Shoin)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	しみず ちょうせい 清水 長正	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉 心理・経A・商・短大	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。

1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点も多少加味する。

教科書

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円

参考書等

小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	おおとも あつし 大友 篤	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明かにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを平行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短放	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、本講義では、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要 2. 宗教地理学 3. 宗教分布 4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短放	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から考える。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教科書

授業時間に配布するプリントを使用。

参考書等

高橋 裕『河川工学』（東京大学出版会）その他随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短放	4

講義のねらい

新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつかぎ込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地変遷と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。

なお、後期は、前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地球や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	こいずみ まさひろ 小泉 雅 弘	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、明治六年の政変、文明開化、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅲ	矢野和之	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。
このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造体の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教科書

なし。

参考書等

適宜指示。

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史Ⅱ	えん どう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげていることから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。

教科書

特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	たにぐちみつぎ 谷口貢	禅・仏教・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

本講義では教科書は使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	やまぐち まさひろ 山口 祐弘	国文・英米文・地理 社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動してものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	あそう けん 麻生 建	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業・職業社会学	安藤喜久雄 <small>あん どう きく お</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 法A・政治・経営・短大	4

講義のねらい

急激な環境変化によって企業社会が大きく変貌しつつある。この点について産業社会、企業、労働組合、勤労者相互の関係をふまえながら考察する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の諸項目について講義を進める。

1. 企業変容と勤労者生活
2. 企業と経営組織
3. 職場集団と人間関係
4. 日本的経営と組織風土
5. 日本的雇用慣行の転機
6. 労使関係と労働組合
7. 就業構造の変化と職業意識
8. 企業と社会

成績評価の方法

出席点と定期試験の両者で評価する。

教科書

安藤喜久雄『企業社会の構図』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	川本勝 <small>かわ もと まさる</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 経営・短大	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて考える。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその結果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教科書

用いない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	ほやし 林 ちよ 代	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 法A・政治・経営・短大 10以降入学生/心理	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書

特にきめないが、今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）をあげておきたい。

その他

9年度以前入学の社会学科心理学コースの学生は、この科目を履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 おさむ 紀	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウドディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウドディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』(第6版)(多賀出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	はし 橋 の 野 とも こ 子	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・短国・短放	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら概観していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要なトピックスが、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。また時代・地域を問わず、社会には光と影が存在します。それらについては講義の中でも触れるつもりですが、自らその両面を常に意識し考えながら講義に出席されることを希望します。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1)近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
- (2)近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
- (3)近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
- (4)国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
- (5)工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
- (6)工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
- (7)日清・日露戦争と日本経済
- (8)第一次世界大戦と日本経済－工業化の新しい局面
- (9)1920年代－世界秩序の再編「ボックス・アメリカナ」と日本経済
- (10)「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
- (11)二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
- (12)1930年代－対立へと変化する国際社会と日本経済
- (13)「戦後経済史」への展望－産業構造の変化、市場経済の変容、戦時経済の意味

履修上の留意点

基本的には教科書にそって講義を進める予定です。重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起っているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にしてください。

成績評価の方法

夏休みのレポート、後期試験、出席状況を総合して評価します。

教科書

三和良一『概説日本経済史 近現代』（東大出版会）1993年 2,400円＋税

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式。OHP、ビデオの利用による説明もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	三 井 逸 友	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な(critical)構成要素である」(クリントン米国大統領)と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中心企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』(森清著、ダイヤモンド社刊)のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用収縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。それにもかかわらず、日本の政府は、従来の中小企業政策を不要とし、時代錯誤な姿勢を世界にさらけ出した。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーディズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的關係」

ここでは、うへの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとでの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的關係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的視角となる。

第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を取ってきた我が国の「中小企業の近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとで、近年の「収斂傾向」を検討し、特に EU 欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国については、近年の「中小企業政策」否定、創業促進策、ベンチャー企画支援策などへの「転換」も検討する。

履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日的現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。「再試験」は実施する。

教 科 書

三井逸友『現代経済と中小企業』(青木書店) 2,800円(税抜)
同編『日本の生産システムの評価と展望』(ミネルヴァ書房) 3,600円

参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,330円
巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ 新版』（有斐閣）2,200円
中小企業庁編『中小企業白書』[各年次]
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円
中小商工業研究所編『現代日本の中小商工業－国際比較と政策編』（新日本出版社）、刊行予定

その他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面のWEBサイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Mitsui_Seminar/mit/

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか ぼく み 光 岡 博 美	禅・仏教・国文 英文・地理・歴史 経営・短国・短放	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上のべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	や しき ただ みつ 谷 敷 正 光	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 法A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化と教育
 - (2) 日本の経済成長と教育
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - (8) クリントン大統領の経済と教育 「21世紀アメリカ教育行動計画」 (一部ビデオ)
 - (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - (10) メージャー首相の経済と教育 「競争力白書」 (一部ビデオ)
 - (11) ブレア首相の経済と教育 (一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興
 - (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令、専門学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施。

教科書

毎時間、講義の教材として年間30～40枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献を講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

土志田征一『レーガノミックス』(中公新書)

原田和男『ブッシュの米国経済』(日本経済新聞社)

大原 進『クリントンの米国経済』(日本経済新聞社)

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)

G・メイナード『サッチャーの経済革命』(日本経済新聞社)

A・グリーン、J・ハリスン『英国病』(新評論社)

天野郁夫『教育と近代化』(玉川大学出版部)

沼口 博『学校教育と経済発展』(学文社)

その他は講義の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・法 A 政治・短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、今の平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の産業構造
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
- 日本の経済発展の総括と展望
平成状況の意義
情報通信革命（インターネット）
- 日本の産業問題
食糧問題と農業部門の意義
製品の安全性と PL 法
環境問題と経済発展

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義では OHP などをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちゅうん 鄭 ちゅうん 章 よん 淵	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

いま、アジアから目が離せない。ついこの間まで「東アジアの奇跡」として世界の称賛を浴びていたアジア経済は、97年夏のタイ通貨急落を引き金とするアジア経済危機を機に、いまや世界デフレの震源地として国際的評価を失墜させている。この「ヤヌスの神」の顔を持つアジア経済を、私たちは、いったい、いかなる視点からアプローチすればよいのだろうか。これは、経済危機の当事者である日本人にとって非常に気の重い作業ではあるが、それ以上に、私たちの知的冒険心を刺激してやまない研究課題でもある。

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫まる予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界資本主義の動向にも注意を払いたい。

講義計画は、以下の通りである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済
 - ① 資本主義萌芽問題
 - ② 植民地経済の実情
 - ③ 「植民地近代化論」批判
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
 - ① 農地改革
 - ② 外国（アメリカ）援助
 - ③ 帰属財産払下
2. アジア NIEs の経済発展
 - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
 - ※ NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
 - ※ 韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジア NIEs 論
 - ① 新古典派アプローチ
 - ② 世界システム論的アプローチ
 - ③ その他…歴史・文化的アプローチ
 - (2) 東アジア経済発展論
 - ① 世銀のアプローチ
 - ② 国家主義的アプローチ
 - ③ 経済システムアプローチ・市場強化アプローチ
 - ④ その他……企業論的アプローチ etc.
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APEC の発展過程
 - (2) ASEAN の自由化過程

(3)その他の中小規模経済圏

7. アジア経済の現状

- (1)アジア通貨危機の発生とその影響
- (2)その他の諸問題……環境問題 etc.
- (3)日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストで評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』(有斐閣アルマ) 2,000円(税抜き)
参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。

現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前的変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。

前期授業のはじめに、キーワードを3週間分かけて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

これにつづいて、中国経済の解明に取組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949~57年)、(2)毛沢東モデル(1958~78年)、(3)鄧小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないうであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中での、このような志向性のもつ問題点を相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

再試験あり。

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) 4,000円

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	せとおか 瀬戸岡 紘	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらに深めた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥ふかく興味のつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・
授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

- ◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

- ◇アメリカの建国の理念と現代の経済
- ◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

- ◇アメリカの農業
- ◇アメリカの工業
- ◇アメリカの企業家とベンチャービジネス
- ◇アメリカの雇用と労働者
- ◇アメリカの商業とサービス
- ◇アメリカの交通・通信・情報
- ◇アメリカの金融
- ◇アメリカの教育と経済
- ◇アメリカの科学技術
- ◇アメリカの先端産業
- ◇アメリカ経済と環境問題
- ◇アメリカ社会とヴォランティア
- ◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

- ◇国際通貨ドルの地位と IMF
- ◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)
- ◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義
- ◇アメリカの海外援助
- ◇アメリカの多国籍企業
- ◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- 《むすびの話題》
- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらしないで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりです。また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を年間をとおして何回も提出してもらうことを考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの ― レーニン時代 ―
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本 ― 比較経済史 ―

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験あり。

教 科 書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

そ の 他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ぼ ひろ ゆき 番 場 博 之	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

近年、日本の商慣行や流通の多段階性、出店規制などに対して諸外国からの批判が高まり、いわゆるグローバルスタンダードなる基準の名のもとにこうした問題に対する改善が要求された。また、日本国内でも「消費者の利益」という大義名分のもとに流通規制緩和が急速に進んできた。しかしながら、そもそも日本の流通システムは非合理的なのであろうか。また、消費者の利益とは単に商品の価格が安いことだけなのだろうか。さらに、どのような規制緩和が本当にわれわれの生活を豊かにしてくれるのだろうか。本講義ではこのような問題意識のもと海外諸国の流通および商業政策との比較を通して日本の商業政策および流通を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

講義はまず流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の流通政策（商業政策）体系を解説する。また、教回に1回の割合で講義の流れとは別に、テーマ講義を行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。

- (1) ガイダンス（講義の進め方、流通経済・商業政策の枠組み）
- (2) 流通機構と流通構造
- (3) 流通の意義と機能
- (4) 資本主義商業の基礎理論
- (5) 日本の流通政策・商業政策とその枠組
- (6) 独占禁止法とその体系
- (7) 再販売価格維持制度と景品表示法
- (8) 取引の規制：おとり広告・二重価格表示・不当廉売等
- (9) 訪問販売法の改正と自立する消費者
- (10) 流通政策の転換と街づくり
- (11) 中小小売業の役割
- (12) 大規模小売店舗法
- (13) 流通規制緩和と大規模小売店舗法
- (14) まちづくり三法
- (15) 商店街再生への取り組み
- (16) 海外の流通・商業政策

年間で4～5回の実施を予定しているテーマ講義で取り上げるテーマには、例えば①小売業の組織化、②消費者心理とコンビニ、③電子マネー、④ヒット商品とマーケティング戦略、⑤大店立地法の施行とその問題点、⑥広告と流通、⑦キャッチセールスと消費者被害といったものを考えている。なお、詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。再試験は実施しない。

そ の 他

- ・ 講義には OHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。
- ・ 講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。
- ・ 参考書・教科書・参考資料等は必要に応じて指示する。
- ・ 問い合わせ先、E-mail : h2banba@cuc.ac.jp、HP : <http://www.cuc.ac.jp/~h2banba>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	そ 曾 が 我 の 信 た か 孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短国・短放	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を現状をふまえながら講義する。その概要は次のとおりである。
 - 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
 - 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
 - チャンネル政策……自己製品の流通経路の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それにはたんに流通コストの問題だけではなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
 - 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は次のとおりである。
 - 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
 - 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合商社との関係などである。
 - 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
 - 総合商社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合商社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合商社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合商社の子会社戦略、②総合商社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験（場合によって小テスト、出席等）によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはいうまでもないが、そこでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。再試験を実施する。

教 科 書

曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会 福祉・心理・短国	4

講義のねらい

大企業間の合併や提携、持株会社の解禁、企業集団の再編、リストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、21世紀を目前に日本企業は大きく変貌しようとしています。その底流には、情報化・国際化（グローバル化）・規制緩和の進展、メガ・コンペティション（大競争）、「グローバル・スタンダード」など日本企業を取り巻く経営環境の激的な変化があります。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からアプローチします。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 現代企業の所有・支配・管理
 - ①株式会社と経営者
 - ②企業集団と持株会社
 - ③コーポレート・ガバナンスの国際比較
 - ④企業の社会的責任とビジネス・エシックス
- II. 現代企業の経営管理・経営組織
 - ①経営管理とは（管理過程、管理職能、管理原則）
 - ②大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
 - ③経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
 - ④経営管理の近代理論（個人と組織の統合理論）
 - ⑤経営組織の基本形態（権限と責任、ラインとスタッフ…）
 - ⑥経営組織の発展形態（事業部制、カンパニー制、分社化…）
 - ⑦国際経営と企業文化（グローバル化、ローカル化、異文化共生…）
- III. 日本企業の競争力と日本的経営
 - ①日本的企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府…）
 - ②日本的生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
 - ③日本的労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義…）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業のテーマと関連づけて話を進めます。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心を向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

教科書

なし。（随時、コピーを配布します）

そ の 他

授業や課題レポート（夏休み）に関連して紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本の経営」ないし「日本の労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進してきたが、その内実には年功制の要素がなお色濃く残されていた。ところが最近における日本経済の低迷のなかで、この年功制の完全払拭＝能力主義・成果主義への本格的移行が急速に進展しつつある。相次いでリストラが断行されるとともに、年俸制の導入、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の変更等々、賃金と雇用に関する基本的な制度に大きな変化が進行している。これらの動向と特徴やその背景にあるものを探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず「日本の労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに職能給、職務給、職能資格制度、小集団管理、人事効果などを賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本の労務管理と能力主義管理との整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定である。

成績評価の方法

原則として定期試験の成績で評価する。再試験は実施する。

教 科 書

現在選定中。初回講義までに指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	えん どう たかし 遠 藤 孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短大	4

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計 (FINANCIAL ACCOUNTING) について、その伝達、開示の手段である貸借対照表 (BALANCE SHEET)、損益計算書 (INCOME STATEMENT) を中心に、その性格、内容、役割について講義する。できるだけ時の実務上の会計問題にひきつけて講義する。例えば、ヤオハン、三田工業、山一証券の粉飾問題。会計監査の信頼性－監査法人の損害賠償責任問題。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

- (1) 4月第1週
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- (2) 4月第2週
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- (3) 5月第1週
財務会計の制度性について。
財務会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- (4) 5月第2週
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- (5) 5月第3週
資産評価について。流動資産－棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- (6) 6月第1週
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- (7) 6月第2週
繰越資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- (8) 6月第3週
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準－商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- (9) 6月第4週
同上。
- (10) 7月第1週
資本会計について。

後 期

- (11) 9月第1週
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- (12) 9月第2週
連結財務諸表とは何か。
- (13) 9月第3週
同上。
- (14) 10月第1週
同上。連結キャッシュ・フロー計算書、税効果会計
- (15) 10月第2週
セグメント会計について。
リース会計について。
年金会計、退職給与引当金と年金会計
- (16) 10月第3週
企業内容、会計内容の開示について。
注記 財務諸表附属明細表 (書)。
- (17) 10月第4週
同上。
- (18) 11月第1週
財務諸表の監査、商法上の監査。
- (19) 11月第2週
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。会計監査の信頼性、何を監査するのか、監査の範囲「企業会計原則」について。

- (20) 11月第3週
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- (21) 11月第4週
同上。会計の国際化と日本企業会計制度改革、会計 Big Bang。
- (22) 12月第1週
世界企業会計の最新動向。
- (23) 12月第2週
同上。
- (24) 12月第3週
会計学を学ぶについて考えるべきこと。総括。
- (25) 最終週
予備。
- 以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。(前期、後期2回実施の予定)

教科書

遠藤孝他著『会計学』(森山書店)1998年

参考書等

遠藤孝著『引当金会計制度の展開』(森山書店)1998年

その他

授業の方法、教科書、OHP、ときにプリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	い い おか とおる 飯 岡 透	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短教	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・ 授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

〔前 期〕

- 4月 会計監査の目的と種類
 - (1) 会計監査の目的
 - (2) 会計監査の種類
 - (3) 監査基準の必要性とその構造
- 5月 わが国監査制度の展開
 - (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
 - (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開
監査人の要件と責任
 - (1) 監査人の要件
 - (2) 監査人の選任と解任
 - (3) 監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用
 - (1) 監査要点の意義と種類
 - (2) 通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容
 - (1) 監査証拠の意義と分類
 - (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後 期〕

- 9月 内部統制と監査リスク
 - (1) 内部統制の構成要素
 - (2) 内部統制の評価
 - (3) 監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査
 - (1) 監査契約と予備調査
 - (2) 監査計画の目的とその設定
 - (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
 - (4) 他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調書の目的と種類
 - (1) 監査調書の目的と作成要件
 - (2) 監査調書の種類と保存
経営者確認書の意義と記載内容
 - (1) 経営者確認書の意義と目的
 - (2) 経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書
 - (1) 監査報告書の意義と機能
 - (2) 監査報告書の種類
 - (3) 短文式監査報告書の記載内容
 - (4) 特記事項の記載内容
 - (5) 監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	なか はら しょう きち 中原 章 吉	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができるといえます。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思います。
後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思います。例えば、中原章吉著『企業会計の基礎』（創成社）3,500円、平成11年

教科書

中原章吉編『管理会計論』（税務経理協会）平成12年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	かとうとし やす 加藤 利 安	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状況の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになってきている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとなれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」、と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。
再試験を実施しない。

教 科 書

最初の授業時に指示する。

参 考 書 等

授業時に適宜挙げる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
貿易論	ふる古 さわ沢 こう紘 ぞう造	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーション
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験は実施する。

教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
銀行論	よね だ みつぐ 米 田 貢	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 法A・政治・短国・短英	4

講義のねらい

前半の【現状分析編】では、現代日本の金融構造を概観したうえで、90年代日本における金融危機の展開過程を具体的に紹介する。後半の【理論篇】では、それらの金融危機を理解するための基礎理論として信用理論を体系的に説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

【現状分析編】

1. 現代日本の金融構造
2. 1990年代の日本金融危機の概観
3. 銀行取付とは何か？－木津信用組合の経営破綻の事例研究
4. 住専処理をめぐって
5. 現代日本における土地問題－80年代の土地投機をふりかえる
6. 97年金融危機はいかに急展開したか－三洋証券、山一証券、北海道拓殖銀行の経営破綻
7. 98年金融危機と日本長期信用銀行、日本債券信用銀行の特別公的管理＝一時的「国有化」
8. 1980年代アメリカ金融危機とセーフティネット
9. 現代日本における金融危機管理の失敗

【理論篇】

1. 銀行とは何か？
2. 貸借関係と利子生み資本
3. 預金通貨と信用創造
4. 現実資本の蓄積と貨幣資本の蓄積
5. 中央銀行の機能
6. インフレーションとは何か？
7. 現代資本主義の投機化現象について
8. 現代資本主義のグローバル化と為替投機

成績評価の方法

- 1) 【現状分析篇】終了時点で、現代金融危機についてのレポートを提出。評価40点満点。
 - 2) 学年末に、【理論篇】の内容について論述試験を行う。評価60点満点。
- 両者合計が60点以上の場合に単位を付与する。
再試験を実施する。

教科書

授業はレジメに沿って行う。

参考書等

参考文献については適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひさし 斉 藤 寿	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・経A・商・経営・短放	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) —との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
親族法	たけなかちか 竹中智香	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円
六法

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	たけなかちか 竹中智香	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北野かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	また の 北 野 かほる	揮・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる。法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法概念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 法	わか だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 福祉・心理・経営・短放	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こほりのりお 堀 訓 男	神・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生と共に考えたい。

履修上の留意点

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は、必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業をすすめたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたさなえ 浦 田 早 苗	神・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・経営・短放	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- 近代の始点ルネサンス期と18世紀 ○英国革命とIRA ○ジャコバイトと英国王室
- 議院内閣制の成立変遷過程 ○英国における政治腐敗防止過程 ○フランス革命と国家の概念
- フランス政治におけるジャコバン主義 ○「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合——
- 統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート 7～8×400字 は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

南博方他『行政法(3)（第3版）』（有斐閣双書）1,800円

参考書等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）、『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
議 会 関 係 法	まえ た ひで あき 前 田 英 昭	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。

選挙は、民主政治の基盤をなすものであり、民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。

衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10 新聞・放送による選挙運動、11 選挙運動費用、12 選挙運動・政治活動・選挙広告、13 選挙違反と連座制、14 選挙犯罪、15 公務員の地位利用、16 政治資金、17 団体・個人の寄付制限、18 政党交付金とその用途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

参 考 書 等

前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）

前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）

その他各種の選挙法に関する解説書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	いわ 崎 まさ ひろ 岩 崎 正 洋	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この科目で取り扱うテーマは、現代世界の民主主義諸国の政治に関する問題を、現代の比較政治学の理論の観点から検討することである。科目名は、「比較政治学」であるが、広義に捉えれば、「現代政治分析論」ということもできよう。

本講義では、比較政治学の基本的な理論の検討を通して、「比較政治学は現実政治を考える上でどのように役立つのか」という点を考える。比較政治学が研究対象とするのは、世界のあらゆる国々である。それ故、焦点を向けるのは、先進諸国だけではなく、また発展途上国だけだということでもない。先進国同士を比較することもあれば、発展途上国同士を比較することもある。さらには、先進国と発展途上国との比較を行うこともある。

本講義では、各国の政治現象を説明するさまざまな議論に言及し、現実政治の理解と政治理論の理解との間を架橋することを目的とする。この講義でとり上げる比較政治学の諸理論は、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視点を提供することになるだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような項目に従って、比較政治学の理論を広範に見渡し、現実政治が政治理論によってどのように説明され、捉えられているのかを明らかにする。それにより、現実政治と政治理論との間の橋渡しを行うこととする。

- I 比較政治学の課題と方法
- II 政治システム
- III 政治発展
- IV 政治文化
- V 政治体制
- VI 連立政権
- VII コーポラティズム
- VIII 福祉国家
- IX 民主化
- X 政党システム

なお内容・スケジュールについては、現実政治の変動を受けて、若干変更することもあるので、その点に留意されたい。

履修上の留意点

この科目のみが学部内の政治学に関連する科目として独立して存在するのではないため、関連分野の他の科目と併せて履修することが望ましい。

しかし、本講義のテーマに関心をもつ者が初学者であったとしても、何ら履修上の差し支えはない。受講者の知識の習得と理解の増進に役立つような授業展開としたい。

日常生活や研究においても、この科目に関連する情報を、新聞や雑誌、ニュース、インターネットを通じて収集し、理解増進に役立てられたい(例えば、各国の選挙結果についてのデータ・アーカイブや政党や政府のホームページなど)。

成績評価の方法

原則として、定期試験およびレポートの評価を総合して行う。前期もしくは後期のいずれかを試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

ただし履修者の数などにより、その方式に変更がありうることを念頭に置かれたい。

教 科 書

岩崎正洋他編『民主主義の国際比較』(一藝社)1999年

岩崎正洋『政党システムの理論』(東海大学出版会)1999年

参 考 書 等

講義の際に詳細な文献目録を提示するが、さしあたり、以下に挙げる書物は、比較政治学について考える際に役立つだろう。

*M. ドガン&D. ベラッシー/櫻井陽二訳『比較政治社会学』(芦書房)1983年

*西川知一編『比較政治の分析枠組』(ミネルヴァ書房)1986年

*H. J. ウィアールダ編/大木啓他訳『比較政治学の新動向』(東信堂)1988年

*砂田一郎・藪野祐三編『比較政治学の理論』(東海大学出版会)1990年

*青木一能・野口忠彦・岩崎正洋編『比較政治学の視座』(新評論)1998年

*Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Politics and Society in Western Europe*, 3rd ed., Sage, 1994.

*Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Comparative Politics: An Introduction and New Approach*, Polity Press, 1994.

そ の 他

基本的に講義中心とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代国家論	おお つか かつら 大 塚 桂	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況があります。大国・日本丸はどこにすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学にあって重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履習してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みるとき、政治学＝国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。それというのも、国家論は総合科学としての性格を有するからです。

講義の内容・授業スケジュール

- A 国家論の課題ならびに研究方法
 - ①序論
 - ②官立アカデミズムの形成
- B 国家学説の史的展開
 - ①古代国家学説
 - ②中世国家学説
 - ③近代国家学説
 - ④現代国家学説
- C 法治国家の構成原理
 - ①法治国家論
 - ②政治制度
 - ③官僚制
 - ④国家緊急権
- D 行政国家の構成原理
 - ①福祉国家論
 - ②ネオ・コーポラティズム
 - ③シティズンシップ
 - ④きたるべき国家像

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

- A方式（レポートによる単位認定）
～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 - B方式（試験による単位認定）
～ペーパー・テスト（中間・期末）による評価です。
 - C方式（AとBの折衷）
～レポートと授業時間における小テストにより評価します。
- ※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)にあります。電話は、3418-9377（直）です。質問など気軽に訪問してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営労務論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法 A・政治・短放	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点はなし。①私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。②携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらう。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみ。①空欄補充問題（約60点分）②論述問題1問（約40点分）の予定。試験は持ち込み不可とする。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのにより白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。
http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima_Seminar/index.html

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点の諸活動をどのようにマネジメントするのか？」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存のドメスティックな経営理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業（MNC）特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論（アプローチ）、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

海外に拠点を高度に分散化している MNC にとっての大きな課題は、それら拠点の現地化（適応性）の要請とグローバルな統合化（効率性）の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本のマネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系 MNC と異なる様相を示している。その日系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴を理論、欧米系 MNC との比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点について理解を深められる授業内容と構成を予定している。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク（隣接領域との異同と関連性）
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討（IPLC 仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説、経営資源移動仮説等）
- III. 国際経営／企業多国籍化の発展段階モデル（ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、アンゾフ・モデル、EPRG モデル等）
- IV. 国際競争戦略（国際戦略の基本パターンないしタイプ）
 1. 国際競争優位性（規模の経済・範囲の経済・連結の経済・比較優位・国家特殊優位性）
 2. 国際競争戦略の類型（ポーター・モデル、ドズ＝ブラハラード・モデル、パートレット＝ゴシヤール・モデル等）
 3. 国際戦略提携
- V. 国際戦略と組織構造
 1. マクロ構造（国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造）
 2. ミクロ構造および内部ネットワーク（トランスナショナル・モデル、ヘテラルキー・モデル）
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
 1. 欧州系 MNC とアメリカ系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴（経営伝統と現状）
 2. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴（その必要性和問題点、進出地域別特徴）
 3. 異文化マネジメントと海外派遣社員の選抜、教育、給与問題
- VII. 国際マーケティング戦略（海外市場参入、グローバル・マーケティング・ミクス、製品ポジショニングとグローバル市場細分化戦略等）

以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果による。

教科書

茂垣広志・池田芳彦『国際経営論』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』（学文社）2,800円

その他

OHP あるいはプロジェクターを用いて授業を進める。また、必要に応じて資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短国・短放	4

講義のねらい	商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。										
講義の内容・ 授業スケジュール	<p>講義内容の主なテーマは次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 商業史の視点</td> <td>(6) 継 続 性</td> </tr> <tr> <td>(2) 歴史研究とパラダイム論</td> <td>(7) 流 通 量</td> </tr> <tr> <td>(3) 利 潤</td> <td>(8) 大衆消費社会の特質</td> </tr> <tr> <td>(4) 商 品</td> <td>(9) 価 格 革 命</td> </tr> <tr> <td>(5) 市 場</td> <td>(10) 情報社会と商業</td> </tr> </table>	(1) 商業史の視点	(6) 継 続 性	(2) 歴史研究とパラダイム論	(7) 流 通 量	(3) 利 潤	(8) 大衆消費社会の特質	(4) 商 品	(9) 価 格 革 命	(5) 市 場	(10) 情報社会と商業
(1) 商業史の視点	(6) 継 続 性										
(2) 歴史研究とパラダイム論	(7) 流 通 量										
(3) 利 潤	(8) 大衆消費社会の特質										
(4) 商 品	(9) 価 格 革 命										
(5) 市 場	(10) 情報社会と商業										
履修上の留意点	講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。 教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。										
成績評価の方法	成績評価は定期試験による。										
教 科 書	山田勝著『現代商業史』（創成社）2,800円										

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いし な ぞか くにあき 石 名 坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	わた なべ けい いち ろう 渡 邊 恵 一 郎	祥・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者、その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心に課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は、おおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造（損益計算書と貸借対照表との関係）及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、債的特徴及び一般原則など）。
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開）。
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と開示、外貨換算、財務分析、財務諸表の国際比較など）。

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年2回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び期末試験点数の総合による。

教科書

染谷恭次郎著『現代財務会計（改訂増補4版）』（中央経済社）

参考書等

寫井剛雄編『体系会計諸則集（最新版）』（白桃書房）
日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

授業の方法、講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営分析論	かたぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	神・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと学年末試験で行います。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

渋谷武夫著『経営分析の考え方・すすめ方』（中央経済社）3,568円

参考書等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 高 木 克 己	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけややさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営情報論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステム的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータールームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。
その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教科書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

その他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお夫 西村和夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をつロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中間試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30％）と定期試験（70％）との合計点によります。

教科書

タイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

各種の参考書をそのつと紹介します。

その他

〔関連科目〕 → 経営情報論

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営統計	やまの 山 うち しん し 慎 二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについて取り扱う経営統計は、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意志決定をサポートすることを目的とする学問である。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たせるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明する。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(7月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意志決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年1月中旬)	2回

履修上の留意点

年間数回程度の演習問題を適時に配布し、それを本講義内容の基礎的部分をもとに独自に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』（培風館）1995 2,100円（税別）
講義を補充するプリントを適時に配布する。

参 考 書 等

守口栄一・竹田仁共著『経営数学・経営統計とその応用』（日本理工出版社）1992 2,200円（税別）

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先に又は同時に履修することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 講 読	さ ぼ ら さく み 佐 原 作 美	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝(629-641)の頃から奈良朝の天平宝字3年(759)までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人や和歌を選んで講読していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

レポートや出席状況をもって評価する。

教 科 書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう(桜楓社)1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 古 文 学 講 読	すず き ひろ こ 鈴 木 裕 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答を見付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

今年は、篝火の巻から読みます。六条院の栄華を誇る権力者光源氏の保護を受け、華やかな生活の中で玉鬘の苦悩は続きます。父の期待を裏切らない息子夕霧の成長ぶりや、六条院世界における紫の上の位置も気になるところです。

履修上の留意点

講読という科目の性格上、授業はテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教 科 書

『源氏物語四』新潮日本古典集成(新潮社)

参 考 書 等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学講読	その べ みき む 蘭 部 幹 生	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

中世の作品の中から、『無名草子』をとりあげる。今年度は特に後半の女性論の部分を中心に読み進めたい。その関連から、記録類や説話集類も読むことになる。評論として書かれた内容について理解するだけでなく、小野小町以下の古典文学史上著名な女性たちがどのような経緯を経て、どのように受けとめられ、評価されてきたのかを確認し、それらについての自分なりの意見を持てるようになりたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、序から源氏物語論の前までを講義する。前期の後半から後期にかけては、小野小町・清少納言・小式部内侍・和泉式部・宮宣旨・伊勢御息所・兵衛内侍・紫式部・皇后定子・上東門院・大倉院選子・小野皇太后宮といった女性たちに対する女性論や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、十二月末の時間内に50点満点の筆記試験（持ち込み参照でも可）を行う。なお、追再試験はレポートとするが、これについては、一月の授業時間内に指示するので必ず出席すること。

教科書

新潮日本古典文学集成『無名草子』（新潮社）2,000円

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学講読	えち こ けい こ 越 後 敬 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

西鶴の代表作の一つである『好色五人女』を読む。本書は実際にあった五つの恋愛事件をもとに描かれた作品である。当時は封建体制のもと厳しい身分制度がしかれており、自由な恋愛が認められていなかった。そのため悲劇的な結末を迎えざるを得ない男女が数多くあった。それを西鶴はどのように描いたか、当時の時代背景や先行文芸との関わりを視野に入れながら読み進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第一回 授業の進め方の説明
第二・三回 西鶴と『好色五人女』に関する概説
第四回以降 『好色五人女』講読

履修上の留意点

毎回、授業範囲分の下調べをしてきてほしい。また教科書は活字本を用いるが、適宜影印資料を配布するので、変体仮名に慣れてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点（出席、授業への貢献度）を加味する。

教科書

江本裕『好色五人女 全訳注』（講談社学術文庫）1,200円
その他、授業時にプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 講 読	いしわり 石 割 透	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

1910年代から1920年代に発表された、わが国の代表的な小説を、多様な角度から読み、同時代の文学史、表現史の一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール

扱う作品は、芥川龍之介『羅生門』『鼻』『芋粥』『奉教人の死』、谷崎潤一郎『小さな王国』『白昼鬼語』、志賀直哉『清兵衛と瓢箪』『十一月三日午後の事』『雨蛙』、内田百閒『旅順入城式』など。

また、それらの作品や時代に共通する課題をかかえた菊池寛、宇野浩二、近松秋江、江戸川乱歩などの作品も自由にとり入れて、この時代の文学のもっていた課題を考えていく予定。

履修上の留意点

文庫本などで接することが難しい作品を扱う場合もあるが、そうした作品も、受講者は、必ず前もって読んで授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートなどでは、これまでの研究文献にもたれかかることのない、斬新な視角によるものを期待したい。

教 科 書

『芥川龍之介全集1・II』（ちくま書房）志賀直哉『小僧の神様、城の崎にて』『清兵衛と瓢箪・網走まで』（以上新潮文庫）谷崎潤一郎『美食倶楽部－谷崎潤一郎大正作品集』（ちくま文庫）内田百閒『冥途・旅順入城式』（岩波文庫）

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学講読	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

「よりによって」、とあなたは言うかもしれない。それでも、現在の文学界において最もポピュラーな作家の一人である村上春樹を読む。年間を通じての講義タイトルは、「現象としての村上春樹」（あるいは、「よりによって村上春樹」）。彼の作品を読み進めながら、作品に描かれたフィクションの「世界」と、我々が生きる現実との距離、その位相の違い、そして接点を探る。ここには村上春樹という作者研究の視点はない。私は村上春樹の友達ではないし、会ったこともないので、彼がどんな人間であろうと私には関係がない。また同時に、たとえば『ノルウェイの森』が400万部以上売れたことによって、一種の社会現象になったという文脈での「現象」を考察したいわけでもない。もちろんそうした情報は、事実として何らかの前提にはなり得るわけだが。本講において注目したいのは、彼の作品と読者がきり結ぶ関係そのものである。すなわち具体的に、作品と私の関係、作品とあなたの関係が、すべての出発点である。さらに教場において共に講読した結果として、「作品を通しての私とあなたの関係」が想定されるとしたら、そこから村上作品と現代社会の関係性についての何かが浮かびあがるはずである。通常の文学鑑賞においては、作品と読者との一対一の関係によって表現のほとんどすべてが完結してしまえるが、村上春樹現象と言われるほどのポピュラリティを持ってしまった作品については、それが現代社会の中でどのように認識されるのかを意識せずには読めない部分があると思えるからである。

講義の内容・授業スケジュール

順次、村上春樹の作品を講読する。できるだけ多くの作品に触れたいと思うが、具体的にどの作品をどのようなスケジュールで読み進めて行くかは、講義を進める中で随時決めさせていただきます。

履修上の留意点

当然ながら授業時間中に読むことのできる部分のごく限られているので、各自が授業以外の時間で少しでも多くの作品を読むことが要求される。また、国文科であるのに恐縮だが、村上春樹が翻訳したアメリカ現代小説もいくつか、参考として講読の対象としたい。原文を英語で読む必要はないが、講義において翻訳文と原文との比較を行うことがある。

成績評価の方法

出席回数と、レポートの提出によって評価を行う。レポートの内容・時期・回数等も、授業を進める中で適宜決めさせていただきます。

教科書

テキストとして、加藤典洋編『村上春樹 イエローページ』（荒地出版社）1,553円＋税、およびユリイカ臨時増刊号『総特集 村上春樹の世界』（青土社）1,260円を指定するので、各自購入し、毎回授業の際に持参してほしい。これらをいわゆる教科書として読み進めるわけではないが、村上作品の全体像を見渡すことのできるガイドとして使用する。前者は主要な長編小説の紹介として、後者は短編や翻訳作品を含めた全体像を概観するのに有効である。実際に講読する村上作品については、これらのガイドにも紹介されているのでそれを参考に、各自で用意していただく。読んでいない者は、まず『羊をめぐる冒険』（講談社、および講談社文庫）と『ノルウェイの森』（上・下 講談社）だけは読んでおいてほしい。

参考書等

村上春樹に関する出版物は数多いが、最寄の書店で入手できる参考書として、鈴木和成『村上春樹クロニクル 1983-1995』（洋泉社）1,500円と、木股知史編『日本文学研究論文集成46 村上春樹』（若草書房）3,500円＋税をあげておく。

その他

講読形式の授業であり、それは学生が各自講読するという意味である。講義では、全員が声を出して読んでみても仕方がないので代わりに私が読むが、あくまで自分が読まなければ意味のないものだという前提を忘れないでいただきたい。そのあとは、作家研究・作品研究の講義でない分、各自の興味と感性に引きつけて、むしろそれぞれの受け入れ方をしてほしい。私は私の感性をもとに、作品について何かを述べることになるが、それをそのまま受け入れるのではなく、むしろそれとあなた自身の感じ方の「ズレ」を意識することの方が重要である。年間の授業の最後に、あなたにとっての村上春樹とは何か、と訊ねることになるだろう。その時に、それぞれの感じ方で、それぞれの言葉で答えてほしい。音楽が好きな人だったら、音楽にたとえるなら、という個人的な言い方でかまわない。ほくにとって村上春樹は、なぜか佐野元春なんですけど。どうしてかほうまく説明できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用計測学 (前期)	かし 櫃 お 尾 えい じ 次	禅・仏教・英文文・地理 歴史・社会・福祉 心理・経A・商・経営	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
 - CR (Computed Radiography)
 - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

3. 短大仏教科開設科目

3. 短大仏教科開設科目

インド・チベット仏教演習〈休 講〉	
中国仏教演習〈奥野光賢〉	153
仏教思想演習〈袴谷憲昭〉	153
仏教文学演習〈石井公成〉	154

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教演習	おくの野みつよし 奥野光賢	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

この授業は純然たる「演習」科目なので、本来は毎週当番をきめて実際に文献を購読してもらうのが建前であるが、慣れるまでのしばらくの期間は丁寧に指導を行なう。一年間、徹底的に一つの文献に接することによって読解力を養成するのが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。『八宗綱要』は古来、簡にして要を得た仏教概論として読みつがれてきた古典的名著で、今日の研究水準から見ると部分的に誤りはあるものの、その価値はいささかも減ずるものではない。本演習では、その講読を通じて中国仏教各宗の歴史と基本的教義の把握を目標とする。その際、本演習はあくまで「中国仏教演習」であるので、随時中国撰述の文献も参照していく予定である。

履修上の留意点

演習科目なので、十分な事前の下調べが必要である。受講にあたっては、その点をあらかじめ認識しておいてもらいたい。下調べの方法は丁寧に指導を行なう。何よりも必要なことは自分で調べてみよう、読んでみようという意欲である。

成績評価の方法

演習科目なので、出席とレポートによって評価する。したがって、欠席の多い学生は、成績評価の対象としないのであらかじめ留意されたい。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）、その他の参考書、受講にあたって是非揃えて欲しいもの等は開講初日に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教思想演習	はかまやのりあき 袴谷憲昭	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、日本における仏教思想の展開に重要な役割を果たしたものは、浄土教であるとの考えから、永観の『往生講式』を取り上げて講読する。

講義の内容・授業スケジュール

永観は三論宗の人であり、その浄土思想の背景には三論教学がある。その点は、彼の別な著作である『往生拾因』によく現われているので、『往生講式』を読むかたわら、時々『往生拾因』を参照しながら、最初から読み進めていく。

履修上の留意点

常に出席して積極的に講読に参加すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

二文献ともに、大正蔵、84巻所収のものをテキストとする。

参考書等

国訳一切経、諸宗部5、349～406頁所収の二文献の訓読を参照されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 文 学 演 習	いし 井 こう せい 石 井 公 成	禅・仏教3・4選	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講座では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

男女の愛情・無常・自殺・夢その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

期末試験とレポートによるが、討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教 科 書

教科書を使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

4. 随 意 科 目

4. 随 意 科 目

英 語 (海 外 演 習)	159
日 本 宗 教 文 化 史 (池 上 良 正)	159
民 間 信 仰 論 (谷 口 貢)	160
書 道 史 (那 須 隆 吉)	160
編 集 実 務 (長 谷 川 孝)	161

科 目 名	配 当 学 科	単 位
英 語 (海 外 演 習)	全学科・短大 1 年 次 ~	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学(オーストラリア)、プリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)、エクセター大学(イギリス)、カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 宗 教 文 化 史	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	禅・仏教 2 年 次 ~	4

講義のねらい

日本の宗教文化を考えるうえで、巫覡、ミコなどよばれてきた巫者信仰の系譜は重要な意味をもつ。本講義では、この巫者信仰に焦点を合わせ、宗教史と実態調査研究の両面から得られた成果をもとに、その多様な形態と文化史的な意義を明らかにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、柳田國男にはじまる巫者研究の歴史を概観したうえで、主として東北地方や沖縄地方の巫者信仰の具体的事例を考察する。ここでは、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムヌシリなど、様々な名称で呼ばれてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方が中心となる。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

スライドを適宜使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口 貢	禅・仏教 2年次～	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の3冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

随
意
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道史	那須 隆吉	禅・仏教 2年次～	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社）
日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編 集 実 務	はせがわ たかし 長 谷 川 孝	禅 ・ 仏 教 2 年 次 ~	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに — 何かを — 伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を讀みとるのかという「視点(目のつけどころ)」と、「なぜ」それを伝えるのかという意味と責任が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材、原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして、「自分の視点」を育てることを目指したいと思っています。

「だれかに — 何かを — 伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題は、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらうほか、自己評価点と平常の提出物などによります。

教 科 書

プリントを使用します。

5. 「日本語」・「日本事情」科目

5. 日本語・日本事情科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐 野 典 子〉	167
日 本 語	I	〈多田羅 哲 子〉	167
日 本 語	II	〈佐 野 典 子〉	168
日 本 語	II	〈多田羅 哲 子〉	168
日 本 語	III	〈多田羅 哲 子〉	169
日 本 語	III	〈湯 村 礼 子〉	169
日 本 語	IV	〈石 川 守〉	170
日 本 語	IV	〈湯 村 礼 子〉	170
日 本 語	V	〈石 川 守〉	171
日 本 語	V	〈多田羅 哲 子〉	171
日 本 語	VI	〈石 川 守〉	172
日 本 語	VI	〈多田羅 哲 子〉	172

《日本事情科目》

日本事情 I〔地 理〕	〔前期〕	〈須 山 聡〉	173
日本事情 II〔白 然〕	〔前期〕	〈清 水 善 和〉	173
日本事情 III〔歴 史〕	〔後期〕	〈宮 本 由紀子〉	174
日本事情 IV〔思 想〕	〔前期〕	〈赤 羽 由規子〉	174
日本事情 V〔社 会〕	〔後期〕	〈吉 田 素 子〉	175
日本事情 VI〔政治・法律〕	〔後期〕	〈上 條 末 夫〉	175
日本事情 VII〔文 学〕	〔前期〕	〈村 上 光 徳〉	176
日本事情 VIII〔文化・芸術〕	〔後期〕	〈赤 羽 由規子〉	176
日本事情 IX〔経 済〕	〔前期〕	〈瀬戸岡 紘〉	177
日本事情 X〔経 営〕	〔前期〕	〈猿 山 義 広〉	178

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の映画、TVドラマ、ニュース、などの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教科書

特に教科書は使わない。聴解シートはその都度、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- 語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- 助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	佐 野 のり 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の現代作家の小説、ノンフィクション、エッセイ等を輪読する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教 科 書

授業で使用する教材は担当者がそのコピーを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を養う。

- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	多 田 羅 哲 子 <small>た た ら あき こ</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - 一つのテーマについて聴きとる(見る)・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	湯 村 礼 子 <small>ゆ むら れい こ</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになること目指す。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自担当を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験(漢字・語彙テストetc)、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動(発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度etc)を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 IV	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。
履修上の留意点	授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。
成績評価の方法	成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。
教科書	教材は、授業中にプリントを配布する。
参考書等	特になし
その他	授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 IV	ゆ むら せい こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。
履修上の留意点	講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	作文・レポートなど（5回程度） 授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）
教科書	授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 V	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中上級の文法・表現練習及び作文演習。自分の言いたいことを正しく適切な表現を用いて話したりわかり易く書くための基本的練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 留学生の文章によく見られる問題箇所（たとえば「は」と「が」の使い分け、その他の助詞、自他動詞、接続表現、文末表現など）について正しく使えるよう練習する。
- より適切な表現が選べるよう中上級の文法・表現の復習をする。
- 話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、表・グラフを使う表現等レポートを書くときに役立つ基礎的な練習をする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義はICJ (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。

履修上の留意点

講義は教師が一方的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 VI	た た ら おき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを押さえながら、本・新聞・雑誌等の生教材を読む。
- 関連したビデオを見て、それらが実際にどう使われているかを知る。
- テーマについて話し合ったり書いたりすることで日本語を豊かにする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオを使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	須 山 聡 <small>す やま さとし</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の風土や地域性をわかりやすく紹介し、日本に対する理解を深める。日本各地の風土や地域性に関する簡単なテキストを用いて受講者に新たな日本のとらえ方を提示したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日本列島のなりたち－暑い、寒い、湿っぽい－
- 2 日本列島の文化的多様性－日本は多民族社会？－
- 3 伝統の「日本」－フジヤマ・ゲイシャ・ジンリキシャー－
- 4 技術の「ニッポン」－ハイテク国家の実像－
- 5 日本の都市－繁栄と退廃－
- 6 日本の農村－そしてお年寄りばかりが残った－
- 7 日本人の知らない日本－こんな日本、あんな日本－

履修上の留意点

受講者の活発な発現を期待する。

成績評価の方法

出席を重視するが、場合によってはレポートも課す。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書等

日本地図帳を持参されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	清 水 善 和 <small>し みづ よし かず</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候・地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

成績評価の方法

レポート(2、3回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

そ の 他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅲ 〔 歴 史 〕 (後 期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

なし

そ の 他

講義のみ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅳ 〔 思 想 〕 (前 期)	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

そ の 他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情 V 〔 社 会 〕 (後期)	よし だ もと こ 吉 田 素 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、現代の日本人の意識や行動様式を、社会現象を通して検討します。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、日本で起きた社会現象や事件をとらえた新聞記事・雑誌記事などを読み、理解します。そして、受講生の間でその記事についての意見を交換したり、他国で起きていることと比較したりすることによって、日本社会の特質を分析します。

成績評価の方法

毎回出席をとり、授業中の発言なども平常点として加味します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情 VI 〔 政治・法律 〕 (後期)	かみ しょう すえ お 上 條 末 夫	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

戦後日本の政治制度と政治の実態を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1、日本国憲法の意味
- 2、国会法の内容
- 3、選挙法の沿革と意味
- 4、内閣法と立法府との関係
- 5、司法制度のあり方
- 6、衆議院議員選挙の推移
- 7、参議院議員選挙の推移
- 8、地方自治と地方選挙
- 9、政党の実情と政党政治
- 10、議員立法と国会のあり方
- 11、内閣の性格とそのあり方
- 12、日本の政治文化

成績評価の方法

平常点による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(前期)	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中世の軍記文学を講ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

保元の乱の『保元物語』から平治・治承の戦いまでを作品を中心に講義する。

履修上の留意点

出席とレポートを課す。

教科書

その都度必要に応じ配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あか 赤 ば 羽 ゆき 由規子 こ 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IX 〔 経 済 〕 (前 期)	瀬 戸 岡 <small>せと おか ひろし</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくていねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？ 日本的経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？ 就業人口にしめる農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？ そして農業生産高はどうか？そして時には余談もします。たとえば、この国本当の名前ってニホンなの？ ニッポンなの？それともジャパンでもいいの？など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話すことがねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

日本の工業地帯と工業
日本の農村と農業および日本の水産業
日本のサービス業および金融
明治維新以前の日本経済の歴史
第2次世界大戦以降の日本経済の展開
日本経済とアメリカ経済
日本経済とアジア経済
日本経済と政府の役割
日本の労働者・サラリーマンの生活
日本経済と社会や文化の変化
その他

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト(クイズ)30%、宿題30%が目安です。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

教 科 書

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介します。日々のニュースをよく聞いてみてください。この講義では、日ごろあなたが目にするそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

そ の 他

授業は、おおむね日本語ですすめます。しかし、その日の要点は、英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X 〔 経 営 〕 (前 期)	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、日本の広告事情について学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 広告の歴史
- II 日本の広告メディア
- III 日本の広告会社
- IV 日本の広告主
- V 広告プランニングの実際
- VI 最近の日本の広告

履修上の留意点

日常生活の中で接する広告の中から、自分が面白いと思うものを見つけておくこと。

成績評価の方法

期末レポート「私が選ぶ2000年のテレビCMベスト10」によって評価します。

教 科 書

授業中に適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

『宣伝会議』『ブレーン』『広告批評』等。

6. 教職課程・資格講座科目

- I 教 職 課 程
- II 学校図書館司書教諭講座
- III 社会教育主事講座
- IV 博物館学講座
- V 社会福祉主事講座
社会福祉士基礎

※上記の教職課程および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。

(履修についての詳細は、『教職課程・資格講座履修要項』を参照すること。)

課 程 ・ 講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	全 学 部

6. 教職課程・資格講座科目

〔注意〕頁（ ）は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

I 教 職 課 程

(1) 教職に関する科目（必修）

教 職 入 門	〈大浜幾久子・伊藤茂樹・北村三子・坂本信昭 村山輝吉・遠藤 司・豊田千代子〉	189
教 育 の 思 想	〈豊 田 千代子〉	189
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	190
教 育 の 思 想	〈伊 藤 茂 樹〉	191
教 育 の 思 想	〈村 山 輝 吉〉	192
教 育 の 思 想	〈坂 本 信 昭〉	193
教 育 と 社 会	〈豊 田 千代子〉	194
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	194
教 育 と 社 会	〈伊 藤 茂 樹〉	195
教 育 と 社 会	〈村 山 輝 吉〉	195
教 育 と 社 会	〈坂 本 信 昭〉	196
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾久子〉	196
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈川 田 三 夫〉	197
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈上 淵 寿 夫〉	198
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈角 野 善 司〉	199
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈 休 講 〉	
教 育 と メ デ ィ ア	〈小 倉 康 仁〉	200
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	201
教 育 と メ デ ィ ア	〈芝 崎 順 司〉	202
道 徳 教 育 の 研 究	〈加 藤 幸 夫〉	203
道 徳 教 育 の 研 究	〈小 川 一 郎〉	204
道 徳 教 育 の 研 究	〈鶴 卷 武 夫〉	205
特 別 活 動	〈加 藤 幸 夫〉	206
特 別 活 動	〈小 川 一 郎〉	207
特 別 活 動	〈鶴 卷 武 夫〉	208
生 徒 指 導 論〔進路指導を含む〕	〈小宮山 要〉	209
生 徒 指 導 論〔進路指導を含む〕	〈国 眼 眞 理 子〉	210
生 徒 指 導 論〔進路指導を含む〕	〈佐 藤 尚 人〉	211
生 徒 指 導 論〔進路指導を含む〕	〈遠 藤 司 郎〉	212
生 徒 指 導 論〔進路指導を含む〕	〈川 原 誠 司〉	212
教 育 臨 床	〈 休 講 〉	
宗 教 科 教 育 法	〈小 山 一 乘〉	213
国 語 科 教 育 法	〈神 谷 道 倫〉	214
書 道 科 教 育 法	〈那 須 隆 吉〉	214
英 語 科 教 育 法	〈荒 井 良 雄〉	215
社 会 科 教 育 法 I	〈久 保 田 武 夫〉	215
地 理 歴 史 科 教 育 法 I	〈久 保 田 武 夫〉	216
社 会 科 教 育 法 I	〈桜 井 明 久〉	217
地 理 歴 史 科 教 育 法 I	〈桜 井 明 久〉	217
社 会 科 教 育 法 I	〈藤 木 正 国〉	218

地理歴史科教育法 I	〈藤木正国〉	218
社会科教育法 II	〈橋爪敏〉	219
公民科教育法 I	〈橋爪敏〉	219
社会科教育法 II	〈谷敷正光〉	220
公民科教育法 I	〈谷敷正光〉	221
社会科教育法 II	〈上條末夫〉	222
公民科教育法 I	〈上條末夫〉	223
商業科教育法	〈谷敷正光〉	224
職業科教育法	〈前田幸一〉	225
教育実習 I・II	〈豊田千代子〉	225
教育実習 I・II	〈坂本信昭〉	226
教育実習 I・II	〈村山輝吉〉	226
教育実習 I・II	〈北村三子〉	227
教育実習 I・II	〈伊藤茂樹〉	227

(2) 教職に関する科目 (選択)

教育関係法規	〈広沢明〉	228
教育評価	〈大浜幾久子〉	228
教育法規研究	〈休講〉	
教育哲学	〈北村三子〉	229
教育情報学	〈小倉康仁〉	230
教育臨床心理学	〈牟田隆郎〉	231
教育社会学	〈熊谷一乗〉	232
教育史	〈山本敏子〉	233
教育調査	〈鈴木規夫〉	234
芸術教育	〈香川良成〉	234
現代社会の諸問題と教育 II	〈熊谷一乗〉	235
青少年問題研究	〈讚岐真佐子〉	236
宗教教育	〈小山一乗〉	237
生涯学習概論 I	〈豊田千代子〉	(238)
生涯学習概論 II	〈豊田千代子〉	(238)
視聴覚教育	〈飯森彬彦〉	(238)
社会教育施設	〈村山輝吉〉	(238)
学校経営と学校図書館	〈山田節子〉	(238)
読書と豊かな人間性	〈山田節子〉	(239)
学校図書館メディアの構成	〈源昌久〉	(239)
情報メディアの活用	〈源昌久〉	(239)
学習指導と学校図書館	〈山田節子〉	(239)

(3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

東洋思想史	〈末木恭彦〉	240
美術史概説	〈矢野陽子〉	240
民間信仰論	〈谷口貢〉	241
人文地理学概説	〈小池とみ子〉	241
自然地理学概説	〈高木正博〉	242
自然地理学概説	〈早船元峰〉	242
地誌学概説	〈川元豊和〉	243
地誌学概説	〈久保田武〉	244
地誌学概説	〈藤島範孝〉	245

日 本 佛 教 史	〈遠藤 廣昭〉	245
日 本 文 化 史	I 〈休 講〉	
日 本 文 化 史	II 〈廣 瀨 良 弘〉	246
日 本 文 化 史	學 〈麻 生 建 樹〉	246
日 本 史 概 說	〈黒 田 基 樹〉	247
日 本 史 概 說	〈小 松 寿 治〉	247
日 世 界 史 概 說	〈井 村 行 子〉	248
日 世 界 史 概 說	〈渡 辺 惇 樹〉	249
社 会 史 学 原 類	論 〈渡 辺 源 樹〉	250
宗 教 人 類	学 〈佐々木 宏 幹〉	251
經 济 原 論	〈浅 田 統 一 郎〉	252
經 济 原 論	〈阿 部 弘 一 郎〉	253
經 济 原 論	〈浅 野 克 巳〉	254
經 济 原 論	〈松 井 柳 平〉	255
經 济 原 論	〈橋 本 泰 明〉	256
民 治 法 学 原 論	I 〈大 宮 隆 一 郎〉	257
日 本 宗 教 文 化 史	論 〈大 塚 桂 一 郎〉	258
日 本 宗 教 学 概 說	史 〈池 上 城 良 正〉	259
日 本 宗 教 学 概 說	史 〈津 上 城 良 正〉	259
日 本 宗 教 学 概 說	史 〈洗 池 上 城 良 正〉	260
日 本 宗 教 学 概 說	史 〈池 上 城 良 正〉	260
日 本 宗 教 学 概 說	史 〈津 上 城 良 正〉	261
日 本 宗 教 学 概 說	史 〈久 保 陽 一 郎〉	262
日 本 宗 教 学 概 說	史 〈末 木 恭 彦〉	262
日 本 宗 教 学 概 說	史 〈河 谷 淳 一 郎〉	263
【職 業】		
産 業 概 說	〈前 田 幸 一 郎〉	264
職 業 指 導	〈山 田 勇 治 一 郎〉	264
商 業 实 習	〈前 田 幸 一 郎〉	265
【商 業】		
職 業 指 導	〈山 田 勇 治 一 郎〉	(265)

II 学校図書館司書教諭講座

必修科目

学校経営と学校図書館〈山田節子〉	269
読書と豊かな人間性〈山田節子〉	269
学校図書館メディアの構成〈源昌久〉	270
情報メディアの活用〈源昌久〉	270
学習指導と学校図書館〈山田節子〉	271

III 社会教育主事講座

(1) 必修科目

社会教育計画〈村山輝吉〉	275
生涯学習概論Ⅰ〈豊田千代子〉	276
生涯学習概論Ⅱ〈豊田千代子〉	277
社会教育実習〈豊田千代子〉	278
社会教育実習〈村山輝吉〉	278

(2) 選択必修科目

社会教育行政〈東寿隆〉	279
社会教育施設〈村山輝吉〉	279
成人学習論〈東寿隆〉	280
ジェンダーと教育Ⅰ〈中澤智恵〉	280
ジェンダーと教育Ⅱ〈中澤智恵〉	281
職業教育Ⅰ〈塩川正人〉	282
職業教育Ⅱ〈塩川正人〉	282
社会体育Ⅰ〈古田潤子〉	283
社会体育Ⅱ〈古田潤子〉	283
教育の思想	(284)
教育と社会	(284)
発達と学習の心理学	(284)
教育とメディア	(284)
カリキュラムと学習〈休講〉	
社会心理学〈休講〉	
視聴覚教育〈飯森彬彦〉	(285)
教育社会学〈熊谷一乗〉	(285)
教育史〈山本敏子〉	(285)
教育調査〈鈴木規夫〉	(285)
青少年文化〈香川良成〉	285
現代社会の諸問題と教育Ⅰ〈熊谷一乗〉	286
現代社会の諸問題と教育Ⅱ〈熊谷一乗〉	(286)
青少年問題研究〈讃岐真佐子〉	(286)
青少年指導演習〈平野学〉	287
博物館学Ⅰ〔概論〕〈太田喜美子〉	(288)
博物館学Ⅱ〔資料論〕〈岸上興一郎〉	(288)
情報メディアの活用〈源昌久〉	(288)
読書と豊かな人間性〈山田節子〉	(288)

IV 博物館学講座

(1) 必修科目

視聴覚教育〈飯森彬彦〉	291
考古発掘実習〈飯島武次・酒井清治〉	291
博物館学Ⅰ〔概論〕〈太田喜美子〉	292
博物館学Ⅱ〔資料論〕〈岸上興一郎〉	292
博物館学Ⅲ〔経営論・情報論〕〈岸上興一郎〉	293
博物館実習Ⅰ〔館務〕〈飯島武次・酒井清治・太田喜美子〉	294
博物館実習Ⅱ〔収集〕 久保田昌希・瀧音能之・佐藤元英 小林和幸・廣瀬良弘	294
博物館実習Ⅲ（見学）〈酒井清治・太田喜美子・松本信道〉	295
教育の思想	(295)
教育と社会	(295)
生涯学習概論Ⅰ〈豊田千代子〉	(295)
生涯学習概論Ⅱ〈豊田千代子〉	(295)

(2) 選択必修科目

インド仏教文化史〈休講〉	
中国仏教文化史〈永井政之〉	296
日本仏教文化史〈袴谷憲昭〉	296
禅美術〈海老根聰郎〉	297
仏教美術〈松田誠一郎〉	297
仏教民俗学〈須藤寛人〉	298
日本民俗学〈谷口貢〉	299
美術史概説〈矢野陽子〉	300
現代美術〈矢野陽子〉	300
地形学〈小池一之〉	301
第四紀学〈鈴木毅彦〉	301
考古学概説Ⅰ〔日本〕〈酒井清治〉	302
考古学概説Ⅱ〔外国〕〈飯島武次〉	302
日本文化史Ⅰ〈休講〉	
西洋文化史Ⅰ〈休講〉	
日本文化史Ⅱ〈廣瀬良弘〉	303
西洋文化史Ⅱ〈休講〉	
考古学特講Ⅰ〈高浜秀〉	304
考古学特講Ⅱ〈休講〉	
考古学特講Ⅲ〈矢野和之〉	305
考古学特講Ⅳ〈休講〉	
西域美術史〈松平美和子〉	306
宗教人類学〈佐々木宏幹〉	306

V 社会福祉主事・社会福祉士基礎講座

(1) 必修科目

※社会福祉原論〈伊藤秀一〉	309
※社会福祉原論〈船水浩行〉	310

(2) 選択科目

※法学〔福祉〕〈小林弘人〉	311
社会福祉発達史〈林千代〉	312
リハビリテーション論〈原田信一〉	313
※社会保障論〈船水浩行〉	314
家庭福祉論〈休講〉	
社会福祉計画論〈川廷宗之〉	315
国際社会福祉論〈山本真実〉	316
保健福祉論〈長尾譲治〉	317
※公的扶助論〈伊藤秀一〉	317
※障害者福祉論〈原田信一〉	318
※老人福祉論〈東條光雅〉	319
児童福祉論〈許斐有〉	320
女性福祉論〈林千代〉	320
医療福祉論〈春見静子〉	321
※地域福祉論〈渡辺一城〉	322
※社会学〔福祉〕〈橋爪敏〉	322
※心理学〔福祉〕〈高橋良博〉	323

上記科目のうち、※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみを対象とする科目です。

I 教 職 課 程

(1) 教職に関する専門科目（必修）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教職入門（後期）	大浜幾久子・伊藤茂樹・北村三子・坂本信昭 村山輝吉・遠藤司・豊田千代子	12以降入学生/教職1必	2

講義のねらい

高度消費社会の出現や、情報化社会の進展の中で、今日の日本の教育界は多くの困難な問題を抱えています。将来教師になろうとする人には、そうした問題に自ら取り組んでいく覚悟とそれを越えてゆける力量が必要となるでしょう。その力量の中には、知識ばかりでなく、関心の広さ、感受性、想像力、柔軟な発想、そして体力など、きわめて多様なものが含まれます。この講義では、教職課程の専任教員七名に加え、外部からも講師をお迎えして、さまざまな角度から教育を語っていきますが、教師になるための勉強の第一歩として、教師という職業には関心を持つべき多くのことがあるということを、まずは実感してください。

講義の内容・授業スケジュール

今日の教育に関する諸問題をオムニバス形式で講じていきます（毎回テーマと講師が代わっていきます）。また11月9日、16日は、普通の講義ではなく、教職課程の履修に関するガイダンスが予定されています。詳しいスケジュールは、初回の講義で配布される予定です。

成績評価の方法

レポートによる評価。

その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想（前期）	豊田千代子	教職2必（禅・仏教）	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業では、人間の成長・発達を、他者や自然等に向けて自らのコミュニケーション回路を開いていく力の形成（自分と自分を取りまく世界との関係を意識し、新たな関係を編み出していく力の形成）と捉え、このような点に注目した教育の思想について検討したい。

講義の内容・授業スケジュール

自然とのかかわりのなかで育んできたネイティブ・アメリカンの生命観や世界観等に学びつつ、人間の存在を全体（すべてのものとの不可分なつながり）として捉える「ホリスティックな視点」で教育を考えるとどういうことかを議論する。また、このような視点で取り組まれている教育実践の検討をとおして、それが今日の日本の教育状況にどのような意義をもつのかを考えよう。

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 (前 期)	きたむらみつこ 北村三子	教 職 2 必 (国文・英米文・社会・福祉・心理)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、たとえば次のようなものを検討していきます。
 - ・今日の子どもや若者の精神的ストレスや、彼らの引き起こした事件
 - ・近代の教育をより広い観点から問いなおすような子ども史や若者史、あるいは、社会史的視点を含む人間形成の歴史
 - ・近代では周辺的だった教育思想や実践

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

参 考 書 等

教場で指示

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹	教職2必 (地理・歴史・法A・政治)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・近代社会と教育
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 (前 期)	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教 職 2 必 (経 A)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は個々人の人格形成に深く関与する個人的事象であると同時に、社会のあり方によって大きく影響され、また逆に、社会のあり方やその形成に直接間接作用を及ぼす歴史的・社会的事象でもある。従ってここでは、「教育の思想（前期）」と「教育と社会（後期）」の両科目を通じて、教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、各種の資料や下村湖人の著作等をも参考にしながら、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。両科目を通じて、人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた歴史的・社会的視座から考えられる能力を育てることをめざしているが、この「教育の思想」では、主として教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想に関する基礎的な理解を図ることに重点を置く。

講義の内容・
授業スケジュール

第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表（口頭または作文）と、それを系統的・論理的に整理する作業

第2ステップ 第1ステップで整理された諸課題のうち、主として教育の理念や歴史、思想にかかわるものについて、資料や文献を参考にしながら考察を深める作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

参 考 書 等

そのつど紹介する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 (前 期)	さか ちと のぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 2 必 (商 ・ 経 営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教 科 書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参 考 書 等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

そ の 他

- ・必要な資料を適宜配布する。
- ・この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	豊田千代子	教職2必 (禅・仏教)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	北村三子	教職2必 (国文・英米文・社会福祉・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・前近代的な社会と教育……原始古代・中世社会の人間形成
- ・近代社会と学校制度……近代学校制度の成立と発展
- ・近代学校の社会的機能……政治的機能・経済的機能・文化的機能
- ・近代学校制度の諸問題

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹 いとう しげき	教職 2 必 (地理・歴史・法A・政治)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会において学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・現代の教育問題
・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がけること。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教職 2 必 (経 A)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は個々人の人格形成に深く関与する個人的事象であると同時に、社会のあり方によって大きく影響され、また逆に、社会のあり方やその形成に直接間接作用を及ぼす歴史的・社会的事象でもある。従ってここでは、「教育の思想(前期)」と「教育と社会(後期)」を通じて、教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、各種資料や文献を参考にして、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。両科目を通じて、人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた歴史的・社会的視座から考えられる能力を育てることをめざしているが、この「教育と社会」では、主として教育に関する社会的・制度的事項についての基礎的な理解を図ることに重点を置く。

講義の内容・
授業スケジュール

第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表(口頭または作文)と、それを系統的・論理的に整理する作業

第2ステップ 第1ステップで整理された諸問題のうち、主として教育に関する社会的、制度的事項について、資料や文献を参考にしながら考察を深める作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職 2 必 (商・経営)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、主自レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

- ・必要な資料を適宜配布する。
- ・この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	おお はま き く こ 大 浜 幾 久 子	教職 2 必 (禅・仏教・国文・英文)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわ だ みつ お 夫 川 田 三 夫	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- (1)子供の成長・発達の概要を理解する。
- (2)教育や学習の基本的な知識の学習をもとにして教育者としての基礎を作る。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①発達について、乳児期、②幼児期前期、③幼児期後期、④児童期前期、⑤児童期後期、⑥青年期前期、⑦青年期中期、⑧青年期後期、⑨人格の発達、⑩社会性の発達、⑪問題行動、⑫学習・教育心理学、⑬教育学・教育原理、⑭学校・教育をめぐる問題点、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点（100点満点）で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

教科書は特に指定しない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	うえ ぶら びさし 上 淵 寿	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、従来でいえば「教育心理学」と呼ばれていたものである。そのため、学校教育に関する問題や現象について理解し、そこにいかに心理学的知識をもって関わっていく必要があるのかを、理解する。

特に、現代の教育問題が何であるのかに受講者が直面すること、またそれに対しつい偏った見方を抱きがちであることを理解してもらうことを最優先にする。その上で、様々な身近な教育問題について、受講者なりの解決策を、心理学的な知識を利用しながら考えてもらうことを狙いとする。

したがって、講師からの一方的な講義は問題に焦点をあてたり、この内容の理解の導入を容易にするのにとどめて、受講者同士でグループによるディスカッションや資料調査などを中心に行ってもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 オリエンテーション (全体の概説)
- 2 教育心理学とは (学校心理学と教育心理学) グループ編成
- 3 問題を抱える教師1 - 子どもがわからない - (教師の教育観、学級崩壊)
- 4 問題をかかえる教師2 - 忙しさと向き合う - (教師のバーンアウトとその対策)
- 5 問題を抱える子ども1 (意欲の減退、他人との関わり、ひきこもり)
- 6 問題を抱える子ども2 (学習観や認知方略の指導等、学習相談)
- 7 みとりとまなざし (評価、学力の問題)
- 8 意思決定と判断のあやまり (教育活動の判断の偏り)
- 9 発達に応じた関わりをするには?

以上のような内容について講義をするが、それぞれの問題について、グループでの話し合いの時間を十分にとる。

履修上の留意点

単に受け身で講義を聴くような態度では、単位取得は難しいだろう。

当然だが、講義中の私語はマナー違反である。いつまでも平気で私語をするような学生には、即座に退室してもらう。

成績評価の方法

学期末に提出するレポートによる。具体的な評定の仕方については、初回の講義で述べる。

教 科 書

無藤隆・市川伸一 (編著) 『学校教育の心理学』 (学文社)

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

講義形式で行うが、ビデオ・OHP等を併用する。また、グループによるディスカッションや、資料調べなども行う。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学 (教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学 (教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	すみ 角 の ぜん 野 善 じ 司	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理) 経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。

講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の2つを中心テーマとして進めます。

- ①発達：人間の生涯にわたる発達について
- ②教授－学習：生徒の学習について、および学習に対する教授過程について

履修上の留意点

自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席し、主体的な態度で臨んでください。出席回数が一定基準に達しない場合には、単位を付与しません。

成績評価の方法

平常点(出席および課題の提出状況)2割、学期末テスト3割、学期末レポート5割の配点で、評価する予定です。

教科書

指定しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

子安増生ほか『ベーシック現代心理学6 教育心理学』(有斐閣)
この他、講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	お ぐら やす よし 小 倉 康 仁	教 職 2 必 (禪・仏教・国文・英米文) (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

ここ十年あまりの間に、コンピュータ関連技術のめざましい進歩と同時に、我々とコンピュータとの係わり合いの在り方が以前と比べて様変わりしてきている。かつてルーティンワークの省力化・効率化の手段として我々の社会に導入されたコンピュータは、今や個人の表現・創造活動や問題解決思考のツール(道具)として不可欠のものとなっている。しかもそれらの活動を行うための単なる道具の手段に止まるものではなく、我々がそれらの活動を通じてこの世界に参加していく(世界と相互作用する)際のメディア(媒介物・媒体)としての役割を果たしていると言える。とくに最近では、個人と個人の間を取り持ち人間のネットワークを支える「コミュニケーションのメディア、コラボレーション(協働作業)のメディアとしてのコンピュータ」という位置づけが重要視されるようになってきている。

このようなコンピュータの利用形態と社会的位置づけの変化を背景として、教育分野におけるコンピュータ活用形態も大幅に変化してきている。そこでこの授業のねらいは、次の三つとする。

1. 「メディアとしてのコンピュータ」という切り口で、教育分野におけるコンピュータの活用方法について、教育学(教育方法論)の視点から理論的に考察する。
2. 問題解決思考のツール(メディア)としてコンピュータを利用してみる。
3. コミュニケーションやコラボレーションのメディアとしてコンピュータを利用してみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせる授業を進める。講義部分の授業内容は、上述のねらい1.としてあげた事柄が主体となる。実習部分の授業内容は、上述のねらい2.と3.としてあげたものが相当し、具体的には以下の事項を予定している。(なお実習授業の進行速度は、パソコン初心者でも付いて来られるように配慮するつもりである。)

パソコン(Macintosh)の基本操作
表計算ソフト EXCEL によるデータ整理・集計・分析、およびシミュレーション
WWW ブラウザによるホームページ閲覧
インターネット(WWW)上での情報検索・収集
インターネット上での電子メールによるやりとり
コンピュータネットワーク上での協働作業体験

履修上の留意点

履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。また履修者は全員、必ず授業開始時点でパソコン自習室の利用者登録をすること(提出用の課題作成等のために必要になる)。

成績評価の方法

平常点(出席、学習態度、提出物など)と期末試験(ペーパーテスト)との総合点によって、成績評価を行なう。

教科書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

参考書等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

その他

授業で使用するパソコンは、Macintoshのみを用いる。
教室のパソコン(Mac)の台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育とメディア (前期)(後期)	いし ばし たつ や 石 橋 達 也	教 職 2 必 (簿・仏・英・文・理・史・社) (福・心・経・A・法・政・経)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育／学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法論の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な技法や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の問題点や注意点についても検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。
1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会への参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、まじめに出席することと積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

次のものを使用する予定です。
今栄国晴編著『新版 教育の情報化と認知科学 ― 教育の方法と技術の革新 ―』福村出版(1988) 定価：本体2,400円＋税

参考書等

参考文献や関連する資料などは、必要に応じてそのつど授業の中で紹介あるいは配布していく予定です。

その他

授業の中で、コンピュータを使用する実習の時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも興味があれば安心して出席できます。

教室のパソコン (Mac) の台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部(昼間)の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期) (後期)	しば ぎき じゅん じ 芝 崎 順 司	教 職 2 必 (種・仏教・国文・英米文・地理・歴史・社会) (福祉・心理・経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、マルチメディア・ネットワーク時代の学校教育・社会教育等教育活動の担い手として、さらには、生涯学習者として、必須と思われる各種のリテラシー（知識・技能・態度）を修得する目的や方法論について検討することを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 メディアの歴史を概観し、現状、および将来の展望について検討する。
- 2 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。
- 3 マルチメディア・ネットワークに対応する各種のリテラシーについて、主として、欧米の先行的事例を紹介し、かつ、検討する。
- 4 マルチメディア・ネットワークワークリテラシープログラムを具体的に体験し、自己の情報リテラシーを高めるとともに、その目的や方法論について検討する。

履修上の留意点

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起にならざるをえない内容も多く含む。授業への積極的参加を期待する。

成績評価の方法

出席重視。評価は小レポートと最終レポートを総合的に評価しておく。

教 科 書

授業中に紹介する

参 考 書 等

必要に応じて、授業中に紹介する

そ の 他

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を中心とする
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 (前 期)	かとう ゆきお 加藤 幸夫	教職 2・3 必 (禅・仏教・国文・英文文)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

道徳教育の問題は、単に学校教育だけの問題ではなく、子どもを取り巻く社会生活全体に係わる問題である。すなわち、時代や社会の変化の中で、人間（子ども）はいかに生きるべきかという課題と密接に関連している。それ故、道徳教育の研究においては、道徳性の原理的追究と学校教育における実際の側面を精確に把握することが常に求められる。

このような視点に立って、人間形成における道徳教育の位置づけを明確にし、且つ、道徳教育の歴史の変遷を概観しながら、現代における道徳教育の基本的課題を分析・考察することが本講義のねらいである。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 道徳および道徳教育の本質
- II 現代社会と道徳教育
- III 戦前・戦後における道徳教育
- IV 道徳性の発達と道徳教育
- V 学習指導要領と道徳教育
- VI 道徳の時間における道徳教育
- VII 道徳教育の評価
- VIII 道徳教育の課題と展望

履修上の留意点

これまで各自が受けた道徳教育を思い起こし、整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教 科 書

中野日直明・小川一郎編『新しい道徳教育』（酒井書店・育英堂）1,995円

参 考 書 等

岩村俊郎・志村欣一・他編『資料 道徳教育の研究』（北樹出版）

そ の 他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
道徳教育の研究 (前期)	小 川 一 郎 <small>お がわ いち ろう</small>	教職2・3必 <small>(地理・歴史・社会・福祉・心理・体育)</small>	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

道徳教育は、人格の完成を目指す教育の根幹をなすものである。道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものであるが、小・中学校には、その中核として「道徳の時間」が設置され、学級担任が担当することになっている。

この「道徳の時間」を指導することができることを目指して、授業案を作成したり、模擬授業など実施し、実践的指導力を身につけさせたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①道徳教育の目的と意義
- ②戦前の道徳教育の特色
- ③戦後の道徳教育の特色、道徳の時間の設置の意味
- ④学習指導要領と道徳教育
- ⑤道徳性と道徳的実践力
- ⑥道徳の時間の内容と方法
- ⑦学習指導案の作成
- ⑧模擬授業の実施
- ⑨道徳の授業展開の問題点
- ⑩道徳教育と教師の役割

履修上の留意点

単なる知識の習得でなく、実践的指導力をつけることを目指しているので、授業に出席して、指導力を身につけるようにする。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教 科 書

小川一郎・中野日直明編著『新しい道徳教育』（酒井書店）2,000円

参 考 書 等

小川一郎著『在り方生き方指導の理論と実践』（清水書院）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
道徳教育の研究 (前期)	つるまき 鶴巻 たけし 武	教職2・3必 (経A・商・法A・政治)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の学校教育では、一人ひとりの生徒が夢や目標をもち、自らの人生や社会を切り開くことのできる豊かでたくましい心を育てるための道徳教育の一層の充実発展が求められている。この時間では、教育課程の一領域として位置づけられている「道徳」の教育的意義や目標及び内容、方法等についての研究を行う。また、新学習指導要領に示された改善の趣旨に基づいて教師としての実践的な指導力を身につけるため道徳の時間の指導計画（道徳の学習指導案）について、実際に立案し、具体的な指導の方法などを研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

①今求められる心の教育 ②道徳教育の目標と道徳の時間の役割 ③道徳の時間の指導内容
④生徒の道徳性をどうとらえるか ⑤道徳教育と学級経営の充実 ⑥生命を尊重する心を育てる指導の在り方 ⑦社会のルールを守る心を育てる指導の在り方 ⑧道徳の時間の学習指導案の書き方 ⑨道徳の時間の資料と活用の工夫 ⑩道徳の時間の資料分析の仕方 ⑪道徳の学習指導案を書く ⑫道徳と体験的な活動 ⑬教師の指導技術をどう高めるか

履修上の留意点

文献に基づく道徳教育に関する研究だけでなく、道徳の具体的な指導の内容や方法について理解し、実際に指導できる能力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部省『中学校学習指導要領解説－道徳編－』大蔵省印刷局 260円

参考書等

七條正典編著『改訂 中学校学習指導要領の展開』明治図書 1,480円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した小レポートを提出する等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 (後 期)	かとう ゆきお 加 藤 幸 夫	教職 2・3 必 (禅・仏教・国文・英米文)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

登校拒否やいじめ・非行など学校の内外を取り巻く諸問題が社会的問題となりつつある今日、児童・生徒の自主的・実践的態度を育成することを主なねらいとする特別活動が、現代の学校教育において果たすべき役割は誠に重要である。

教育現場において、これまで開発・展開されてきた特別活動の指導原理及びその方法について分析かつ考察し、特別活動の現代的意義と課題を明確にすることが本講の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|----------------|------------------|
| I 学校教育の構造と特別活動 | VI 児童会・生徒会活動の指導 |
| II 特別活動の歴史の変遷 | VII クラブ活動・部活動の指導 |
| III 特別活動の特質と内容 | VIII 学校行事の意義と課題 |
| IV 学級活動 | IX 特別活動の評価 |
| V ホームルーム活動 | X 特別活動の課題と展望 |

履修上の留意点

小・中・高校時代に受けた特別活動の内容を整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教 科 書

柴田義松 編『特別活動』（教職課程講座・第6巻）ぎょうせい

参 考 書 等

中野目直明・小川一郎 編『現代の特別活動』酒井書店・育英堂

そ の 他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動 (後期)	小川 一郎	教職2・3必 (物理・歴史・社会・保健・心理・情報)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

特別活動が人間形成に果たす役割は大きい。特に、青少年の社会性の欠如が言われている現代では、望ましい集団活動を通じて人間形成を図る特別活動の重要性は増大している。
すべての教員が学級活動（ホームルーム活動）を中心に特別活動を指導することになるので、その実践的指導力をつけることがねらいとなる。

講義の内容・
授業スケジュール

①特別活動の意義・目的 ②特別活動の方法的特質 ③特別活動の歴史の変遷 ④特別活動の内容 ⑤特別活動の指導計画と実践 ⑥特別活動と新しい学力観 ⑦特別活動と総合的な学習の時間 ⑧特別活動と生徒指導 ⑨特別活動と道德教育 ⑩特別活動と進路指導 ⑪特別活動と地域との連携 ⑫特別活動と人間形成

履修上の留意点

単なる知識の記憶でなく、実践的指導力を身につけることをねらいとしているので、出席して、意見・疑問等を出すことを希望する。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教科書

小川一郎、中野目直明編著『現代の特別活動』（酒井書店）2,000円

参考書等

小川一郎著『在り方生き方指導の理論と実践』（清水書院）1,500円

その他

講義を主に、随時討議などを行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 (後 期)	つる 鶴 まき 巻 たけし 武	教職 2・3 必 (経A・商・法A・政治)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現在、教師には生徒の心身の健全な発達を図り、当面する課題に適切な指導や援助をする実践的な指導力が求められている。この時間で学ぶ「特別活動」は、集団活動を通じた教育活動により、集団や社会の一員としての自覚を深め、生徒の個性の伸張と調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、学級や学校生活の基盤の形成に重要な役割を果たしている。この「特別活動」の教育的意義や目標、内容及び方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。中でも、実践的な面を重視し特別活動の内容や活動内容の取り扱い方、指導方法などについての具体的な研究を通して、教師としての実践的な指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

①生きる力の育成と特別活動の役割 ②特別活動の目標と基本的な性格 ③学級活動の内容相互の関連 ④学級活動の指導と適応指導 ⑤学級活動の指導とガイダンスの機能の充実 ⑥生徒会活動の特質とその活性化 ⑦学校行事の特質と指導、家庭・地域との連携の推進 ⑧生徒指導の充実と教育相談 ⑨特別活動と学級経営の充実 ⑩特別活動と総合的な学習との関連 ⑪特別活動と体験活動 ⑫学級崩壊の現象とその対応 ⑬特別活動と特色ある学校づくり

履修上の留意点

文献による理論的な研究を深めるとともに、特に特別活動の具体的な実践にかかわる指導内容、指導方法等についての研究を深め、教師としての識見を高め、実践的な指導力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し評価する。

教科書

文部省『中学校学習指導要領 解説－特別活動編－』（ぎょうせい）70円

参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『改訂中学校学習指導要領の展開－特別活動編－』（明治図書）1,680円

その他

講義、毎時間の内容に則した小レポートを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こ 小 宮 山 み やま かなめ 要	教職 2・3 必 (禅・仏教・国文・英文)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現在の学校現場には、「いじめ」「不登校」「校内暴力」「学級崩壊」「非行」等さまざまな問題が発生している。本講義ではこれらの問題を正しく理解し、適切に対応できる教師としての基礎的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では生徒のいじめ問題に焦点を当てながら、生徒理解と生徒指導の方法を下記のような流れに従って具体的に学習する。

- 1 生徒指導の意義と課題
- 2 生徒指導の原理
- 3 生徒の問題行動の実態
- 4 行動理解のための基礎理論・心の法則
- 5 生徒の問題行動の発現メカニズムとその理解
- 6 生徒の問題行動への対応
- 7 学校・家庭・関係機関との連携

履修上の留意点

履修する学生は、教職志望者であることを念頭に置き、授業に積極的に参加することを希望する。

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席等をもとに総合的に判断する。

教 科 書

小宮山要『間違いだらけのいじめ指導』(明治図書) 1,760円

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こく がん きり こ 国 眼 眞 理 子	教職2・3必 国・英・数・理・社・心・理	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

生徒理解や、生徒の心の発達を促すうえで役立つ基礎的な視点を学ぶ

講義の内容・ 授業スケジュール

前半は「青年期」理解を深めるとともに、心理学の基礎的な視点を習得する

1. 「青年期」と、その心理的な課題（アイデンティティ形成）
2. 自己のアイデンティティを探る
3. 自己の発達と対人関係（親子関係、友人関係、教師生徒の関係他）

後半は、前半で学んだ基礎知識をもとに、進路指導や教師と生徒間のコミュニケーションのあり方を考える

5. 進路選択と職業的アイデンティティの形成
6. サポーターとしての教師の役割
7. コミュニケーション（非言語的なコミュニケーション）

成績評価の方法

指定図書の中から、2冊を選び、論題に沿ったレポートを提出
講義終了時にレポートもしくは試験を実施（受講者数による）
レポート点各30点（60%）、定期試験30%、出席点10%で成績を認定する
但し、レポート提出、定期試験受験を成績認定の条件とし、未提出者および試験を受験しなかった者は成績を認定しない。

教 科 書

今年度は特に使用しない。適宜授業中に資料を配布

参 考 書 等

- ① 河合隼雄『カウンセリングを考える（上）』（創元社）1995
- ② 菅佐和子『思春期女性の心理療法』（創元社）1988
- ③ 清水将之『思春期のこころ』（日本放送出版会）1996

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	さ とう なお 佐 藤 尚 人	教職2・3必 (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育において、教科の学習や集団生活への参加が、一人ひとりの児童生徒でスムーズにい
くよう指導することを教師は求められる。しかしながら、子どもは決して等質・均一存在では
ない。画一化された教師の指導方法や対応では日々起こりうる種々の問題の解決がうまくいか
ない、あるいはむしろ問題を引き起こしてしまうことすらあるであろう。

本授業では、昨今教育問題として取り上げられる機会の多い「いじめ」「不登校」「非行」など
について、そのような問題行動を示す子どものこころのありようの理解や対応の仕方、さらには
問題行動を未然に防ぐための教師としての心構えなどを考えてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 X はじめに 学校教育の歴史と目的 教師のなすべきこと
- 2 X 子どもの理解 問題行動について医学的・工学的な理解と教育的な理解
- 3 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その1)
- 4 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その2)
- 5 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その3)
- 6 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その4)
- 7 X さまざまな問題行動とその理解「いじめ」
- 8 X さまざまな問題行動とその理解「不登校」
- 9 X さまざまな問題行動とその理解「非行」
- 10 X こころの病・不応「神経症」「精神病」
- 11 X 問題行動への対応の方法「学習理論にもとづくもの」
- 12 X 問題行動への対応の方法「心理療法にもとづくもの」
- 13 X まとめ 生活指導において大切なこと

履修上の留意点

原則として出席はとらないが単位を取得することを希望する学生は毎回出席すること。さらに、
授業中に質問や意見などを積極的に表現することが望ましい。

参加学生に対してはすべて公平にあつかう。(さまざまな事情があっても特別扱いはいはしない。)

成績評価の方法

原則として定期的筆記試験(ノート等の持ち込みは一切不可)の結果により成績を評価する。
ただし、授業中の発言(質問・意見)や宿題等の課題の提出を試験の成績にプラスして評価する。

教科書

特に使用しない。講義ノートをもとに授業を進めてゆく。

参考書等

大貫・佐々木編著『心の健康と適応』(福村出版) 2,200円

その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	えん とう つかさ 遠 藤 司	教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒(他者)の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師-生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験を予定している。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	かわ ほん せい し 川 原 誠 司	教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

生徒指導に関して必要なことは何かということ、[生徒指導という言葉の響きと現実との差][教師としてのあり方と現在の自分との差][生徒指導に関しての具体的理論]といった観点から検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容やスケジュールについては、受講者の数や受講者の動機などによって変わりますので、その状況を把握した上で、受講生に伝えます。

履修上の留意点

どのような学生がどの程度の人数受講するののかということ、私は最初の講義時間に把握したいと考えていますので、受講を希望する学生はそのつもりで行動してください。

成績評価の方法

受講人数や受講態度によって変わりますので、講義を進めていく中で受講生に伝えます。

教科書

講義を進めていく中で、必要なものを適宜紹介していきますので、その際に自ら購入していくようにしてください。

その他

授業の一部では、生徒指導・学級経営に関する英語の文献をグループで要約して発表してもらうことを予定しています。

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 科 教 育 法	こ 小 やま 山 かづ 一 のり 乘	教 職 3 必 (禅・仏教)	4

講義のねらい

講義と模擬授業とで構成する。

教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育職員免許法を概観する。

特に、各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。

我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。

その上で、「宗教の定義集」への着目をし、「『宗教に関する寛容の態度』の涵養」への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。

宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。適宜、童歌なども、導入し、幼稚園教育から高等学校教育までの接続も考察に含めたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

『仏教概論——分かりやすい仏教——』をテキストにして、原則として模擬授業(50分)を課します。教材研究の実際、学習指導要領、学習指導案の基礎的・基本的事項を講義する。その上で、具体的に、学習指導案の様式と教育観との関係が思量でき、主体的に選択した様式に基づいて実際に学習指導案を作成してもらう。

模擬授業は、その様子をビデオに収録し、再生して、爾後の授業分析の鏡利用とし、自己分析に供する。

履修上の留意点

学年、他教科との関連を常に勘案すること。社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

模擬授業、レポート、出席点により評価する。特に出席を尊重する。

教 科 書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』(宣協社)2,940円

『仏教概論——分かりやすい仏教——』(曹洞宗宗務庁)800円

小中高各『学習指導要領』各 230円 250円 370円

参 考 書 等

井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版)3,900円

『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版)1985年

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道 どこが違うか』(大法輪閣)1,600円

『教育小六法』(学陽書房)2,200円

その他適宜紹介する。

そ の 他

講義を基調とするが、実際には、講義と模擬授業(演習)を折衷した形態となろう。定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。

プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語科教育法	かみ や みち のり 神 谷 道 倫	教職3必 (国 文)	4

講義のねらい

中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、さらに各領域・教材に応じたそれぞれの指導方法等について概観したのち、実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、主に模擬授業の形式で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

重点的に以下の三点を中心に進める。

- ① 国語科教育の現況の確認
- ② 国語科教育の方法、実践等について先人の試みの意義を探る。
- ③ 教育実践の準備

以上のうち①②については、教科書・プリント等を用いて講義形式で行う。③については、教材研究の実際、指導案の作成など課題形式のもの提出と、実際の教材による模擬授業の形式(グループ分けにより全員が何らかの形で必ず参加)で行う。基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点

科目の性質上、出席は当然重視する。(なお、中学校・高等学校時代使用の国語の教科書・副読本があれば、手元に整理して必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。)

成績評価の方法

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加(出席)の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書

全国大学国語教育学会編 新中学校・高等学校『国語科教育研究』(学芸図書株式会社)
1,300円+消費税

参考書等

国語科教育法に関するもの、特に後半使用する教材に関するもの等少なからずあるが、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道科教育法	な す たか よし 那 須 隆 吉	教職3必 (国 文)	4

講義のねらい

長い歴史を持つ書道の特質を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出により評価する。

教科書

高等学校芸術科書道指導資料 文部省編著『指導計画の作成と学習指導の工夫』(教育図書)
990円

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語科教育法	あらいよしお雄 荒井良雄	教職3必 (英米文)	4

講義のねらい

英語科教育法の理論と実践を、教授法の実際面を重視しつつ、授業計画、授業の展開、評価などを中心に実習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 主な英語教授法
2. 言語材料と指導
3. 「聞き方」の指導法
4. 「話し方」の指導法
5. 「読み方」の指導法
6. 「書き方」の指導法
7. 指導案のあり方
8. 指導形態の研究
9. 評価とテストの方法
10. 視聴覚器具の利用法

履修上の留意点

中学校や高等学校の教壇に立つて教える立場になることを常に念頭において、英検準1級、TOEFL600点前後を取得していることが望ましい。中学生や高校生で2級はもとより準1級取得者もいることを忘れないように。

成績評価の方法

平常点を重視し、前期、後期、学年末試験の成績を総合して判定する。

教科書

塩澤利雄ほか著『新英語科教育の展開』（英潮社）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅰ (後期)	くぼた たけし 久保田 武	教職3必	2

講義のねらい

中学校社会科、高校地理歴史科・公民科を教えるにあたって必要な基礎的知識・技法の修得と暗記科目にならない教授内容構成と教授法の考察。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回教授者による社会科各分野（地理、歴史、公民）の授業事例を通じて、生徒の興味関心と学力を増す教授内容構成とその指導法を示す。
講義（教授者による授業例）と関連事項の質疑応答・実習・課題作成等。学生の中から発表者を選んで模擬授業の機会を1回設ける。

履修上の留意点

授業の終りに毎回授業内容に関連して、まとめ、コメント、実習内容等の提出を求め出欠調査を兼ねる。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価。出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の際そのつど紹介する。但し関連する教科書、地図帳、年表、資料、文部省学習指導要領等はこの際揃えた方がよい。特に地図帳、年表、統計資料は初回から持参した方がよい。

その他

毎回授業時間の前半は講義。後半に視聴覚学習、作業、実習課題作成を入れるのを原則とする。OHP、スライド、ビデオ、写真等の視聴覚教材を多用し、講義内容の理解と機材利用法習得を図る。
地歴教育法Ⅰとの併習が基礎的知識修得のために望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	くぼ た 武 久保田 武	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

高校地歴科を教えるにあたって必要な基礎的知識・技法の修得
教科の目標（存在理由）と暗記科目にならない教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・
授業スケジュール

- ◆講義の内容
毎回教授者による地理および歴史の授業事例を通じて生徒の興味関心と学力を増す教授内容構成とその指導法を示す。社会科教育法と合わせて内容を一本化する。
生徒の学力評価法、生徒による教授者評価を利用する自己評価法
教育現場での体験談から具体的な学習指導法へのヒントを示す。
- ◆授業スケジュール
講義（教授者による授業例）と、関連事項の質疑・実習・課題作成等
学生の中から発表者を選んで模擬授業の機会を1回設ける。

履修上の留意点

授業の終わりに毎回授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求める（出欠調査に代える）。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）と実績（発表等）等を総合して評価。出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の時にそのつど紹介する。但し、地理、歴史、社会科教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料、文部省学習指導要領（地歴編、社会編）等は、この際揃えたほうがよい。とりあえず地図帳、年表と統計資料は初回から持参した方がよい。

その他

毎授業時間の前半は講義、後半は視聴覚学習、質疑、作業、実習を原則とする。
OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を多用し講義内容の理解と機材の利用法を示す。
社会科教育法Ⅰと併習することが基礎的知識習得のために望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅰ (後期)	まくら い あき ひさ 桜井明久	教職3必	2

講義のねらい

中学校社会科の方法について、地理分野を例に概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

おおよその内容は、以下の通りである。
④指導案の作成 ⑤模擬授業 ⑥授業の研究と方法 ⑦地理教師の仕事

履修上の留意点

個人またはグループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については厳しく取り扱う。担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。

中学校社会科のうち、地理分野を中心題材とするので注意すること。

なお、授業計画上、前期の地理歴史科教育法Ⅰ(地理A、地理Bを中心課題とする)とセットとして授業計画を組むので注意すること。後期のみ受講するものは、後期の最初に模擬授業の準備のための宿題を課すので講義の第1日目には必ず出席のこと。それが不可能な場合には、事前に桜井まで申し出ること。

成績評価の方法

出欠、授業・討論への参加、模擬授業の成果など 70点
レポート 10点 期末試験 20点

教科書

桜井明久(1999)『地理教育学入門』(古今書院) ¥3,800。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	まくら い あき ひさ 桜井明久	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理A、Bを概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

おおよその内容は、以下の通りである。
①地理教育の目標 ②マイクロティーチング ③教授方法上の工夫
④指導案の作成

履修上の留意点

各自マイクロティーチングを試みるなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については、厳重に注意すること。担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。なお、地理歴史科の科目・地理A、Bを中心題材とするので注意すること。

なお、授業計画上、後期の中学校社会科教育法Ⅰとはセットとして授業を組むつもりであるので注意すること。

成績評価の方法

出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチングなど 70点
レポート 10点 期末試験 20点

教科書

桜井明久(1999)『地理教育学入門』古今書院、¥3,800。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法 I (後 期)	ふじ き まさ くに 藤 木 正 国	教 職 3 必	2

講義のねらい

中学校社会科(特に歴史的分野)の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①明治以降日本教育制度の変遷
- ②社会科成立の事情と学習指導要領の変遷
- ③学習指導計画と指導案の作成
- ④グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員をまごし努力すること。安易な単位取得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況、提出物、定期考査などを総合し評価する。

参 考 書 等

文部省学習指導要領(中学校)、教科書(必要に応じて授業時に紹介する。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理歴史科教育法 I (前 期)	ふじ き まさ くに 藤 木 正 国	教 職 3 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

高等学校地歴科(特に日本史)の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①明治以降日本教育制度の変遷
- ②学習指導要領の変遷と地歴科成立のいきさつ
- ③学習指導計画と指導案の作成
- ④グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員をまごし努力すること。安易な単位取得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況、提出物、定期考査などを総合し評価する。

教 科 書

文部省学習指導要領(高等学校)、教科書(必要に応じて授業時に紹介する。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	はし づめ さとし 橋 爪 敏	教職3必	2

講義のねらい

この授業は、中学校社会科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、社会科教育法に関する文献購読(下記テキスト)を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、社会科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教科書

社会認識教育学会編『社会科教育学ハンドブック』明治図書

参考書等

適宜、授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公民科教育法Ⅰ (前期)	はし づめ さとし 橋 爪 敏	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業は、高等学校公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献購読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、公民科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教科書

使用するが、未定。

参考書等

適宜、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	や しき ただ みつ 谷 敷 正 光	教職3必	2

講義のねらい

本講は中学校社会科で教育実習を行う学生や社会科教師を目指す学生に、「教育とは」「社会科教育とは何か」といった社会科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで社会科教師としての資質・力量形成を目標に行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立
3. 中学校社会科学習指導要領の変遷
4. 中学校の教育課程と社会科
5. 中学校社会科の学習指導計画
6. 中学校社会科学習指導案の意義と作成
7. ビデオによる社会科教師の授業研究
8. 中学校社会科の目標・内容・取り扱い
9. 平成10年12月告示の中学校学習指導要領と社会科
10. 教育評価
11. 社会科教育実習の意義
12. 社会科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導します。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚室に変更することがあります。

成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。

教 科 書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』(梓出版)

参 考 書 等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ① 大田堯『教育とは何か』(岩波新書)
- ② 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)
- ③ 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)
- ④ 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)
- ⑤ 浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)
- ⑥ 中学校社会科(地理的分野、歴史的分野、公民的分野)の教科書
- ⑦ 文部省『中学校学習指導要領』、文部省『中学校指導書』(大阪書籍)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 民 科 教 育 法 I (前 期)	や 谷 し 敷 た だ み つ 敷 正 光	教 職 3 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで公民科教師としての資質・力量形成を行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立
3. 高等学校社会科（公民科）学習指導要領の変遷
4. 高等学校の教育課程と公民科
5. 高等学校公民科の学習指導計画
6. 高等学校公民科学習指導案の意義と作成
7. 4年生による模範授業
8. 模範授業を通じての高等学校公民科の授業実践研究
9. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱い
10. 平成11年3月告示の高等学校学習指導要領と公民科
11. 教育評価
12. 公民科教師論
13. 公民科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。

教 科 書

大森・谷敷共著『社会化教育研究』（粹出版）

参 考 書 等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田堯『教育とは何か』（岩波新書）
- ②槐一男『社会科教材発掘の技術』（日本書籍）
- ③谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』（黎明書房）
- ④谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』（明治図書）
- ⑤福山憲市『資料提示の技術』（明治図書）
- ⑥高等学校社会科（現代社会、政治経済、倫理）の教科書
- ⑦文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』（実教出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	かみ じょう すえ お 上 條 末 夫	教職3必	2

講義のねらい

本年度から、従来の社会科と公民科の授業が分離され、それぞれ半期ずつの授業が行われる。社会科には中学校の社会に関する科目がすべて含まれるので、その範囲は非常に広く、かつ多岐にわたる。社会科は社会人として必要な知識と社会的適応力を育成することが目的である。そのため、教える側にそれ相応の知識と方法論が必要になる。それらについての基本的事項について講義するのが、本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 学校教育における社会科の位置づけ
2. 発達心理学的にみた中学生
 - (1) 社会化と家庭および学校の責任
 - (2) 発達に応じた教育のあり方
3. 民主主義教育のあり方
 - (1) 自由と平等の意味と両者の矛盾
 - (2) 多数決の原理と集団意思の決定方法
 - (3) 権利と義務のバランス
 - (4) 参加と責任のあり方
4. 歴史教育のあり方
 - (1) 「温故知新」とその評価
 - (2) 実証主義と客観性
5. 地理教育のあり方
 - (1) 地方文化とその特性比較
 - (2) 国際的基礎知識としての地理学
6. 表現と伝達の心理学
 - (1) 言語の性格と表現方法
 - (2) 文字による表現とリテラシー
 - (3) 数字の魔術性と図表の扱い方
 - (4) 単純化と拡大化の効果

履修上の留意点

必ず出席すること。

成績評価の方法

出席点と平常点によって評価する。

教科書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 民 科 教 育 法 I (前 期)	かみ じょう すえ お 上 條 末 夫	教 職 3 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本年度から、従来の社会科と公民科の授業が分離され、それぞれ半期ずつの授業が行われる。公民科は高等学校の社会に関する科目のうちから、地理と歴史の科目を除いたものが、これに該当する。したがって、政治・経済・社会・倫理などにわたった、かなり専門的な知識を必要とする。その基礎的な知識と教育の方法論について講義することが、本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 高校における公民科の位置づけ
2. 政治教育のあり方
 - (1) 政治的社会化の過程における学校の役割
 - (2) マス・メディアによる報道の影響とその対応
 - (3) 国民主権と国民の政治的責任の白覚
 - (4) 日本と諸外国との比較
3. 経済教育のあり方
 - (1) 資本主義と民主主義の関係
 - (2) 社会主義経済と共産主義経済の相違
 - (3) 市場経済と競争の原理
 - (4) 経済水準と社会の安定度との関係
4. 社会教育のあり方
 - (1) 少子化と高齢化時代の福祉政策
 - (2) 労働の流動化とグローバル経済
 - (3) 環境問題と科学技術の発達
 - (4) 情報化とモバイル時代の社会問題
5. 双方向的教育のあり方
 - (1) コンピュータ・リテラシーの重要性
 - (2) 受信と発信（創造と表現）の必要性
 - (3) アジェンダ形式と討論形式の授業
 - (4) 時事問題と映像教育のあり方

履修上の留意点

必ず出席すること。

成績評価の方法

出席点と平常点によって評価する。

教 科 書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 科 教 育 法	谷 敷 正 光	教 職 3 必 (経 A・商・経営)	4

※経 B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「専門教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にもなつてめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「専門学科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従つて、この講義のねらいは、「専門教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 日本経済の発展と専門教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 専門教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 商業科学習指導案の作成
9. ビデオによる商業科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科、授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 商業科教育実習の意義
15. 商業科教師論
16. 商業科教師と教員採用試験
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価する。
- ② 定期試験、追再試は実施せず。

教 科 書

岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

参 考 書 等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田 堯『教育とは何か』(岩波新書)
- ②産経新聞社『学校ってなんだろう』(新潮社)
- ③毎日新聞社『教育改革 現場の試み』(毎日新聞社)
- ④岩下 修『指導案づくりの技術』(明治図書)
- ⑤新牧賢三郎『やる気を引き出す技術』(明治図書)
- ⑥高等学校商業科の教科書(『流通経済』など)
- ⑦文部省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(大日本図書)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業科教育法	まえ だ ぬき かず 前 田 幸 一	教 職 3 必 (経 A・商)	4

※経 B の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- 基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。
- ① 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。
 - ② 「中学校学習指導要領」の技術・家庭科について、その新旧の違い、変化などを比較検討していく。
 - ③ 職業教育について考えていく。
- ①、②は前期授業、③は後期授業で行う予定です。

履修上の留意点

自分や周りの人の家庭や職業について改めて考えてきてほしい。

成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点かレポートで成績評価をします。再試験はしません。

教科書

『中学校学習指導要領』（文部省平成元年3月）。他については授業の際指示します。

参考書等

中学校で使用していた『技術・家庭』の教科書など。

そ の 他

授業を受ける人は少人数なので、ゼミ形式で授業を進めていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	とよ た ちよ こ 豊 田 千 代 子	教職4必(簿・仏教・社会・福祉・心理)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生教職4必(簿・仏教・社会・福祉・心理)	5

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習を充実させるための準備を行なうことと、実習をとおしてみえてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 事前指導 — ・実習の心がまえ
・生徒指導について
・教科指導について
・指導案作成
・模擬授業
- 訪問指導 — ・研究授業訪問指導
- 事後指導 — ・授業実習の検討

成績評価の方法

実習ノート、実習校からの評価、授業での実習報告、レポート。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜指示する。

そ の 他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	さかもと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職4必(国文・歴史・法A・政治・経営)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(国文・歴史・法A・政治・経営)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくすることよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、デスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か-どうあるべきか-について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント(感想)、④年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。なお、①~④について重視する場合は、全て同グレードに考えている。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円

参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円

西村絢子他編『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教職4必(英米文)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(英米文)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。

- 教育実習の意義と心がまえ
- 学習指導について
- 生徒指導について
- 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。

教科書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	きたむらみつこ 北村三子	教職4必(地理・経A・商)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(地理・経A・商)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。教生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、その実習のための準備と、実習後その体験を他の人々と共有し、深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、講義の内容・授業のスケジュールで述べるような様々なことを試みたい。また、実習後は、教える立場から新たに見えてきた、学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を、考え合いたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習の準備としては、全般的な注意、ビデオによる実習の概要把握、学習指導案の作成に関する指導、模擬授業などを行なう。実習後は、実習体験を語り合い、その中から、後期に検討すべきテーマを考えていく。夏休み明けには、それにそった資料を用意し、討議を中心とした授業を進める。具体的内容は、話し合いの上で決めたいが、今まで扱われたテーマは、いじめや体罰といった学校内での暴力、不登校、若者の文化や人間関係に関連するものなど、多岐にわたる。

履修上の留意点

実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。教場を変更する場合がありますので注意すること。

成績評価の方法

実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテスト。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	いとうしげき 伊藤茂樹	教職4必(歴史)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(歴史)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それを取りまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関しての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献講読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書・参考書等

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

(2) 教職に関する科目（選択）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育関係法規	ひろさわあきら 広 沢 明	教職2選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等（民族・性・障害）
3. 義務教育
4. 教育の中立性（政治・宗教）
5. 教育行政
6. 懲戒

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教科書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育評価	おおはまきくこ 大 浜 幾 久 子	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、教育心理学の研究手法（実験・観察・調査・テスト）の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じパソコンも活用していく。

履修上の留意点

ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。パソコンに関しては、まったくの初心者でも可。

成績評価の方法

平常点による。

参考書等

資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 哲 学	きた 村 三 子 北 村 三 子	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、近代社会の矛盾が様々な形で人間の生活を脅かしており、その中で、かつての人々が当然のこととしてあてにできた子育ての社会的、自然的基盤も揺るがされている。この混迷の時代に、私たちはどのようなありかたに向けて、またいかにして、次の世代を育み、支えてゆくことができるのだろうか。この授業では、生命とは何か、また、生命的な知とは何かを学ぶことを通して、そうしたことを考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような文献を検討していく。

- ・G・バイトソン『精神と自然』思索社
- ・M・ボラニー『暗黙知の次元 言語から非言語へ』紀伊國屋書店
- ・佐々木正人『アフォーダンス——新しい認知の理論』岩波書店
- ・清水博『生命知としての場の理論』中公新書

文献とその進め方は、受講者と相談の上、最終的に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 情 報 学	お ぐら やす よし 小 倉 康 仁	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- この授業のねらいは、次の三つである。
1. 我々の社会におけるコンピュータの役割・位置づけの歴史の変遷について概観し、コンピュータと我々の社会との係わり合いの在り方について考察する。
 2. 教育分野でのコンピュータ利用方法・形態の変化について教育学の視点から理論的に考察し、コンピュータの教育的活用とは何かを探る。
 3. 普遍性のあるソフトウェアの操作実習を通して、教育現場で必要とされる実際的なコンピュータ（パソコン）活用能力とセンスを育成する。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせる授業を進める。前期の授業内容としては、以下のものを予定している。

コンピュータの基礎知識（講義）、情報理論の基礎知識（講義）、パソコンの基本操作（実習）、コンピュータの社会的役割の変遷（講義）、ワープロソフトの基本操作（実習）、表計算ソフトの基本操作（実習）、インターネットの基礎知識（講義）、初歩的なネットサーフィン（実習）

後期の授業内容としては、以下のものを予定している。

教育分野でのコンピュータ利用形態の分類・整理（講義）、コンピュータの教育的活用とは？（講義）、教育用ソフトウェアの選択・活用方法について（講義と実習）、コンピュータネットワーク（LAN、パソコン通信、インターネットなど）と教育（講義）、インターネット（WWW）上での情報検索の方法（実習）、HTMLによるホームページ作成方法（実習）、画像データの加工処理方法（実習）

履修上の留意点

パソコンに初めて触れるという初心者も歓迎する。履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。また履修者は全員、必ず授業開始時点でパソコン自習室の利用者登録をすること（提出用の課題作成等のために必要になる）。

成績評価の方法

平常点（出欠、学習態度）、小テスト（ペーパーテスト）、提出物（レポート、課題作品）の総合点によって成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

参 考 書 等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

そ の 他

授業で使用するパソコンは Macintosh のみを用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 臨 床 心 理 学	む た たか お 牟 田 隆 郎	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育現場並びに教育をとりまく諸状況において生じている青少年の問題（教師、学校の問題も含む）の、臨床心理学的観点からの考察を施す。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに、人間事象を見つめる基本的視点について講義する。次いで、リアルタイムに今現在教育並びにその周辺に生じている種々の出来事を、新聞・雑誌・書籍等の媒体をテキストとし、その「人間心理」的側面の解説を試みる。

履修上の留意点

知識伝達型の講義ではなく、種々生起している事柄を「何故そうなのか」と共に考え、そしてまたそれらが、実は自ら自身にも深く関わるものとして考察する態度をもつことを期待したい。

成績評価の方法

出席点を基本とする。

教 科 書

特定の教科書・参考書は使用しない。必要とあらばその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 社 会 学	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は、人と人との関係を基本とする多様で複雑な社会的関係の組み合わせのなかで行われている。教育社会学は、人間の成長と教育をめぐって生ずる社会的関係について研究し、望ましい人間形成をめざして、その関係の改善、充実をめざす学問である。講義は、教育に関する具体的な事例を検討することにより、教育をめぐって形成される社会的関係がどのようなものであるかを明らかにし、望ましい教育のためにどのように社会的関係を整え、充実させたらよいかという課題に対して示唆を与えることをねらいとしている。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、次の四つの領域に分けて行われる。

(1)社会的変化のなかの教育問題と子供（4～5月）＝①教育問題の発生と近代社会②現代社会における教師と児童生徒間の不適合③現代における社会的環境の変化と子供の発達をめぐる問題④市場化と情報化のなかの文化と教育⑤社会性不全症候群の問題と教師の悩み⑥社会性と学力低下の問題。

(2)人間の発達と集団（6～7月）＝①文化的共同存在としての人間と社会化の重要性②集団の教育力と人間形成③家族の性質と教育機能④家族構成の変化と家庭教育の危機。

(3)教育の社会的条件（9～11月）＝①社会システムとしての教育の構造と機能②政治のインパクトと教育③現代国家におけるナショナリズムと教育④教育の条件としての経済⑤経済成長と教育－戦後日本の事例を中心に⑥地域社会と教育⑦人口構造と教育⑧現代社会のイデオロギーと教育。

(4)社会としての学校（12～1月）＝①学校化された社会②社会としての学校の機能と構造③学校と人間のライフサイクル④競争社会としての学校－学校選択⑤学校改革の動向。

成績評価の方法

定期試験の成績による。

教科書・ 参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 史	やまもととしこ 山本 敏子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の私たちに自明な〈教育〉というものは、西洋近代の産物である。日本において、〈教育〉なるものの観念や関係、制度は、かつての人間形成のあり方の何を解体しつつ、いつどのように創出されてきたものなのか。そこには、いかなる矛盾や困難が内在していたのか。こうした問題を、人間形成の歴史という長期の時間の流れの中で考察し、近現代日本の教育および教育学を相対化する視座や方法を培っていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の近世から近代への教育史実を中心に、取り上げたい主なトピックスは以下の通りである。前期は講義中心に授業を進め、後期はゼミ形式で文献を読む予定。

- ①教育基礎論としての教育史の方法と課題
- ②〈教育〉のない社会の子供と大人
- ③日本の民俗社会における人間形成の諸相
- ④江戸時代にみる新しい〈教育〉意識誕生
- ⑤学校の発生と近代公教育制度の成立
- ⑥クラス、一斉教授法の発明
- ⑦専門職としての教師の登場
- ⑧子供期・青年期の創出
- ⑨教師中心主義と子供中心主義との相克
- ⑩家族と学校との関係 など。

履修上の留意点

歴史的アプローチを主とする教育基礎論の授業であるが、たえず現代の子供・若者の置かれている社会状況や教育問題に関心をもって授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

授業内の小レポート・発表、期末レポート。

教科書

特に用いない。随時、参考文献を紹介し、基本的史料はプリントして配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育調査	すずき のりお 鈴木 規 夫	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	人間の行動について科学的な方法によるリサーチの技術と推論の論理を身につけるため、教育にかかわる身近な問題について具体的に調査を実施する。
講義の内容・授業スケジュール	具体的な調査内容は受講者自身が主体的に提案するものとし、授業ではその内容について議論するとともに調査を実施するにあたっての必要な基本プロセスを学習する。また、実際に調査を実施し、コンピュータを利用して調査結果をまとめる。その際、結果を要約するために不可欠なデータの解析法や推論の論理についても分かりやすく解説する。
履修上の留意点	調査内容は受講者自身が提案することになるので、受講前に何を調査したいのか予め考えておくことが望ましい。また、コンピュータを利用して分析を行うので多少のコンピュータに関する知識を有していることが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は提出された調査結果報告書によって行う。
教科書	講義要旨および資料のコピーを授業当日配付する。
参考書等	特に指定しない。
その他	授業は討論中心の形態をとる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術教育	か がわ よし しげ 香 川 良 成	11以前入学生/教職2・3・4選	4

講義のねらい	日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。
講義の内容・授業スケジュール	以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評を併せながら授業を進めたい。
履修上の留意点	実習でやむをえない場合以外は、極力出席してもらいたい。
成績評価の方法	平常点と試験で成績評価を決めたい。
参考書等	富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）、富田博之著『日本演劇教育史』（国土社）、菅忠道著『日本の児童文学』I総論
その他	現在行われている演劇教育（“劇あそび”その他）の模様や実際の舞台をビデオで観たり、実際観劇するというも行いたいと思っています。 この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後 期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	12以降入学生/教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会の政治的・経済的変化にともなう問題と教育の在り方との関係を現代史における具体的な事例をとおして検討し、今後の教育のめざすべき方向を展望することをねらいとして、「戦後日本社会の変容と教育の展開」をテーマに授業を行う。教育社会学と教育政策学の研究をふまえてグローバル化と情報化が進展するなかでの社会の諸問題と教育の動向との関係を分析する。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、次の三つの領域に分けて行われる。

(1)終戦にともなう政治的・経済的変化と教育改革(9～10月) = この領域で扱われる事項は、次のとおりである。①対日軍事占領と教育の状況②政治・経済改革と教育改革(第一次米国教育使節団報告書の検討)③民主化・自由化と最初の学習指導要領。

(2)東西冷戦の激化と教育基本法体制の動揺(10～11月) = この領域で扱われる事項は、次のとおりである。①東西冷戦の激化にともなうナショナリズムの強調と教育②経済成長への願いー財界の教育要求と戦後教育改革の見直し③55年体制の形成と教育をめぐる路線対立の激化。

(3)高度経済成長にともなう社会の諸問題と“第三の教育改革”(11～1月) = この領域で扱われる事項は次のとおりである。①国家目標としての高度経済成長と教育における能力主義の強調②マンパワーの育成とカリキュラム改革③経済合理主義の浸透と教育における組織の合理的再編ー多様化と管理強化④経済成長にともなう社会の諸問題と“第三の教育改革”の模索⑤社会的変化の激しさと生涯教育ー学習の推進。

履修上の留意点

教育に強い関心をもっていること。

成績評価の方法

平素の出席状況と定期試験の成績による。

教科書・ 参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	さね 謙 き 岐 ま 真 さ 佐 こ 子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不適応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す1つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。

講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達にそって具体的に学んでいきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中での青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、主にテキスト記載の事例を中心に、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるだろうが、何らかの形で受講生のフィード・バックを得る方法を考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況と定期試験

教 科 書

氏原寛・東山紘久編『発達とカウンセリング』
別冊『発達』第18巻（ミネルヴァ書房）2,500円

参 考 書 等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』
『日本人の深層分析』第9巻と10巻（有斐閣）
- ・季刊『仏教——特集癒し』No. 31（法蔵館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（楡出版）『子どもの宇宙』（岩波新書386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 教 育	こ 山 一 乗 こ やま かず のり 小 山 一 乗	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(Legal mind)、そこに看取されるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しきは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。これはいわゆる戦後教育の盲点でさえる。この不均衡を醸成してきた歴史的背景を検証する。幕末、明治維新、対日米国占領宗教教育政策、憲法・教育基本法・教育関係法規立法審議制定過程を検証し、手垢の付いた用語としての「宗教教育」論を見直す。用語「宗教教育」は解釈者により一様ではない。本講義では、手垢の付いた先入観を回避し白紙から議論を構想したく、そのために、しばらくの間「宗教の教育」と措定したい。その上で、tell(告げる)とteach(教える)との差異、〈religious education〉と〈education about religion〉との差異につき、教授概念を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

種々様々な事柄を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬、注意深く観察する、(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何〜何事、what〜whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケアー等を粗上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて、諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。多民族多文化多宗教共住社会のうねり、隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。今後は例えば、国際結婚等にもより、混血児も学級には数人は存在するとの推計もある。家庭教育・学校教育・社会教育のいずれの教育の場面も、まさに、迂闊ではいられなくなる。宗教的無知は宗教的偏見よりも致命的な悲劇を生もう。無知解消の教育が要る。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

レポート、出席点による。特に出席を尊重する。

教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』(宣協社) 2,940円

参考書等

指定図書→『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版) 1985年
土持ゲーリー法一著『米国教育使節団の研究』(玉川大学出版部) 9,785円
井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版) 3,900円
杉原誠四郎『教育基本法の成立「人格の完成」をめぐる』(日本評論社)
小中高各『学習指導要領』各230円 250円 370円
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣) 1,600円
参考図書→KYOUKO INOUE. 1991. *MACARTHUR'S JAPANESE CONSTITUTION* (THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS)

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	とよ たちよ こ 豊田千代子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.276) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	とよ たちよ こ 豊田千代子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.277) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	い い もり あき ひこ 飯森彬彦	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.291) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育施設	むら やま てる よし 村山輝吉	11以前入学生/教職2・3・4選	4

(P.279) 参照

教職・資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山田節子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.269) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後 期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.269) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.270) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.270) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前 期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.271) 参照

(3) 教科に関する科目

【社会・地理・歴史・公民】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋思想史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	教職教科	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を購読する。購読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に触れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の漢文の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教科書

授業は講師が用意したプリントを用いる。

参考書等

適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	や の よう こ 矢 野 陽 子	教職教科	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参考書等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』スカイドア 1900円

その他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民間信仰論	谷口 貢	教職教科	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない

参考書等

桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概説	小池 とみ子	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、地理学発達史・人文地理学と自然地理学・環境論をとりあげる。次に前期は主として民族・国家の観点から、後期は経済発展と地域の変貌の観点から、世界の諸地域が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら検討する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概説	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

自然地理学の分野のうち、河川や地下水などにかかわる水の地理学を講ずる。
近年、河川環境や地下水汚染などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の特性について、地域事例をもとに説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

次の諸点について講ずる。

- 1) 水循環・水取支など水文学の基礎について
- 2) 河川や地下水の水量・水質などの特性と地域とのかかわりについて
- 3) 河川地形と水災害について
- 4) 身近な水源としての地下水・湧水の保全などについて

地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても概説する。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。

成績評価の方法

学年末定期試験と夏休みの課題の他、授業中に随時実施する課題など平常点も加味して行う。

教 科 書

授業時間にプリントを配布する。

参 考 書 等

地学団体研究会編『地球の水圏－海洋と陸水』（東海大学出版会）
その他随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概説	はや ふね げん ほう 早 船 元 峰	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して共に考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を、歴史的観点からふまえて、主に環境地誌学的立場から論じる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・関東平野の地形発達史
- ・北海道本部の気候地形
- ・北海道美瑛町・富良野市における傾斜地の土地利用の変化と環境保全
- ・大気温・湖水温の垂直分布の季節的变化と人間とのかかわり
- ・その他

履修上の留意点

国土地理院の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（土地利用図・帯状平行投影地形断面図・切峰面図など）をして理解をより一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレース紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各人用意すること。

成績評価の方法

課題（地形図より主題図作成）・小テスト出席状況などによる平常点。

参 考 書 等

水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	かわもと とよ かず 川 元 豊 和	教 職 教 科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・
授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教 科 書

特に定めず、プリントを配布する。

参 考 書 等

白田雅之・佐藤宏・谷口晋吉編『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂）1993 2,800円
水島司編『アジア読本マレーシア』（河出書房新社）1993 2,000円

そ の 他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	くほた たけし 久保田 武	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二宮の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

一般教養として広く世界の諸地域の特色と課題について基礎的知識の修得と理解
高校地歴科、中学校社会科の授業で世界の諸地域を扱う際に必要な基礎知識の修得と文献紹介
暗記科目にせず世界の諸地域に対し生徒の興味関心を増す教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・
授業スケジュール

- ◆講義の内容
世界の諸地域の地域学習（地理・歴史・政治・経済・社会・文化・課題等）。大地域は世界中を一通り学習。中小地域と国は範例学習的に選択
教授者による毎回の授業、情報源になる資料紹介、その他
- ◆授業スケジュール
前期は東アジアに始まり
後期はオセアニアで終る。日本の地域を1回取り上げる。

履修上の留意点

毎回授業の終わりに授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求め
出欠調査に代える。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価
出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教 科 書

使用しない

参 考 書 等

授業の時に紹介する。但し、地理教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料等は、この際揃えた方がよい。とりあえず地図帳と統計資料、歴史年表は初回から持参した方がよい。

そ の 他

毎授業時間の前半は講義、後半は質疑、実習、課題作成等を原則とする
OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を講義内容理解と補足のため頻繁に使用する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学概説	ふじ 藤 しま 島 のり 範 たか 孝	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

アジアには30億の人が居住し、古代文明を生み出したが、その後欧米至上主義によって旧態依然といわれる。更に民族独立と社会主義崩壊、人口爆発と飢餓、核汚染と地球環境の破壊など多くの問題をかかえてきた。この実情をアジアに見る。特に日本はアジアの一員であることを忘れてきた経緯を反省し、各分野から分析してみたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

アジアの地図を描き、最近の変貌を加え、新しいアジア観の把握に努める。

履修上の留意点

各種の地図を利用するので、描写及び着色することがある。作図できるようにしておく。国境及首都等は構造として把握する。

成績評価の方法

最近のアジア各地の変貌を報告発表を要求する。

教科書

大藺友和『アジアを読む地図』（講談社）1,800円

参考書等

浅井信雄『民族世界地図』（新潮社）1,000円
泉三郎『世界地図の新しい読み方』（日本実業出版社）1,300円
アンドリュース・ボイド『世界紛争地図』（創元社）1,600円

その他

講義、作図。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	えん どう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	教職教科	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心に見ていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしばって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげているから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都や鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。

教科書・
参考書等

教科書・参考書は特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ そう けん 麻 生 建	教 職 教 科	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末試験

教 科 書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	黒田基樹	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

歴史学という学問は、過去の社会を正確に認識するとともに、現代社会をどのように把握するか、ということを追究するものである。そのため、過去の日本社会を題材としつつも、常に現代の日本社会との対話を意識し、歴史を「考える」という観点を重視していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本史を通時的に概観するのではなく、主として平安時代末期から江戸時代初期を対象として、個々のテーマを設定し、検討する。

成績評価の方法

学年末に試験をおこない、出席数と試験の結果を総合して評価する。

教科書

特になし。

参考書等

授業のなかで随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	小松寿治	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会科教員として最低限の日本史に関する知識をつけてもらえればと思います。したがって高校時代に日本史の経験がなくても問題はありません。

講義の内容・授業スケジュール

講義は日本史全般を話すつもりですが、武士の時代が中心になります。板書を多くしますのでノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

成績の評価は試験で行いますが、出席を重視しますので、より多く出席することを望みます。

教科書

教科書等は設定しませんが、参考図書については、必要に応じて話しますが、強制するものではありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	井 村 行 子 <small>いむら ゆきこ</small>	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい

講義の内容・
授業スケジュール

第1講	世界史とは何か	第13講	南北戦争と農奴解放
第2講	古代オリエント	第14講	イタリアとドイツの統一
第3講	古代ヨーロッパ	第15講	19世紀後半のヨーロッパ
第4講	中世ヨーロッパ	第16講	帝国主義の世界分割
第5講	16世紀のヨーロッパ	第17講	20世紀初頭のヨーロッパ
第6講	17世紀のヨーロッパ	第18講	第1次世界大戦とロシア革命
第7講	18世紀のヨーロッパ	第19講	1920年代のヨーロッパ
第8講	産業革命とアメリカ独立革命	第20講	戦間期のアメリカとソ連
第9講	フランス革命	第22講	1930年代のヨーロッパ
第10講	ナポレオン独裁	第23講	第2次世界大戦
第11講	ウィーン体制	第24講	第2次世界大戦後のヨーロッパ
第12講	自由主義の発展		

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による

教 科 書

未定

参 考 書 等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

そ の 他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
世界史概説	わたなべ あつし 渡 辺 惇	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

世界史概説は担当者の関係により、東洋史と西洋史の二つの部分に分けて行われます。受講者はこのいずれか1つをとればよい。

上記のうち、私は東洋史の部分を担当します。東洋史はアジア全体を対象とするもので、その領域は非常に広く、かつ多面的です。この授業は教職科目であり、また時間の関係から、以下に記すような順序で、広く浅く行うこととなります。換言すれば“アジア歴史散歩”とでもいえましょう。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 世界史教育の歩み

学校教育における世界史という科目は戦後の教育の中で新しく成立したもので、はじめは東洋史と西洋史を束ねたようなものであったが、やがてヨーロッパ中心主義、大国（中国）中心主義が批判され、よりグローバルな世界史が求められるようになった。以上の経緯を文部省の世界史指導要領の変遷等を折り込んで説明したい。

(2) アジアの歴史世界は多面的でモザイクである。それゆえ、以下のような5つの世界に分けて、それぞれの世界の歴史の舞台となった自然環境、風土、そして歴史展開の特色などについて概観する。

- a. 東アジア世界；中国を中心とし、その周辺を含む地域。農耕生活。
- b. 中央(内陸)アジア；海への出口をもたない砂漠と草原の地域。遊牧とオアシス農耕の生活。
- c. 西アジア世界；オリエント及び地中海の一部を含む乾燥風土の地域。オアシス農耕と遊牧生活。
- d. 南アジア世界；インドを中心とした地域。農耕生活。
- e. 東南アジア世界；半島部と世界最大の多島海よりなる地域。海洋生活。

履修上の留意点

出席は必ずとります。

成績評価の方法

評価は定期試験、平常点に出席点を加味する。

そ の 他

またビデオを活用して、各地域の特色を視覚を通して把握することも行いたい。その際感想文を書いてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	教職教科	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業内容とそれに必要な準備
- 第1回 社会学とは何か
社会的事実／実証性 “予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為
なぜ“action”からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程
人間の行為は“inter”して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
- 第5回 1. 役割の取得——社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第6回 2. 役割の準拠——準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
3. 役割の葛藤——マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為
- 第8回 1. 規範と同調——逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
2. 集団の構造と機能社会有機体説と構造・機能／機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第12回 3. 集団の構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績の地位・帰属の地位
- 第13回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第14回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第15回 集団・文化・パーソナルティ
- 第16回 組織論と官僚性
- 第17回 1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
2. 官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原則 (ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第18回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／ゲールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識
- 第20回 1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3. 社会的性格
- 第22回 i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4. 社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成
- 第25回 1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）

教科書

開講時に提示

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 人 類 学	佐々木 宏 幹	教 職 教 科	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。
人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きるということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1. 文化と人間、2. 社会と世界観、3. 宗教の原形形態、4. 人間と動物、5. 民族宗教、6. 世界宗教、7. アニミズム・多神教・一神教の関係、8. 仏教・キリスト教・イスラム教、9. 民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。
夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社）840円

参考書等

佐々木宏幹著『宗教人類学』（講談社）980円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	<small>あさ だ どう いち ろう</small> 浅 田 統 一 郎	教 職 教 科	4

講義のねらい

本講義は、ミクロ経済学の基礎をわかり易く体系的に解説し、『価格理論』の一層進んだ内容を理解するための橋渡しをすることを目的にしています。また、本講義を受講することによって得られた基礎知識は、現実の経済問題を解釈し、その解決策を考えるための指針としても役立ちます。

講義の内容・授業スケジュール

近代経済学の理論体系は、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」という二大分野に分けられます。ミクロ経済学は、19世紀のクールノー、ジェボンズ、マーシャル、メンガー、ワルラス、20世紀に入ってからヒックス、サムエルソン、アロー、ドブリュー等によって発展させられてきた理論分野で、経済を構成する個別的な消費者や企業の行動にまでさかのぼって市場における価格決定の問題を分析し、完全競争、独占、独占的競争、寡占等の市場形態の相違が資源配分の効率性や所得分配にどのような影響を及ぼすかを分析します。ミクロ経済学(およびマクロ経済学)の基礎をマスターすることは、公務員試験や公認会計士試験の合格を目指す学生にとって必要不可欠ですが、そればかりでなく、財政学、金融論、国際経済学のような応用分野を学ぶために有用な予備知識を得るためにもミクロ経済学の学習は役立ちます。

本講義では、ミクロ経済学の基礎知識を以下の順序に従ってわかり易く解説します。(駒沢大学経済学部では、『価格理論』という科目がこれらの問題をより専門的に扱っています。)

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 市場均衡の理論
4. 不完全競争の理論
5. 公共政策のミクロ分析
6. 国際経済学のミクロ分析

なお、教科書は、浅野、荒木・浅田『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)を使用しますが、もっと詳しくミクロ経済学を勉強したい受講者や本講義の修了者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回(前期・後期)行う筆記試験によって評価します。再試験は、実施します。

教科書

浅野克巳・荒木勝啓・浅田統一郎 著 『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)

参考書等

伊藤元重 著 『ミクロ経済学』(日本評論社)(初級向き)
武隈慎一 著 『ミクロ経済学』改訂版(新世社)(中級向き)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あ べ ひろし 阿 部 弘	教 職 教 科	4

講義のねらい

「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は経済学部で設置している「経済理論」のIAであり、主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」として、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判をしたその内容と現在の問題とを比較しながら「経済学」はどうあるべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 「富」とは何か
- 1 「富」とは何か
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
- 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 資本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会…まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：7月
第2回目：10月
第3回目：11～12月
第4回目：1月

このばあい、第1回目は講師が受講生全体に共通のテーマを提起します。そして2回目以降は受講生の皆さん各自が作成したレポートからテーマをそれぞれ設定します。

- 2 その他：「定期試験」、それに付随する「追試」、そして「再試」は行いません。

教科書・
参考書等

講義の中で指定します。

そ の 他

講師との連絡方法
 受講生と講師が連絡できるように次に住所等を掲載しておきます。
 阿部弘
 ☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204
 TEL.03-3976-7984
 研究室：第2研究棟5 FNo.2538
 ☎03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	教 職 教 科	4

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは「大きい」という意味をもち、「ミクロ」は「小さい」という意味をもつ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。たとえば、景気の良し悪しは何によって決まるのか？物価の変化はどのような要因によるものか？現在、我が国の失業率は上昇傾向にあるといわれるが、その原因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えようとするもので、きわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースの1つだ。

なお、上にも述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両方の授業を履修することが現代経済学を体系的に理解するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくい部分をできるだけクローズアップし時間をかけて説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済の仕組みと考え方
2. 国民経済計算と国民所得の諸概念
3. 国内総生産とは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化と国内総生産の関係
5. 消費と投資は何によって決まるのだろうか
6. 利子率とは何か
7. IS-LM モデルと財政金融政策の考え方
8. インフレとデフレ
9. 輸出と輸入
10. 経済成長と景気循環の仕組み

履修上の留意点

現代経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとってもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習にかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取れるも夢じゃない！」

成績評価の方法

定期試験（再試験も実施する）による。問題は2種類出す。1つは論述形式で、もう1つは客観式（グラフを書いたり、簡単な計算問題など）を数題出題する予定。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年

参考書等

青山『経済原論の類出問題』（実務教育出版）1998年、これは問題集だけど、できるかぎり練習問題を解くことも、理解を確実にする第一歩。自分で復習を兼ねて解いてみることをすすめる。この方法は公務員試験等の国家試験の受験対策としても大変有効だ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	まついりゅうへい 松井柳平	教職教科	4

講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する（いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める）。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済の模型（モデル）を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、プラモデルのような物理的な模型を作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなどき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよいし、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は怠ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学（少なくともミクロ経済学とマクロ経済学）においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスといっしょになってはじめて、結論が意味をもつのである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を教場での実験を通じて体験的に学習する。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

こうした価格メカニズムのしくみを、教場での市場取引のシミュレーションを通じて学んでいくことになる。

履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験や、授業中の実験への参加などで評価する。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	はし 橋 もと 本 やす 泰 あき 明	教 職 教 科	4

講義のねらい

経済学的ものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、一国の経済規模や国民の所得の大きさ、物価、労働環境などの決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が市場を形成し、その結果、ものの価格の決定や経済の効率性がどのように作用されるのかを理解することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：経済循環 国民総生産 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 乗数理論
物価 為替変動と国民所得
後期：需要と供給 消費者の経済行動 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産者の経済行動 生産曲線 費用曲線 限界費用曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論的メカニズムを理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考を繰り返し、論理展開を十分理解することが大切である。しかしいったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利く財産になり、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教 科 書

小野編著「現代経済学の基礎」学文社 3,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 I	おお <small>みや</small> たかし 大 宮 隆	教 職 教 科	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んてくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教 科 書

玉田弘毅『図解民法講義 総則・物権』（住宅新報社）1,854円

参 考 書 等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	教 職 教 科	4

※経 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず、ひろく隣接領域（法学・哲学・歴史学・社会学・経済学）にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

講義の目的

第一の目的は、将来教壇にたったときに役立つ基本的な知識の習得をめざすことです。

第二の目的は、社会科学の思考方法を会得することです。

第三の目的は、自己の意見を論理的にはっきりと述べられるようにすることです。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義のすすめ方

政治学の基本問題を、一回一テーマ主義でとりあげます。ワン・ウェイの講義をするのではなく、学生諸君との対話・討論形式をとりいれて授業をすすめていきます（場合によっては、学生諸君の報告や模擬授業も）。質問には、はずかしがらずに積極的にこたえて授業を盛り上げてください。

授業では、政治学のみならず隣接科目にまで話がおよんでいきます。履修者はあらかじめ高校時代の「政治経済」の教科書や参考書などに目をとおしておくとういでしょう。

講義内容

講義でとりあげる問題は、以下のとおりです。

- | | |
|-----------------|----------|
| A 政治の思想 | C 日本の政治 |
| ～古代ギリシャ・ローマ政治思想 | ～明治国家の形成 |
| 中世政治思想 | 大正デモクラシー |
| 近代政治思想 | 軍部独裁 |
| 現代政治思想 | 戦後の政治 |
| B 政治の仕組み | D 国際政治 |
| ～議会 | ～国際連合 |
| 内閣 | N G O |
| 地方自治 | 国際関係 |
| 官僚制 | |
| 政党 | |
| 選挙 | |
| 世論 | |

履修上の留意点

将来教職を希望する人間が、教室に足を運ばないのはもってのほかです。単位の認定にあたっては、出席を特に重視します。正当な理由があって欠席する場合（実習・研修など）には、必ず届けを提出してください。

成績評価の方法

出席：50% 中間試験：20% 学年末試験：30%

以上の割合で評価します。

なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学へのいざない』（成文堂）2,500円

参考書等

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 宗 教 文 化 史	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の宗教文化を考えるうえで、巫覡、ミコなどとよばれてきた巫者信仰の系譜は重要な意味をもつ。本講義では、この巫者信仰に焦点を合わせ、宗教史と実態調査研究の両面から得られた成果をもとに、その多様な形態と文化史的な意義を明らかにしてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、柳田國男にはじまる巫者研究の歴史を概観したうえで、主として東北地方や沖縄地方の巫者信仰の具体的事例を考察する。ここでは、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムヌシリなど、様々な名称で呼ばれてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方が中心となる。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

スライドを適宜使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 衆 宗 教 成 立 史	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	教 職 教 科	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にたつて、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点を当てて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

- 前期
- ① 深層文化論の整理
 - ② 深層文化と宗教研究
- 後期
- ③ 民俗主義的な深層文化
 - ④ 新宗教の発生と展開

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行います。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

深層文化論に関しては、拙著『日本の深層文化序説——三つの深層と宗教』（玉川大学出版部）1995年を用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	あらい 洗 けん 建	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することといかに深くかかわっているかを明らかにする。
この教科は教職科目であるので、国家と宗教、憲法理念と宗教の問題を中心に考える。

講義の内容・授業スケジュール

宗教改革以降、信教の自由の確立に至るまでのキリスト教思想の変遷をたどって、その特質を理解し、日本における導入と変容、現代における諸問題を考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「宗教」という言葉を聞くと、特定の教祖によって開かれ、経典や教団を備えた組織的宗教や、そこで説かれてきた高度な宗教思想などを思い浮かべる人が多いと思う。しかし宗教には、共同体の生活慣習や年中行事に組み込まれた習俗や、祈禱・供養・祭礼・禁忌・呪詛などとよばれる実践や行為としての側面もある。

本講義では、こうした広がりやを考慮したうえで、とくに実践的な行為としての宗教について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、儀礼、タブー、イニシエーション、アニミズムなどのトピックを取り上げ、実践的宗教の多様な側面に光を当てる。

後期は、「死をめぐる宗教的観念と実践」というテーマで、仏教やキリスト教をはじめとする諸宗教が、人間の死や死者を実際にどのように扱ってきたか、という問題を考えてみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	つ 津 しろ 城 ひろ 寛 みみ 文	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、世界の新宗教運動

後期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 概 説	く ぼ よう いち 久 保 陽 一	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

ヘーゲルの主著『精神現象学』（1807年）の主要な箇所を解説しながら、哲学の諸問題を取り上げる。『精神現象学』は、個人的意識の形成の叙述であると同時に、人類の精神の歴史でもあり、また現代にも通ずる様々な思想内容の宝庫である。これを読解することを通して、「自己」や「世界」に関するものの考え方の基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

『精神現象学』の主要な箇所（例えば「感覚的確信」の弁証法、主人と奴隷の関係、「不幸な意識」、「快樂とさだめ」等約20箇所）を解説する。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席やレポート等によって評価する。

教科書

いずれかの邦訳（ヘーゲル『精神現象学』）を手もとに置くのが望ましい。

参考書等

加藤尚武編『ヘーゲル「精神現象学」入門』（有斐閣）
イボリット『ヘーゲル精神現象学の生成と構造』（岩波書店）
久保陽一『ヘーゲル論理学の基底』（創文社）

その他

時々、講義内容について簡単なレポートを書いてもらい、それについてコメントをつけて返すことにする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 概 説	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。—哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新事論』『新世訓』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新事論』『新世訓』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 概 説	かわ 河 <small>か</small> たに 谷 <small>た</small> あつし 淳 <small>あ</small>	教 職 教 科	4

講義のねらい

倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では (a) 主に、古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で (b) 現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことから「倫理的に考える」とはどのようなことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
 (a) 西洋倫理思想史：徳倫理学（古代ギリシア）、義務論（カント）、功利主義（ベンサム、ミル）
 (b) 現代倫理学の諸問題：メタ倫理学、生命倫理、環境倫理など

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義においてその都度紹介する。

【職業】

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業概説	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

授業は'85（昭和60）年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

（総論）バブル経済と平成不況
（各論）非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、
なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。

履修上の留意点

日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。再試験はしません。

教科書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』（日本経済新聞社）1,500円

参考書等

授業の際に提示します。

その他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業指導	やま だ ゆう し 治 山 田 勇 治	教職教科	4

※経B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

職業指導（進路指導）は教職科目であるから、将来教員として役立つような講義内容にするように心掛け、なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、職業指導の基礎的概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心にした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点を考えていくような授業をするつもりである。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明したいと考えています。

履修上の留意点

受講する学生は、積極的に問題意識をもって教育問題を考えるようにしてほしい。

成績評価の方法

授業中における課題などの提出や出席状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価します。

教科書

開講時に指示。

参考書等

有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』（福村出版）2,000円
寺田晃・佐藤怜監修『進路指導』（中央法規出版）2,500円
仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編著『進路指導論』（福村出版）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 実 習	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教 職 教 科	4

※経 B の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

貿易における商品取引の基礎的な実務を習得するに目標をおいて授業を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 輸出実務の概要 | 10. 為替の予約 |
| 2. 取引関係の創設 | 11. 海上保険契約 |
| 3. 取引条件の取決め | 12. 輸出検査と包装 |
| 4. 売買条件の取決めと契約成立 | 13. 輸出通関 |
| 5. 輸出信用状の照合 | 14. 船積み |
| 6. 約定品の調達 | 15. 船積書類 |
| 7. 輸出保険 | 16. 輸出決済 |
| 8. 輸出承認と認証の取付け | 17. 貿易クレーム |
| 9. 運送契約の締結 | |

成績評価の方法

筆記試験はしない。評価は平常点かレポート提出等によって行います。再試験はしません。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

石田貞夫『貿易取引の実務』（教出版）
 渋谷源蔵『貿易実務』（同文館）
 藤田栄一『貿易取引の英語』（勁草書房）

【商 業】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 指 導	やま だ ゆう じ 山 田 勇 治	教 職 教 科	4

※経 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.264) 参照

II 学校図書館司書教諭講座

必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

成績評価の方法

小論文とテストによる。

参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学 1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

その他

講義・討論・ビデオ
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅰ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子どもの読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

成績評価の方法

小論文とテストによる

参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書 2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

その他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからが望ましい。
1. 学校教育と学校図書館 (前期)
2. 学習指導と学校図書館 (前期)
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅰ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書	『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円 『日本目録規則 1987年版 改訂版』(日本図書館協会)3,500円
参考書等	講義中に指示する。
その他	必要に応じて、ビデオを活用する。 この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書	情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』(日外アソシエーツ)2,200円
参考書等	講義中に指示する。
その他	この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。
この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

成績評価の方法

小論文とテストによる。

参 考 書 等

- 全国 SLA 編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井澤純著『図書館学大系7 読書教育原論』（全国 SLA 刊行）

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅰ」の単位を修得した者は、履修できません。

Ⅲ 社会教育主事講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育計画	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2必	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

かつて社会教育職員の専門性として、4P論（プランナー、プログラマー、プロデューサー、プロモーター）がいわれた。いま各自治体では住民の生活課題や地域づくりの課題に対応したきめ細かな生涯学習振興策とその計画化がもとめられている。この講義では、自治体の生涯学習計画の策定を中心に、できるだけ具体例に即して、ひろく生涯学習の方法、事業計画などの理論について理解を深められるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生涯学習の方法と計画の今日的課題
2. 住民の課題と生涯学習計画
3. 生涯学習の方法と事業の計画・運営
4. 生涯学習と条件整備
5. 地域生涯学習計画の策定
6. 生涯学習計画と社会教育計画
7. 学習権の思想と社会教育計画の課題

履修上の留意点

できるだけ「生涯学習概論」を修得していることが望ましい。

成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に判定する。

教科書

酒匂・村山他編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,800円

参考書等

そのつど紹介する。

その他

夏休み中に、各自、自分のまちの社会教育行政の実情について調査し、レポートにまとめることをもとめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯学習概論 I (前期)	とよ ちよこ 豊 田 千 代 子	社教主事 2 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という観点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の観点からの教育の見直しが課題となっている。

授業では、OECD や ILO などの国際機関ならびにわが国における生涯学習政策の動向を概観し、その検討を通して、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・生涯教育・生涯学習の理念
- ・生涯教育・生涯学習の国際的動向
- ・わが国における生涯学習政策
 - ・国レベルの政策－「生涯学習振興整備法」の制定とその後の動き
 - ・地方自治体における生涯学習政策の展開
- ・生涯学習と学校計画
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教 科 書

倉内史郎、鈴木眞理編著『生涯学習の基礎』（学文社）2,100円

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後 期)	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社教主事2必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、わが国では、生涯学習の観点での教育の見直し、学校教育でも社会教育でも求められている。授業では、とくに社会教育に焦点を当て、改革の方向性を探ることを目的としたい。そのために、社会教育の歴史や社会教育行政の役割等とともに「おとなの学び」に注目しながら、社会教育についての理解をはかりたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・社会教育とは
 - ・社会教育の定義
 - ・社会教育の歴史
 - ・社会教育法
 - ・社会教育施設（公民館など）
 - ・社会教育行財政
- ・成人教育としての社会教育
 - ・「おとなが学ぶ」とは
 - ・「おとなの学び」の事例
 - ・おとなの学びに関わる職員の役割
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教 科 書

倉内史郎、鈴木真理編著『生涯学習の基礎』（学文社）2,100円

参 考 書 等

小林文人編『公民館の再発見ーその新しい実践』（国土社）

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 実 習	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社 教 主 事 3 必	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

公民館、図書館などの社会教育施設や、教育委員会での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

事前指導 — 社会教育の具体的なイメージをつかむために、様々な社会教育実践を取りあげ、グループで報告する。
訪問指導 — 実習先訪問指導。
事後指導 — 実習をとおして学んだこと、疑問に思ったことなどについて報告する。
実習報告書を作成する。

成績評価の方法

①実習ノート ②授業への参加度（授業での実習報告、報告書作成への取り組みなど）

教 科 書

小林文人編『公民館の再発見 — その新しい実践』（国土社）

参 考 書 等

社会教育推進全国協議会編『新版 社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

そ の 他

適宜、公民館などの施設見学を行なう。
実習報告書の作成に関しては、企画、編集、印刷、製本のすべてを自分たちで行なう。このことをとおして、共同で学ぶ方法を身につけたり、共同で学ぶことの楽しさに気づいてほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 実 習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社 教 主 事 3 必	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学生が社会教育実習に主体的にとりくみ、社会教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

・社会教育実習の意義と心がまえ — これまでの実習の経験に学ぶ事前指導
・実習期間 — 個別の訪問指導
・実習後 — 個別の体験の整理・検討と共通する課題の追求。
【例】社会教育職員の専門性とはなにか。

成績評価の方法

平常の受講態度（出席、口頭発表、レポート、討議の質等）や実習ノート等により総合的に判定する。

参 考 書 等

そのつど紹介する。

そ の 他

社会教育実習を受講する学生は、前年11月中におこなわれるガイダンスに必ず出席すること。

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育行政	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

憲法・教育基本法体制に沿った社会教育行政の本質について具体例を示しながら解明する。戦前・戦後の社会教育行政の歴史・社会教育法の成立の頃の実情、その後の社会教育行政の発展の状況・生涯学習行政の現情などを通して社会教育行政とは何かについて、社会教育主事などになった時に役立つような内容を明らかにしたい。

授業外に社会教育施設などに赴いてボランティア活動を積極的にやって欲しい。

教科書

島田修一編『生涯学習のあらたな地平』（国土社）2,718円＋税
社会教育推進全国協議会編「現代日本の社会教育」（エイデル研究所）

参考書等

社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育施設	むら 村 やま 輝 てる よし 吉	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会教育の方法や形態を考えるうえで、戦後のわが国では公民館をはじめとする図書館・博物館等社会教育施設の重要性があらためて認識された。本講ではその社会教育施設の歴史と現状について考察を深め、それが抱える諸問題について、望ましい展望を拓きたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育施設とは何か
 - ・社会教育施設にかかわる人々
 - ・公民館の歴史と現状
 - ・図書館の歴史と現状
 - ・博物館の歴史と現状
 - ・社会体育施設の歴史と現状
 - ・その他の社会教育施設・関連施設
 - ・社会教育施設をめぐる最近の動向と課題
- それぞれできるだけ具体例・実践例を挙げて理解をはかるようにしたい。

履修上の留意点

できればいくつかの施設見学を実施したいと考えているが、学生自身もすすんで適宜、施設の利用見学、施設で行われている学級・講座・サークル活動等に参加して施設体験を豊かにしてほしい。

成績評価の方法

出席・受講態度等の平常点、レポート等により総合的に判定する。

教科書

適宜指示または紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
成人学習論	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

成人が学習することによって発達することを各地の社会教育の事例を通して明らかにする。始めに社会教育の本質について語り、公民館・図書館・博物館などの社会教育施設等で行う学習活動の事例について、さらに地域づくりについて、また国際問題などの実践について学習させたい。授業外に社会教育施設などでボランティア活動を積極的に行うことをすすめる。

教科書

福尾武彦編著『現代を生きる学び』（民衆社）2,800円＋税

参考書等

酒匂一雄・千野陽一・那須野隆一・村山輝吉・谷貝忍共編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,718円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジェンダーと教育Ⅰ (前期)	なか 中 ざわ 澤 ち 智 え 恵	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の経験や生活をふまえて考察し、受講者同士の相互的な学習活動を行う中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 ジェンダーとは
- 2 人間の発達と学習／教育
- 3 ジェンダーの形成
- 4 教育と女性
- 5 家庭生活とジェンダー
- 6 学校教育におけるジェンダー

履修上の留意点

後期「ジェンダーと教育Ⅱ」とあわせて受講されたい。
ディスカッションや小レポートなど、受講者の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、授業中のディスカッションなどへの参加状況、およびレポートによる。

教科書・
参考書等

石川洋子編『人間発達学』（宣協社、2000年発行予定）
木村涼子『学校文化とジェンダー』（勁草書房、1999年）
ほか、適宜指示する。

その他

ビデオなどの視聴覚資料も利用する。
この科目は、平成11年度までに「女性と学習」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ジェンダーと教育Ⅱ (後 期)	なか ざわ ち え 中 澤 智 恵	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の経験や生活をふまえて考察し、受講者同士の相互的な学習活動を行う中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 ジェンダーに関わる社会的動向
- 2 職業生活とジェンダー
- 3 マス・メディアとジェンダー
- 4 ジェンダーとセクシュアリティ
- 5 性教育とジェンダー
- 6 生涯学習におけるジェンダー

履修上の留意点

前期「ジェンダーと教育Ⅰ」をふまえた講義とするため、前後期あわせて受講されたい。ディスカッションや小レポートなど、受講者の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、授業中のディスカッションなどへの参加状況、およびレポートによる。

教科書・ 参考書等

石川洋子編『人間発達学』（宣協社、2000年発行予定）
木村涼子『学校文化とジェンダー』（勤草書房、1999年）
ほか、適宜指示する。

そ の 他

ビデオなどの視聴覚資料も利用する。
この科目は、平成11年度までに「女性と学習」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業教育Ⅰ (前期)	しお かわ まさと 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本授業のねらいは「就職に役立つ授業」の一点にある。二十一世紀の大学志願者は「就職率の高い大学」を最優先で選ぶ時代となる。本授業はそうした学生達のニーズに真正面から応える授業としたい。

講師の本業は経営コンサルタント。ゆえに日々ビジネスを共にしている企業の人事・採用責任者の立場から、カリキュラムを編成する。

本授業を選ぶ諸君は、先ず学生意識の甘えを捨てなければならない。「社会人」としての意識と行動なくして「就職」への準備は成り立たない。

学生諸君の未来を決める「人生最大の決断」が就職への準備である。しかもその門に入ることは極めて厳しい。君の未来を、この授業の中で見出す覚悟をもって、授業に参画してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①学生と企業人の違い。
- ②企業は学生に何を期待しているか。
- ③就職への準備。
- ④企業の選択の基準。
- ⑤面接試験の本質と取組み方。
- ⑥論文試験の本質と取組み方。
- ⑦いかにして自己を鍛えるか。

授業の半分は、学生との質疑応答の時間としたい。質疑応答の中で、企業という「生き物」の厳しさと素晴らしさを伝えたい。

履修上の留意点

- ①講師が企業で実践している資料の配布が多い。資料を保存するためのバインダーを準備すること。
- ②授業の度に発言や返答、意思発表、討論などがあることを想定していること。
- ③教員や公務員を志望する諸君にとっても「就職」の基本は同じ。役立つことと確信する。

成績評価の方法

平常授業とレポートによって評価

教科書

塩川正人著「MTS 経営革命」日本能率協会マネジメントセンター 1,400円

その他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業教育Ⅱ (後期)	しお かわ まさと 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

前期と全く同じである。授業の目的は「就職試験に勝つ」。そのための自己革命を学生諸君は本授業で実践する。

授業内容は、前期の内容を更に詳しく掘り下げていく。

前期以上に、面接や自己アピールのための演習を多くしたい。

成績評価の方法

前期同様に平常授業とレポートによって行う。

その他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅰ (前期)	ふるたじゅんこ 古田潤子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	深く静かにリラックス 湧きいでるフレッシュ・エネルギー 深く確かな大地との交流 そこから生まれるリラクゼーション 私たちのからだは良くなろうとしてサインを送り続けています。その本質に気づき、自然と調和する能力を持つ生来のからだへと回復させていかねばならないと思います。複雑な社会の中で気持ちよく共生して行ける社会人としての「心とからだ」を育てることに取り組んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	からだの感覚を手がかりに自然の原理に沿った動きで、余分な緊張を取り去り、その時々姿勢におけるからだの最下部に全体重を任せ切る。動きに最適な自然な呼吸などをもとに、ゆるやかに自分自身の心とからだを拓くことによって、自己能力を発掘し、可能性を追求します。
履修上の留意点	からだの内的感覚に基づく履修内容なので連続受講が必要です。
成績評価の方法	平常授業（レポートも含む）
参考書等	野口三千三著『原初生命体としての人間』（三笠書房） 野口三千三著『野口体操からだに貞く』（柏樹社） 野口三千三著『野口体操重さに貞く』（柏樹社） 池田潤子執筆 雑誌『ひと』からだのレッスン（太郎次郎社） [自然なからだのあり方を考える【円筒エリア】の発見と意義] 古田潤子『駒沢大学教育学研究論集第13号』1997年
その他	授業は実技を主に行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅱ (後期)	ふるたじゅんこ 古田潤子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	他者とひびき合う豊かな関係を拓いていきます。
講義の内容・授業スケジュール	環境の変化に応じて、的確に落ち着いて対処できる心とからだを、自らの力でとらえて自信を身に付けます。屋内、屋外のいろいろな場所での体験実習も考えています。 また、海外でのワークショップにおける豊富な経験をもとに様々な遊び道具の製作や、それを使った楽しい遊びも加味します。同時に日本人と外国人の考え方、感じ方、環境の変化に対する即応の仕方の違いなどについても一緒に研究をしていきます。

科目名	配当学科	単位
教育の思想	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.189～193) 参照

科目名	配当学科	単位
教育と社会	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.194～196) 参照

科目名	配当学科	単位
発達と学習の心理学	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.196～199) 参照

科目名	配当学科	単位
教育とメディア	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.200～202) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視 聴 覚 教 育	<small>い</small> 飯 <small>もり</small> 森 <small>あき</small> 彬 <small>ひこ</small> 彦	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.291) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 社 会 学	<small>くま</small> 熊 <small>がい</small> 谷 <small>かず</small> 一 <small>のり</small> 乗	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.232) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 史	<small>やま</small> 山 <small>もと</small> 本 <small>とし</small> 敏 <small>こ</small> 子	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.233) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 調 査	<small>すず</small> 鈴 <small>き</small> 木 <small>のり</small> 規 <small>お</small> 夫	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.234) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
青 少 年 文 化	<small>か</small> 香 <small>がわ</small> 川 <small>よし</small> 良 <small>しげ</small> 成	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評を併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない場合以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験で成績評価を決めたい。

参考書等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）、富田博之著『日本演劇教育史』（国土社）菅忠道著『日本の児童文学』Ⅰ総論

そ の 他

現在行われている演劇教育（“劇あそび”その他）の様相や実際の舞台をビデオで観たり、実際観劇するというも行いたいと思っています。

この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代社会の諸問題と教育Ⅰ (前期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の教育に「生きる力」を育成することが求められ、小・中・高等学校のカリキュラムに新たに「総合的学習の時間」が設けられるようになったことの意味を理解して頂くことをねらいとしながら「現代日本の社会的変化にともなう諸問題と教育改革」をテーマに授業をすすめる。教育社会学、教育政策学をベースにして今日の社会的変化に対してどのような教育の在り方が求められるかを明らかにするところに問題意識がある。

講義の内容・
授業スケジュール

次の三つの領域に分けて行われる。

(1)1980年代の自由化論と「臨教審」答申(4～5月)＝この領域で扱われる事項は、①経済の活性化をめぐる新自由主義の潮流と教育自由化論②新国家主義の登場と臨時教育審議会(「臨教審」)の設置③「臨教審」の四つの答申とその反響④1989年の学習指導要領改訂と教育上の諸問題である。

(2)冷戦構造・55年体制の崩壊と教育政策の新しい動向(5～6月)＝この領域で扱われる事項は、①冷戦構造の崩壊による政治的社会的影響②55年体制の崩壊、連立政権の登場と教育をめぐる路線対立の緩和③教育政策のリベラ化④高度情報化のなかの生涯学習体制の整備と「個」の尊重、である。

(3)経済不況のなかの少年問題と「生きる力」の育成(6～7月)＝この領域で扱われる事項は、①長期にわたる経済不況のなかでの少年問題②「生きる力」を強調する第15期「中教審」答申③新自由主義のインパクトと教育における規制緩和、学校選択の問題④学習指導要領改訂と総合的学習の時間の設置、である。

履修上の留意点

今日の教育の動向に強い関心をもっていること。

成績評価の方法

平素の出席状況と定期試験の成績による。

教科書・
参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介、授業の方法は講義を中心にして討論をとり入れる。

その他

この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.235) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年問題研究	さぬ き ま さ こ 讚 岐 真 佐 子	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.236) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年指導演習	ひらのまなぶ 平野学	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が“青少年指導”について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かかわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりでいる。

《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の観点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

《後期》

4. スクールカウンセラーについて及び講師自身の援助例（不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング）の提示と討議。(3回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題とそのカウンセリング(3回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ポンティア活動他)の報告と討議。(2回)
7. 1年間をまとめる意味で、河合隼雄氏等の文献のいくつかを輪読(分担発表)すると共に自由討議を行なう。特にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(2回)
8. その他(全体の振り返り他)。(2回)

履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。
出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらい、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたく、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行うので安易な受講は避けてほしい。)
尚、授業の初日に年間の大きな予定等お話しするが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行なう予定。

教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る(上・下)』(創元社)各1,300円

参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える(上・下)』(創元社)各1,300円
同 『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)1,240円
同 『ユング心理学と仏教』(岩波書店)1,800円
佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』(東大出版会)2,800円
他にも授業の中で随時紹介していきたい。

その他

VTR やテープ等も多く使用して、具体的に学べるようにしたい。
授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おお たく しみ こと 太 田 喜 美 子	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.292) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	かし がかみ こういち ろう 岸 上 興 一 郎	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.292) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 （後期）	みなもと しやう きやう 源 昌 久	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.270) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 （後期）	やま だ せつ こと 山 田 節 子	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.269) 参照

IV 博 物 館 学 講 座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	飯森彬彦 <small>いいもりあきひこ</small>	学芸員2・3必	4

講義のねらい

視聴覚教育の背後にある基本的な考え方を理解する。
個々の視聴覚教材の基礎的な技法（教材の制作、利用の両面）を習得する。
変動する社会に即応し、メディアを活用する態度と能力を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

視聴覚教育の歴史とその思想的背景
コミュニケーションの理論と視聴覚教育
視聴覚教材の制作と利用
情報化社会における視聴覚教育
生涯学習時代とメディア
以上のような内容を各4～6回程度講義する予定。

履修上の留意点

年に2回程度課題を出し、作品の提出を求める。作品製作に要する経費の負担をあらかじめ予定しておくこと。（OHPシート代、マーカー代、35ミリフィルム代、現像代など）

成績評価の方法

提出作品と試験の成績に出席状況を加味して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

浅野孝夫・堀江固功編著『新視聴覚教育』（日本放送教育協会）
秋山隆志郎・岩崎三郎編著『視聴覚教育』（樹村房）
野津良夫編『視聴覚教育の新しい展開』（東信堂）
赤堀正宣・佐賀啓・中野照海編著『メディアと教育』（小林書房）

その他

ビデオや写真などを多用して講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古発掘実習	飯島武次・酒井清治 <small>いいしま たけつぐ さかい きよじ</small>	学芸員3・4必	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『考古学調査ハンドブックス1（野外編）』（雄山閣）1984年 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おお たち きみ こ 太 田 喜美子	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館学講座（学芸員課程）の必修科目である。博物館法施行規則によると、「博物館学」6単位が必修である。この「博物館学Ⅰ」は2単位であり、6単位を充たすためには、あとふたつの「博物館学Ⅱ・Ⅲ（岸上講師、各2単位）」も履修していただかないと次年度へ進めないで注意を要する。

この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義、学芸員の仕事等を理解してもらい、いっぽう「博物館学Ⅱ・Ⅲ」では、実際の学芸員の仕事や博物館の事業について、岸上興一郎講師に講義していただいている。

履修上の留意点

この「博物館学Ⅰ」は、年度初めの第1週の授業で、駒沢大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で（2回や3回目）出席して、手続きその他質問に来て、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧に説明することはしないので注意しておいてもらいたい。

この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、数回教室に出席してもらうことにしている。したがって、水曜日3限目の後期については、「履修届」に書きこまないことをお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に来てほしい。

この「博物館学Ⅰ・Ⅱ」計4単位は、社会教育主事の選択科目にもなっているが、この場合も4単位履修していなければならないので、ⅠとⅡの両方を履修しないと通用しない。注意しておきたい。

そ の 他

学芸員資格を取得しようとしていながら、途中で、棄権する（あるいはせざるえないという）場合、社会教育主事に切り換えることは比較的易しいので、これまた相談されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	まし がみ こう いち ろう 岸 上 興 一 郎	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。

講義の内容・授業スケジュール

資料は多様な環境の中におかれている。それらの資料がいかなる過程をへて博物館に寄贈・寄託・借用・購入され、収蔵そして展示されていくのかを事例をもとに展開する。

履修上の留意点

資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考えること。

成績評価の方法

レポート提出。

教科書

財団法人博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参考書等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
財団法人博物館協会編 月刊「博物館研究」

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館学Ⅲ (経営論・情報論) (後 期)	まし がみ こう いち ろう 岸 上 興 一 郎	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館は学芸職と事務職によって構成されている。その経営にあたっては、各個人の暗黙知、つまり各個人のもっている情報・知識の豊かさが結果を左右する。さらにはそれを言語化・明示化して組織内で共有し、有効活用することを形式知化という。ここを講義のポイントとする。この理論は博物館経営をより発展させる重要な鍵でもある。学芸員の経営関与を問う。

講義の内容・
授業スケジュール

各博物館は、その創設時の状況によって、公立・市立・財団など種々の組織形態をとってはいるが、形式知化は、すべての博物館に共通する経営理論である。ここでは、それによって積算された予算、その執行と展開などの事例にふれる。さらには近年論議されている博物館経営とボランティア活動の関係にふれる。

履修上の留意点

予算の仕組みを理解すること。

成績評価の方法

レポート提出。

教 科 書

財日本博物館協会編『博物館関係法令集』
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参 考 書 等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』
財日本博物館協会編 月刊「博物館研究」

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅰ (館務)	飯島 武次・酒井 清治 太田喜美子	学芸員3・4必	2

履修上の留意点

この授業は4月第1週から、明年の最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。この方法は、本学の博物館講座開設以来20数年間不変であるので、君だけ特別に単位を出しましょう、というわけにはいかない。

この講義時間に出るということは、君が企画専任者である特別展の開幕日開幕時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。

この洗礼に対応してくださるお陰だと思いが、本学卒業生の学芸員就職率は、都内大学で、断然高く、また、学芸員としても、非常に高く評価されている。

毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習生といっしょに行うため、他流試合的な趣きももっているため、日頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけない。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしやるので、その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行く館が80%を占めるが、別の時期に行く館もあるので、夏休みに海外短期留学などする方も相談に来てほしい。

この科目は、本学の博物館講座の締括りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」・「博物館実習Ⅲ(見学)」に先だって、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ(館務)」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」あるいは「博物館実習Ⅲ(見学)」を4年生次に履修してはいけない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅱ (収集)	酒井 清治・太田喜美子 國見 徹・久保田昌希 瀧音 能之・佐藤 元英 小林 和幸・廣瀬 良弘	学芸員3・4必	2

講義のねらい

博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならぬ面と、個性を殺さなければならぬ面がある。「博物館実習Ⅱ(収集)」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けていても、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ(収集)」はあまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきつようなものである。この実習は、必ず合宿して実施しているので、共同生活を知ろうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

博物館学芸員を目指して履修している学生が、学芸員課程を断念するきっかけは、たいてい、この実習の直後であることが多い。つまり、合宿して収集実習を終えた時点で、これほど協調性が必要なら、自分には不向きである、と思いこんでしまうのであろう。そう自覚したら、確かに、君は学芸員に不向きなのかもしれない。そうした場合には、どんどん、個人的に相談に来てほしい。

また、本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ(館務)」・「Ⅱ(収集)」・「Ⅲ(見学)」の3つが必修であるが、「Ⅱ(収集)」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習Ⅱ(収集)」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加することが必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

この実習で、今年度予定しているのは、

1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査と石仏収集調査実習。
2. 同上町での石仏収集調査実習。
3. 長野県飯田市周辺での石仏調査。

履修上の留意点

年度第1回目の授業に必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館実習Ⅲ (見 学)	酒井 清治・太田喜美子 松本 信道	学芸員2・3必	2

講義のねらい

本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3年次で行う、「Ⅰ（館務）」と「Ⅱ（収集）」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にレポートを提出する。そのレポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかり、指導することになっている。

履修の方法は、なんといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考えに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あぶれてしまう人ができるように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA～Dの4組ぐらいに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うことになるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、必ず、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

本学の学芸員課程が厳しい、とよく言われるが、学芸員という、貴重な文化財を扱う仕事の養成課程なのであるから、厳し過ぎるなどとは思わないようにしてほしい。それだからこそ本学出身の学芸員が高い評価を受けているのであるから。

科目名	配当学科	単 位
教育の思想	学芸員2必	2

(P.189～193) 参照

科目名	配当学科	単 位
教育と社会	学芸員2必	2

(P.194～196) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	とよ 田 ちよ 子 豊 田 千代子	学芸員2・3必	2

(P.276) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	とよ 田 ちよ 子 豊 田 千代子	学芸員2・3必	2

(P.277) 参照

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」をとらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「葬送儀礼・追善」を取りあげて、仏教教団において葬送が儀礼として成立する過程を考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

教科書

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	ほかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

「浄土思想と日本文化」という課題のもとに講義を行いたい。日本文化史の上に及ぼした浄土思想の影響は極めて大きいのが、その浄土思想を仏教思想の中にどう位置づけるべきかを絶えず考慮しながら講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、インドの世親の『浄土論』を中心にインド仏教における浄土思想の展開を押え、それが中国においてどのように定着したかを、曇鸞、慧遠、吉蔵、善導などを中心に考察し、それらが日本の浄土思想にどのように現われ発展したかを、智光、永観、覚鑿、源信、法然、親鸞などを中心に検討していく。

履修上の留意点

講義において指示する文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

末本文美士『日本仏教史』（新潮文庫）

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波新書）
石田瑞麿『日本人と地獄』（春秋社）
袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 美 術	えびねとしお 海老根 聰 郎	学芸員2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

日本の中世の絵画世界を、禅宗画僧による歴史として述べていく。鎌倉・南北朝・室町時代を対象とする。それらの画風の源泉は中国にあるから、合わせて、中国禅宗の中で描かれた絵画についても述べる。

授業は毎回スライドを映写する。

成績評価の方法

年度末に授業で述べたところから出題した筆記試験を行ない評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	まつだせいいちろう 松 田 誠 一 郎	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本彫塑史Ⅰ・飛鳥時代：日本彫塑史に関する諸問題について、近年の研究動向を視野に入れながら詳しく解説する。今年、飛鳥時代（仏教伝来以後、平城遷都まで）を取り上げる。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 第1回 飛鳥前期彫塑の概観
- 第2～3回 飛鳥大仏
- 第4～6回 法隆寺金堂の釈迦三尊像
- 第7回 止利派の金銅仏
- 第8～9回 法隆寺夢殿の救世観音像
- 第10～11回 法隆寺百済観音像
- 第12回 法隆寺四天王像
- 第13～15回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第1回 飛鳥後期彫塑の概観
- 第2回 野中寺の弥勒菩薩像
- 第3回 法輪寺のクス材製木彫像
- 第4回 法隆寺再建と童顔童形像
- 第5～7回 山田寺仏頭と薬師寺本尊
- 第8～9回 塑像と乾漆像
- 第10回 埴仏と押出仏
- 第11～12回 広隆寺と中宮寺の半跏像
- 第13～15回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

- ①単位取得のためには、授業日数の60%以上の出席を必要とする。
- ②休日に東京国立博物館の法隆寺宝物館を見学したり、夏休みに奈良・京都の古寺を訪れてみるなど、飛鳥仏に接する機会を積極的につくるよう努力すること。

成績評価の方法

後期末にレポートを課して評価する。

参 考 書 等

水野敬三郎・関口欣也・大西修也編『法隆寺から薬師寺へ』（『日本美術全集』第2巻 飛鳥・奈良の建築・彫刻）、1990年、講談社。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教民俗学	須藤寛人	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われる。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民俗の意味と歴史とを考察することによって、仏教と新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- a. 先祖崇拜 今日の日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、祖先祭祀という民俗的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拜の考察は重要なテーマであると考えられる。
- b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。
- c. 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。

以上の三点を本講義の基軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思っています。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートと学期末の定期試験を中心に、出欠状況とあわせて総合的に評価します。

教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参考書等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）1,900円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 美 術	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

現代美術、すなわち20世紀の美術においてはかつてないほど大胆で革新的な活動が展開されてきた。この授業では、現代美術の多様な動向について、主要な芸術家と作品を紹介しながら、それらのもつ意味や周囲に与えた影響などを考察していく。美術は同時代の社会と共に存在するものであり、したがって美術は戦争、機械文明の著しい発展、マスメディアの発達、大量消費型の生活といった現代社会と深く関わっている。現代美術を知ることは、今日の社会を考えるのに大きな示唆を考えてくれるのである。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、20世紀美術のバックグラウンドである19世紀後半の美術から始めていく。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビズムを中心に、後期はシュルレアリスムやポップアートなどを取り上げる。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集、テレビなどを通して、現代美術に積極的に触れてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を総合して評価する予定。

参考書等

美術出版社編『現代美術入門』美術出版社 2,000円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 形 学	し みず ちょう せい 清 水 長 正	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。

1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウエスティング、種々の河成地形、組織地形）4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点も多少加味する。

教 科 書

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円

参 考 書 等

小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

そ の 他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
第 四 紀 学	すず き たけ ひこ 鈴 木 毅 彦	学芸員3・4選	4

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・
授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的な概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、人類、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末と後期末の筆記試験

教 科 書

特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

そ の 他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 概 説 I 〔 日 本 〕	さか い きよ し 治 酒 井 清 治	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。

講義の内容・
授業スケジュール

日本考古学の研究史、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

定期試験で採点。

参 考 書 等

鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会）
安蒜政雄『考古学キーワード』（有斐閣）
江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）

そ の 他

OHP 等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 概 説 II 〔 外 国 〕	い い し ま たけ つぐ 飯 島 武 次	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

参 考 書 等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社）1985年
飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社）1991年
飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社）1998年

そ の 他

スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 I	たかほま しゅう 高 浜 秀	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ハンガリーから中国の北にかけて広がるユーラシア北方草原（ステップ）地帯では、古来牧畜を主な生業とする人々が暮らしていた。ここでは農耕に依存する定住民の文化とは異なった文化が発達したが、紀元前1千年紀の初め頃（前10世紀～7世紀頃）に開始された騎馬による遊牧は、この地域の文化を大きく変えた。生活形態や物質文化のきわめて類似した文化がここに数多く形成されたのである。これは西アジアや中国などの定住民に大きな影響を与えるとともに、東西交渉の道としても機能することになった。これらの文化はまとめて初期遊牧民文化、あるいは代表的な民族の名を取って、スキタイ系文化とも呼ばれている。講義では、これらの文化を概観する。

履修上の留意点

この地域の考古学の最新の成果を伝える日本語の参考書はきわめて少ない。講義に出席することが必要である。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する予定。講義に関連した題目を出題する。

教科書・参考書等

教科書はないが、一般的な参考書として、藤川繁彦編『中央ユーラシアの考古学』（世界の考古学⑥ 同成社）1999年6月を挙げるができる。詳しくは、適宜指示する。

そ の 他

講義を中心とし、プリント、スライドおよびビデオを時に応じて使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	や の かず めき 矢 野 和 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学・歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造隊の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例・文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜指示。

そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西域美術史	まつ だいら みわ こ 松 平 美 和 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

中国が漢代以来「西域」と呼んでいた地域はパミール高原の東側の東トルキスタンであるが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。講義では東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、いわゆるシルクロードとして大いに繁栄したこの地域の考古美術品の中に東西文化混淆の様子を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① イラン装飾文様とその東伝
イラン美術に見られる「葡萄唐草文」、「花喰鳥文」、「王冠飾り」、「有翼人物像」などの装飾モチーフの変化について。
- ② クシャーナ朝美術とその意義
東西文化の接点であるクシャーナ朝の遺跡と遺品について。
- ③ タクラマカン砂漠周辺のオアシス都市の美術
狭義の西域美術であるクチャ、トゥルファン、ホータン、敦煌などの美術について。

成績評価の方法

学年末と夏期休暇後の二回のレポートで評価する。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

講義時に適宜紹介する。

その他

具体的な美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライドを多く用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教人類学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きているということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1. 文化と人間、2. 社会と世界観、3. 宗教の原形形態、4. 人間と動物、5. 民族宗教、6. 世界宗教、7. アニミズム・多神教・一神教の関係、8. 仏教・キリスト教・イスラム教、9. 民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。
夏休み中に「故郷の宗教行事」(仮題)のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度(参考文献名を明記すること)。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』(講談社) 840円

参考書等

佐々木宏幹著『宗教人類学』(講談社) 980円

V 社会福祉主事 講座
社会福祉士基礎

(1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉原論	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>	社福主事2必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
 - 1) 社会福祉の意味
 - 2) 社会福祉と関連する諸概念
 - 3) 社会福祉の対象と主体
 - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
 - 1) 欧米における社会福祉の発展
 - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
 - 1) 社会福祉法制
 - 2) 社会福祉法制の体系
 - 3) 社会福祉事業の経営主体
 - 4) 福祉の措置
 - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
 - 1) 公的扶助（生活保護）
 - 2) 児童福祉
 - 3) 老人福祉
 - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
 - 1) ケースワーク
 - 2) グループワーク
 - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
 - 1) 人の問題の重要性
 - 2) 社会福祉従事者の動向
 - 3) 職種の問題
 - 4) 社会福祉職員の専門職論
 - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
 - 1) 社会政策と社会事業
 - 2) 社会保障と社会福祉

成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	社福主事2必	4

講義のねらい

「社会福祉」という言葉は、現代社会ではとてもポピュラーな言葉となっている。新聞、テレビ等においても、しばしば目にし、また耳にする。選挙があれば、国政・地方、首長・議員いずれのレベルでも多くの候補者がその充実を公約に掲げる。

しかしながら、改めて「現代社会における社会福祉とは何なのであろうか」とか、「社会福祉の援助や活動とはどのようなものなのであろうか」とか、「社会福祉の基盤となっている考え方はどのようなものなのであろうか」といったことを問われた時、多くの人々はなかなか上手く答えることができないのが現実と思われる。

一方、わが国の社会福祉は、現在、「社会保障構造改革」「社会福祉基礎構造改革」「介護保険の創設」等のキーワードに代表されるように、大きな転換期を迎えている。

本講の主題は、上記にあげたような社会福祉を学んでいくにあたってのベースとなる点を学習し、わが国における社会福祉のあり方を考察していくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の理念とその意義
- 2 社会福祉の対象と援助の形態、方法
- 3 社会福祉サービスの体系
- 4 社会福祉の法体系、実施体制、財政
- 5 社会福祉の動向

成績評価の方法

各学期末の試験、課題レポート、出席状況、等の総合評価により実施します。詳細は、授業時に提示します。

教 科 書

新・社会福祉双書編集委員会編『新・社会福祉双書1 社会福祉概論Ⅰ』（全国社会福祉協議会）

参 考 書 等

随時、紹介します。

(2) 選択科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学（福祉）	小林 弘人	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・ 授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法および行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理
 - 2) 基本的人権
 - 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則
 - 2) 物権
 - 3) 契約
 - 4) 不法行為
 - 5) 親族
 - 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為
 - 2) 行政不服審査
 - 3) 行政訴訟
 - 4) 行政手続き
 - 5) 地方行政組織

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書・
参考書等

今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リハビリテーション論	はら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

総合リハビリテーションの中で、学問的に著しく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれる。その理由として考えられるのが、この分野は、内蔵する問題が広汎、多岐に亘っているばかりか、いずれも難解な社会福祉問題を抱えていることが、著しい遅滞をもたらす原因となっているといわれている。そこで、とくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、障害をめぐる社会問題と諸環境問題、隣接科学と実践問題そして、グローバルな視点から社会リハビリテーションの国際的展望などを主眼において講述する。

講義の内容・
授業スケジュール

本講は、つぎのような骨子にもとづきすすめる。

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 社会リハビリテーションの基本問題 | } 前 期 |
| 2. 障害をめぐる社会問題と諸環境問題 | |
| 3. 社会リハビリテーションの実践とその方法 | } 後 期 |
| 4. 社会リハビリテーションを支える隣接科学と実践 | |
| 5. 社会リハビリテーションの従事者教育 | |
| 6. 社会リハビリテーションの国際的展望 | |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は、筆記試験を実施する。なお、評価は、出席点も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義中、随時指示する。

そ の 他

講義形式が中心。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会保険論	ふな 船 水 浩 行 みず ひろ ゆき	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病气やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保険
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉計画論	かわ 川 廷 宗 之 <small>か たい もと ゆき</small>	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面も強調されるように変化してきたことよって起きている近年の社会福祉サービスの領域の拡大は、そのサービス提供を組織的計画に行わなければならない段階に到達しつつある。このような需要の増大に対応した行政計画の考え方は、建設領域や産業振興領域において戦後の長い蓄積がある。が、福祉領域においては、計画化の歴史は短い。その理由は、福祉には建設や産業振興とは違う要素が多く、計画的展開に馴染みにくかったことや、問題対応的な福祉サービスから抜けきれなかったためである。とすれば、福祉計画を考える時、これらの産業計画や建設計画と、福祉計画の性格がどのようにことなるのかが考察されなければならない。

さらに、計画は実際の市民生活に多大な影響を与える実践である。その意味では、計画をどう作るのか、その手法も大きな問題となる。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような問題意識にもとづいて、福祉を中心のその計画（国家計画、地域計画、地域福祉計画、施設経営計画、市民生活の計画、等々）について学ぶが、その前提としては、福祉運営管理等についてもふれておく必要があるので、ソーシャル・アドミニストレーションの理論についての学習や日本における施設の運営管理上の課題などについても触れる予定である。

理論的内容を前期、実践的な計画技術についての考察や演習を後期に履修する。講義内容やスケジュールの詳細については、開講第1～2回の授業で説明する。なお、受講者数にもよるが、実際の計画立案技術の演習等も行なう予定であるので、それらの演習には、質問や意見の提案など積極的な関わりを期待している。

履修上の留意点

この講義では、開講第1～2回で全体のスケジュール等を説明するので、必ず第1回から出席していただきたい。途中からの受講では事実上単位習得は難しいと理解してほしい。

社会計画はすぐれて実践的に学ばないと理解しがたい点も多い。そのため、授業ごとに資料を探したり読んで来る簡単な課題がだされることも多い。従って、欠席すると授業で何をしているのか理解できなくなる可能性が高いので、なるべく欠席しないように、又、実習等でやむを得ず欠席する場合は、受講する友人に内容を聞いておいてください。

なお、文学部社会科学福祉コースの学生以外の諸君が選択する場合は、この科目が社会福祉原論や社会福祉援助技術総論などで学ぶ福祉に関する基礎的な知識を前提として開講されている点を理解して、関係領域についての文献を読むなどの自己学習を並行して行っていただきたい。特に、社会福祉援助技術総論にてでくるソーシャルワークの基本的な考え方やコミュニティ・オーガニゼーション理論などについては、必ず習得しておいていただきたい。

成績評価の方法

日常的な課題の提出状況、授業への質問や、意見を積極的に出しているかどうか、などに見る授業への参加度、期末に行なわれるレポートの提出、出席状況（最低出席日数の確保）等を配慮して、評価する。

教科書

第1回目の授業時に指定する。

参考書等

- ① 高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- ② R パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- ③ 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

その他

計画の立案演習を行う過程で、若干の資料代やコピー代が必要になると予想される。出来るだけ負担を軽くするようにするが、一部の学習経費の自己負担は止むを得ないので、若干の教材費については予定して選択してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 社 会 福 祉 論	やまもと まみ実 山 本 真 実	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

国際社会における福祉、社会福祉における国際化、「国際社会福祉」を捉える視点に定義はない。日本以外の国の生活を通して、社会福祉とは何かを考えること、また国際社会において発生する軋轢や衝突、問題等に対応し解決していくものとして社会福祉をどのように考えるかを考察していくことを目的とする。また、社会福祉を実践サービスとして捉えるよりも、それを支える理念や目的などの概念・考え方を中心にしながら学習していく。「福祉」の意味を諸外国の実態や関係を通して学習していく

講義の内容・
授業スケジュール

二つの柱を通して国際社会福祉の理解を深めていく。まず、一つは福祉先進国と言われる北欧の社会福祉制度・サービス、ベトナムやフィリピン等の途上国の社会福祉制度、生活等各国の実情を通して、日本の社会福祉の現状や考え方について振り返り、見直すこと。二つ目は、国際社会において発生する貧困、戦争、児童労働、異文化への理解等テーマごとにどのような取り組みがあるかを学習し、生活を支える社会福祉制度の在り方について考察する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験の総合評価により評価する。
適宜意見・感想を記入するカードを配布。積極的な討議、意見発表を高く評価する。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

適宜授業中に紹介

そ の 他

ビデオ使用
意見交換

科目名	担当者名	配当学科	単位
保健福祉論	ながお 尾 譲 治	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 保健福祉とは
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉
身体障害／知的障害／精神障害／難病・結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

参考書等

追って紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公的扶助論	いとう しゅういち 藤 秀 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。
講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権運動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、小テスト、学年末定期試験を総合して評価する。

教科書

なお、テキスト等については開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	はら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることにある。旧来から持ち続けてきた陋習から脱皮し、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者観を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特質あるものとして位置づけることができる。

こうした中で、現代社会においては、ようやく障害者の理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(normalization)という共感関係を育てる方向へと動きつつある。そこで、本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化にもとづいて巨視的、微視的な視角から接近し、概説する予定である。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方 | } 前 期 |
| 2. 障害者福祉の対象 | |
| 3. 障害者福祉の主体 | } 後 期 |
| 4. 障害者福祉サービスと課題 | |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教 科 書

星野他編『障害者福祉論入門』（改訂版）（有斐閣双書）1,900円

参 考 書 等

講義中、随時指示する

そ の 他

講義形式が中心である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
老人福祉論	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期⇒・人口高齢化の意味

- ・高齢者問題の背景
- ・社会変動、家族変動
- ・高齢者の生活問題
- ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
- ・高齢者の保健福祉ニーズ
- ・ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類

後期⇒・老人保健福祉法制と関連施策

- ・近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
- ・老人保健福祉の供給システムと財源
- ・供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
- ・在宅サービスの制度と処遇
- ・在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
- ・施設サービスの制度と処遇
- ・入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
- ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教科書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）1,900円
冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	この 許 斐 有	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに対する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開課程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉法制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけでなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家庭に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教 科 書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

参 考 書 等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評価論社）
ささやななえ（椎名篤子原作）『凍りついた瞳——子ども虐待ドキュメンタリー』（集英社）ほか

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 福 祉 論	はやし ちよ 代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に、社会的・経済的・精神的なしわよせを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活の困難や矛盾に対して、社会福祉がかかわる部分はきわめて大きい。

女性を社会福祉の対象者（利用者）としてとり組んできたのは、婦人保護事業（売春防止法）である。それを基底に据えて、社会福祉の分野における女性問題の把握、その発生と解決について考え、女性のそして当然男性の人権の確立をめざす内容とした。

成績評価の方法

成績評価は、後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教 科 書

教科書は特に無いが、資料等は必要に応じて配布する。ビデオなども使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 福 祉 論	はるみしずこ 春 見 静 子	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における医療福祉職の実践について理解する。
医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どこで、いかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は理論を中心とした講義、後期は実践現場での事例を通して援助技術を学ぶ

前期

社会福祉とソーシャルワーク
医療ソーシャルワークの歴史 英国、アメリカ、日本
専門職としての医療ソーシャルワーカー 倫理綱領と業務基準
医療について：健康と病気の概念 キュアとケア
医療機関について
疾病分類と医学知識 リエゾン精神医学 心身症
援助手段としての社会資源
援助関係 面接の技術 援助過程

後期

外来段階のソーシャルワーク
入院段階のソーシャルワーク
精神保健の領域
医療ソーシャルワークの実際 機関別と対象別の実践

履修上の留意点

医療福祉に興味ある人とくに将来、その領域で働きたいと考えている人を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と期末試験で評価します。

教 科 書

山川哲也著 臨床医療ソーシャルワーク 誠信書房 2,500円

そ の 他

医療機関の見学と、現場の医療ソーシャルワーカーの特別講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 福 祉 論	わた なべ かず くに 渡 辺 一 城	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の社会福祉はいま正に大きな制度的転換期にあるが、この制度改革の基本的考え方となっているのが「地域福祉」である。これは、児童福祉、障害者福祉、老人福祉といった対象別分野論ではなく、人間が生活する圏域つまり地域ないしはコミュニティに焦点を当て、様々な福祉課題の解決に取り組んでいくための視点や方法を内包した実践領域とすることができる。

この講義では、こうした認識の下で、これから社会福祉に関わる上で必要な地域福祉の視点や方法及び課題について学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は主として次の事項を扱う。

- ・現代社会におけるコミュニティと地域福祉
- ・社会福祉制度改革の動向と地域福祉
- ・地域福祉計画の意義と内容
- ・市町村行政や社会福祉協議会などの地域福祉推進組織とその連携
- ・在宅福祉サービスのあり方と供給体制
- ・地域福祉の資源（人材、財源など）の活用と開発
- ・ボランティア活動、NPO 活動とその支援システム など

成績評価の方法

出席、試験、レポートなどにより評価を行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂社会福祉士養成講座 地域福祉論』中央法規 2,500円

参 考 書 等

授業時に必要に応じて提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (福 祉)	はし づめ さとし 橋 爪 敏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに精神保健福祉士・社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

[目標]

- 1 現代社会の特質について理解させる。
- 2 現代社会における家族や地域社会の特徴について理解させる。
- 3 現代社会における社会問題について理解させる。

[内容]

- 1 経済社会の変化と国民の生活及び意識の変化
- 2 現代社会と科学技術
 - 1) 科学技術の展開
 - 2) 現代社会と科学技術
 - 3) 情報化社会と国民生活
- 3 現代社会と専門職
- 4 現代社会における家族
 - 1) 構造及び形態
 - 2) 機能
 - 3) 変化
 - 4) 家族と地域社会
- 5 現代社会における地域社会
 - 1) 都市化と地域社会
 - 2) 過疎化と地域社会
 - 3) 地域社会の社会集団・組織
- 6 現代社会における社会問題

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(福祉)	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。
- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
 - 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
 - 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
 - 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論）心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論）精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会 編集『三訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』（中央法規）
¥2,500（税別）

発行者：駒澤大学